

14. 2/1-68



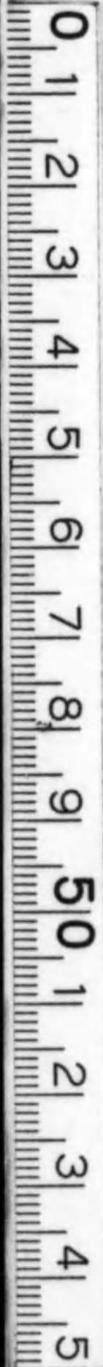
1200501165435

1421

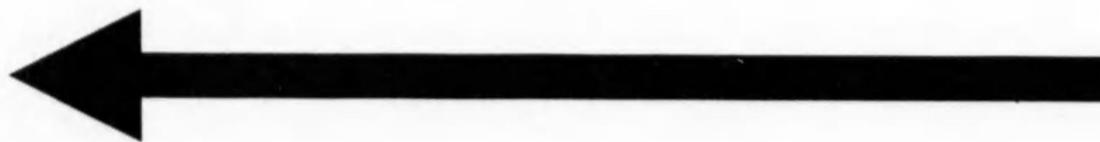
3

花菱検査所年報

昭和二年



始



緒言

本所ノ検査ハ、輸出花蕙及ビ輸出野草蕙ノ粗製ヲ防ギ海外ニ於ケル聲價ヲ維持セシムルヲ目的トスルモノナレバ、其ノ成績ハ獨リ検査請求人ニ通知スルニ止メズシテ廣ク發表スルノ要アリ。又本所ノ試験事務ハ、花蕙及野草蕙染織技術ノ研究ヲ遂ゲ改良ノ一助タラムコトヲ期スルモノナレバ、當業者ヲシテ其ノ成績ヲ周知セシメザルベカラズ。若シ夫レ花蕙及野草蕙ニ關スル統計報告竝ニ内外ノ商況ノ如キハ斯業必須ノ參考資料ニ屬スルヲ以テ、茲ニ昨昭和二年中ニ於ケル以上本所業務ノ成績、花蕙及野草蕙ニ關スル諸種ノ統計報告ヲ蒐集シ、年報トシテ發刊スルモノナリ

昭和三年十月

花蕙検査所



14.2.1-58

昭和二年度花蕨檢查所年報目次

第一章 花 蕨 檢 查	一
第一節 花蕨ノ搬入搬出	一
月別花蕨搬入搬出對照表	一
明治三十八年以降檢查花蕨搬入高對照表	三
最近三箇年間府縣別搬入花蕨調查表	七
第二節 花蕨ノ出張検査	七
月別花蕨出張検査請求高調查表	七
第三節 急 速 檢 査	八
月別急速検査請求高調查表	八
最近五箇年間急速検査請求高對照表	九
第四節 検査請求品ノ修補乾燥	九
月別修理花蕨調查表	一〇
府縣別修理花蕨調查表	二
最近五箇年間檢查花蕨修理高對照表	三
第五節 檢 査 成 績	三
月別花蕨檢查成績表	四
月別花蕨出張檢查成績表	五
府縣別花蕨檢查成績表	六
花蕨種類別檢查成績表	九
花蕨種類別出張檢查成績表	三
第一章 野草蕨檢查	四

第一節 野草薙ノ搬入搬出.....	二四
月別野草薙搬入搬出對照表.....	二四
最近二箇年間府縣別搬入野草薙調查表.....	二六
第二節 野草薙ノ出張検査.....	二七
月別野草薙出張検査請求高調査表.....	二七
第三節 急速検査.....	二八
月別急速検査請求高調査表.....	二八
第四節 検査請求品ノ修補乾燥.....	二九
月別修理野草薙調查表.....	二九
府縣別修理野草薙調查表.....	三〇
第五節 検査成績.....	三〇
月別野草薙検査成績表.....	三一
月別野草薙出張検査成績表.....	三一
府縣別野草薙検査成績表.....	三二
府縣別野草薙出張検査成績表.....	三三
野草薙種類別検査成績表.....	三三
第三章 試驗.....	三七
第一節 機織.....	三七
第二節 染色.....	五〇
第三節 試驗其ノ他ノ施設.....	五九
第四章 花薙及野草薙ニ關スル調査.....	五九
第一節 花薙製造販賣ノ狀況.....	六〇
一、花薙營業者ノ現狀.....	六〇

最近二箇年間花薙業者數調查表.....	六〇
二、花薙製産額.....	六三
最近五箇年間普通花薙製産額調查表.....	六四
三、花薙ノ種類.....	六四
府縣別検査花薙種類調查表.....	六五
第二節 野草薙製造販賣ノ狀況.....	六九
一、野草薙營業者ノ現況.....	六九
最近二箇年間野草薙業者數調查表.....	七〇
二、野草薙ノ製産額.....	七一
昭和二年野草薙製産額調查表.....	七一
三、野草薙ノ種類.....	七一
府縣別検査野草薙種類調查表.....	七二
府縣別出張検査野草薙種類調查表.....	七五
第三節 花薙及野草薙商況.....	七六
最近五箇年間神戸市中花薙見當相場月別對照表.....	八一
最近二箇年間神戸市中野草薙見當相場月別對照表.....	八五
第四節 花薙輸出狀況.....	八五
最近三十七箇年間花薙輸出高.....	八六
最近二十八箇年間花薙輸出高港別對照表.....	八七
昭和二年各港花薙輸出高月別表.....	八八
昭和二年輸出花薙仕向國別統計表.....	八九
最近五箇年間神戸港花薙輸出月別表.....	九四
最近五箇年間神戸港花薙輸出高仕向國別統計對照表.....	九五

昭和二年神戸港輸出花薙仕向地別統計表.....一〇〇

第五節 野草薙輸出狀況.....一〇八

最近十六箇年間野草薙輸出高統計表.....一〇八

昭和二年各港野草薙輸出高月別表.....一〇九

最近五箇年間神戸港野草薙仕向國別統計對照表.....一一〇

昭和二年神戸港輸出野草薙仕向地別統計表.....一一三

第六節 花薙及野草薙ニ關スル海外通信.....一一九

第七節 花薙及野草薙ニ關スル特許竝新案登錄.....一二七

第四章 蘭草ニ關スル調査.....一五五

第一節 蘭草ノ産額.....一五五

最近三箇年間蘭草産額調査表.....一五五

昭和二年蘭草作付竝收穫豫想.....一五九

第一節 主産地蘭草商況及市價.....一五九

昭和二年主産地蘭草相場月別對照表.....一六五

最近五箇年間主産地蘭草平均相場對照表.....一六五

最近五箇年間蘭草一貫多價格調査表.....一六七

第三節 三角蘭ノ産額.....一六八

最近三箇年間三角蘭産額調査表.....一六八

昭和二年三角蘭作付竝收穫豫想.....一七〇

輸出花薙竝野草薙運賃關稅及保險率調査表.....一七一

内外貨幣比較表.....一七九

附 錄

昭和二年花薙檢查所年報

第一章 花 薙 檢 査

第一節 花 薙 ノ 搬 入 搬 出

昭和二年中本所ニ搬入シテ検査ヲ受ケタル花薙ノ數量ハ、普通花薙二萬七千七百三十三本、廣幅花薙十一萬四千九百二十七枚、短尺花薙百六十三枚、小物花薙三百十二萬八千三百三十二枚ナリ。而シテ以上ノ數量ヲ月別ニ比較スルトキハ、普通花薙ニ在リテハ一、三ノ二箇月最多ク、各三千本以上ニ上リ。他ノ各月ハ孰レモ是レ以下ニ減少シ、就中五月ノ如キハ千三百本ニ達セザルノ状態ナリ。又廣幅花薙ハ五、六、十、十二ノ各月最多ク一萬二千乃至一萬六千枚以上ニ達シ、八月及九月ハ六七千枚餘ニ下レリ。短尺花薙ニ至リテハ其ノ數量甚ダ僅少ニシテ、一箇年ヲ通シ百六十三枚ヲ數フルニ過ギズ。小物花薙ニ於テハ三、五、六、十ノ四箇月最多ク三十七萬乃至三十萬枚以上ニ上リ、八月ハ激減シテ十八萬餘枚ニ止マレリ。

以上各種花薙ノ受檢數ガ、各月ニ於テ如斯増減ヲ來タセル所以ヲ按ズルニ、是レ固ヨリ需給關係ノ偶發的變動ニ基クモノナルモ、通例春夏秋冬ノ二季ハ輸出花薙註文品調達ノ最終期タル四月ヲ控ユル爲メ出荷多キト、夏秋兩季ハ各産地農繁ノ結果製品ノ出廻リ少キヲ以テ常態トス。今前記受檢數ヲ月別ニ調査シ、其ノ口數竝ニ検査後ノ搬出數ヲ對照スレバ左表ノ如シ。

月別花薙搬入搬出對照表 (單位 普通本 其他枚)

月次	種類	搬入		搬出	
		普通検査	急速検査	全部搬出	一部搬出
一	普通	三七八〇	一〇一	一五二五	一五二四
二	廣幅	七〇〇二	五〇五	一六八〇	五二二三
三	廣幅	一六三	八五九	一〇	一五三
四	廣幅	二八五、四八九	二八六、三四八	一三、八七八	二六〇、五〇八
計	普通	一一〇	七五	一三、八七八	二六〇、五〇八
計	廣幅	二八五、四八九	二八六、三四八	一三、八七八	二六〇、五〇八
計	口數	九四	九六	九四	九六

二	三	四	五	六	七	八	九	十
月	月	月	月	月	月	月	月	月
小廣普	小廣普	小廣普	小廣普	小廣普	小廣普	小廣普	小廣普	小廣普
物幅通	物幅通	物幅通	物幅通	物幅通	物幅通	物幅通	物幅通	物幅通
二、八二三	七、九三三	二、七四七	三、二六六	九、五二八	二、一八七	七、二四六	二、七九五	二、七九五
四一	二、七〇	七、二二	二、八六四	九二	一、四七〇	九二五	一、六六九	三、一三九
二、八二三	七、九三三	二、七四七	三、二六六	九、五二八	二、一八七	七、二四六	二、七九五	二、七九五
四一	二、七〇	七、二二	二、八六四	九二	一、四七〇	九二五	一、六六九	三、一三九
二、八二三	七、九三三	二、七四七	三、二六六	九、五二八	二、一八七	七、二四六	二、七九五	二、七九五
四一	二、七〇	七、二二	二、八六四	九二	一、四七〇	九二五	一、六六九	三、一三九
二、八二三	七、九三三	二、七四七	三、二六六	九、五二八	二、一八七	七、二四六	二、七九五	二、七九五
四一	二、七〇	七、二二	二、八六四	九二	一、四七〇	九二五	一、六六九	三、一三九
二、八二三	七、九三三	二、七四七	三、二六六	九、五二八	二、一八七	七、二四六	二、七九五	二、七九五
四一	二、七〇	七、二二	二、八六四	九二	一、四七〇	九二五	一、六六九	三、一三九

備考 本表搬入搬出數ノ符合セザルハ搬入ニ於テ前月ヨリ、搬出ニ於テ翌月へ繰越數アルガ故ナリ。而シテ表中普通トアルハ幅三尺長百二十
一尺物、廣幅トアルハ幅三尺ヲ超ユル長方形若クハ角形ノ花苳、短尺トアルハ長三丈以下ニシテ十八平方尺ヲ超ユル花苳、小物トアル
ハ十八平方尺以下ノ花苳ヲ謂フ。以下各表之ニ倣フ

輸出花苳ハ、花苳検査規則施行細則第一條ニ據リ、商品ノ形體ヲ爲サル見本ヲ除キ全部検査ヲ受クベキモ
ノナルヲ以テ、受檢ノ爲メ本所ニ搬入シタル數量ノ増減ニ徴シ、一面本邦輸出花苳製産ノ消長ヲ檢知スルヲ
得ベシ。仍テ左ニ本所開始以來既往二十三箇年間ニ於ケル検査花苳搬入高ヲ掲ゲ、以テ彼此對照ノ便ニ資ス。

明治二十八年以降検査花苳搬入高對照表

年次	搬入			
	普通花苳	廣幅花苳	短尺花苳	小物花苳
明治三十八年	二九〇、四三一	六、三八五	四八	
同三十九年	六七四、九八〇	一〇、二七六	五	
同四十年	七二七、九八二	一〇、九二八		
同四十一年	七四〇、六八九	一四、五四一		

明治	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	大	同	同	同	明
四十二年	四十三年	四十四年	四十五年	元	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十	十	十	十	昭
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	和
元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	和
二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	昭	
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	和	
二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	昭	
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	和	
二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	昭	
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	和	
二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	昭	
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	和	
六〇〇,七三三	五一〇,二七五	四六七,六四八	四五一,八四九	四九三,二〇〇	三二五,六二七	二二五,六〇七	二七六,三三一	一八九,一四四	一八七,五三五	一一四,五五六	九五,五三七	三七,四六七	四五,九六九	四〇,九三六	三一,六一五	四五,四四一	三三,二四五	二七,七三三
一五,五六六	二〇七,二八四	四八〇,八四〇	五四〇,〇六〇	七九三,九九七	四七六,五五九	三六二,八七八	六二二,〇六〇	五三三,九六六	七一八,二四九	四三一,〇九四	三九五,二六八	一一一,一五九	一六三,二七四	九一,七五八	五五,七六四	九四,二六八	一一〇,四九六	一一四,九二七
四六	一四,四八六	二,八七六	九,〇二五	一三,八八二	一一,二七五	八七一	八,六七三	六,七七五	三三,二一六	三二,五五三	四〇一	六八	五三〇	二〇,五九	六〇	一一二	七三九	一六三
九二,二五二	一,五七七,九一八	二,〇〇〇,四九三	二,四五七,一〇四	二,三七四,五九六	二七五,一四二	九三一,七七六	九三九,二二二	一一五,一六八	二,四一九,五七一	二,四九六,一一三	三,二二八,一三二	九三,一七六	二,一五二,一六八	二,四九六,一一三	二,四九六,一一三	二,四九六,一一三	三,二二八,一三二	三,二二八,一三二

備考 本表中明治三十八年同月六月一日ヨリ本所ノ検査ヲ開始シタルモノナルヲ以テ、該數量ハ即チ同月以降十二月ニ至ル七箇月ノ計算ナリ。又小物花蕙ハ大正五年七月一日ヨリ、新タニ検査ヲ施行セラレタルモノニシテ、同年中ノ検査數ハ七月以降十二月迄六箇月ノ統計ナリトス。

前表ニ徴スルトキハ、普通花蕙ニ於テ其ノ搬入ノ最多キヲ見タルハ明治四十一年ニシテ、而カモ同年以前ニ於テハ逐年増加ノ傾向ナリシニ、同年以降ハ之ト反對ノ現象ヲ呈シ、大正十三年ハ最著シク減退シ本所開始以來未ダ其ノ比ヲ見ザルノ狀況ヲ示スニ至レリ。今其ノ明治四十一年ト大正十三年トヲ比較スルニ、後者ハ實ニ前者ノ五分ニ過ギザルノミナラズ、其ノ内容ニ於テモ大ニ趣ヲ異ニセルモノアリ。即チ明治四十一年以前ノ普通花蕙ハ、殆ド全部原形ノ儘輸出スベキ目的ヲ以テ受檢シタルモノナルモ、明治四十二年後ニ至リ普通花蕙以外騰テ繼合廣幅又ハ小物花蕙ニ製作セラルベキ原料花蕙ヲ、捺染其ノ他ノ加工上ノ關係ヨリ、普通花蕙ト同一ノ長サノ儘産地ヨリ神戸市場ニ送付シ、該加工前一旦普通花蕙トシテ受檢スルモノアルニ至リシコト是ナリ。而シテ昭和二年中ニ於ケル右兩者ノ内譯ニ就テハ、確タル統計ヲ得ル能ハザルモ、廣幅花蕙及小物花蕙受檢ノ狀況等ニ依リ推考スルトキハ、普通花蕙搬入高中約三分ノ一ハ前述ノ如ク變形セラレタルモノ、如クナルガ故、同年中ノ特製普通花蕙即チ原形ノ儘輸出スベキ目的ニテ製産セラレタルモノハ、約一萬八千本ニ止マルモノ、如シ。

廣幅花蕙ノ搬入ハ、前記普通花蕙ノ搬入トハ反對ノ現象ヲ呈シ、今明治四十二年ヲ分界トスレバ、同年以前ニ於テ毎年僅ニ一萬枚内外ノ搬入ニ過ギザリシモノガ、明治四十三年ニ及ビ頓ニ其ノ數ヲ増加シ、一躍シテ二十萬枚以上ノ多數ヲ算スルニ至レリ。爾來年ヲ逐フテ激增シ、大正七年ノ如キハ歐洲戰亂ノ影響ヲ蒙リタリシモ、尙ホ七十一萬餘枚ノ搬入アリシガ、大正八年以降漸次減退ノ傾向ヲ示セルハ、近來本邦ヨリ輸出セラル、野草蕙ニ販路ヲ蠶食セラレタルモノ、如ク、同品ハ廣幅花蕙トハ當初價格ニ於テ格段ノ差アリタルモ、花蕙騰貴ノ結果其ノ價格漸次接近セシノミカ近時反ツテ高價トナリシカバ、顧客ヲ野草蕙ニ奪ハル、ニ至リシナリ。而シテ本年搬入セシ廣幅花蕙ノ約半數ハ特製品ニ屬スレドモ、其ノ他ハ一旦検査ヲ經タル普通花蕙ヲ截斷加工シテ廣幅花蕙ニ變形シタル後、再ビ搬入シテ受檢シタルモノナリトス。

短尺花蕙ハ、概ネ廣幅花蕙ノ原料タルベキ普通花蕙ノ斷片ニ屬シ、産地ニ於ケル截斷品ニシテ神戸市内ノ捺染業ニ送致スベキモノハ、斷片ノ儘一旦本所ニ搬入シテ検査ヲ受ケタル後廣幅ニ繼ギ合セ、加工後再ビ廣幅

花蕨トシテ受檢スルノ順序トナルモノナルガ故、此ノ受檢數ノ増減ハ全製産額ノ上ニ影響ヲ見ザルモノナリ。小物花蕨ハ、大正五年七月一日ヨリ新タニ檢査ヲ施行セラレタルモノナルヲ以テ、以上各種花蕨ノ如ク各年別ニ搬入數ヲ比較シテ増減ヲ示ス能ハザルモ、其ノ輸出狀況ニ徴スルトキハ、明治四十二年頃迄ハ一箇年ノ輸出僅ニ六十萬枚ニ過ギザリシニ、翌年ニ至リ一躍百萬枚ヲ超エ、爾來年ヲ逐フテ五十萬枚内外ノ増加ヲ來タシ、大正五年ニハ二百五十二萬餘枚ヲ輸出シタリ。然ルニ翌六年小物花蕨ノ最大需要地タル英國ニ於テ輸入制限セラレ、ニ及ビ、同年ハ輸出額僅ニ一百萬枚餘ニ減退シ、次デ支那ニ於ケル日貨排斥ノ影響ヲ蒙リタルモ、大正八年四月英國ニ於ケル輸入制限撤廢セラレシカバ、漸次輸出額増加シ製産額亦増加ノ傾向ヲ帶ビ來リシニ拘ハラズ、大正十年ニ於テ斯ク搬入數ノ激減セルハ、前年ニ於ケル經濟界ノ恐慌ガ影響セルモノナリ。大正十一年ヨリハ再ビ恢復ノ氣運ニ向ヒ、漸次歐洲及印度、南洋地方ヘノ需要旺盛トナリタル關係上、本年ハ三百十二萬八千三百三十二枚ノ搬入ヲ見タリ。

更ニ昭和二年中ノ搬入花蕨ヲ產地別トスルトキハ、其ノ數量ノ最モ多キハ岡山縣ニシテ、福岡、香川、廣島ノ三縣順次之ニ亞ギ、岡山、福岡、香川ノ三縣ハ孰レモ花蕨主產地トシテ相當ノ數量ニ達セシモ、廣島縣ハ漸次減少ノ傾向ニ在リ。而シテ兵庫縣ハ、普通花蕨ノ數廣島縣ヲ凌ギ、廣幅花蕨ニ在リテハ他地方ニ傑出シ、小物花蕨亦岡山縣ニ亞グノ數量ヲ示セルモ、由來同縣ハ主タル製產地ニ非ザルガ故、實際ニ於テ同縣ノ製産額ハ極メテ微々タルモノニシテ、概ネ他地方ノ製産ニ係レリ。然ルニ同縣ヨリ斯ク多數ノ受檢品アリタルハ、他府縣ヨリ普通花蕨又ハ生地品トシテ檢査ヲ受ケタル無地物ヲ、更ニ神戸ニ於テ捺染廣幅又ハ小物ニ加工シテ再ビ搬入スルガ故ナルト、普通花蕨又ハ小物花蕨ニ在リテモ取引上ノ關係等ニ依リ、其ノ捺染加工ヲ施スベキモノト否トニ拘ハラズ、神戸在住者ノ名義ヲ以テ檢査ヲ受クルモノアルガ爲メ、斯ク特殊ノ現象ヲ呈スルニ外ナラズ。今最近三箇年ノ府縣別搬入花蕨統計ヲ掲グレバ左ノ如シ。

最近三箇年間府縣別搬入花蕨調查表

府縣	普通花蕨(本)		廣幅花蕨(枚)		短尺花蕨(枚)		小物花蕨(枚)	
	大正十四年	昭和元年	大正十四年	昭和元年	大正十四年	昭和元年	大正十四年	昭和元年
岡山	二、五〇三	一、二二七	一、九七三	四〇、五五六	一一	七二四	一、五五一	八、八四二
廣島	三九五	一七六	—	—	—	—	—	二、六一一
福岡	九〇五一	八、三〇〇	四、一七二	四、四〇六	—	—	—	一、四二二
香川	一、三八〇	一、一〇四	一〇、七〇一	五、五一一	—	—	—	—
兵庫	六八二	五〇八	五、九六八	七〇、〇二二	六八、三〇五	—	—	—
計	四、五四一	三、三二五	二七、七三三	九四、二六八	一一〇、四九九	一一二	七三八	一、六三二

第二節 花蕨ノ出張檢査

花蕨檢査規則施行細則第一條ノ二但書ニ據リ、花蕨ノ出張檢査ヲ請求セル數量ハ、普通花蕨二百二十二本、廣幅花蕨七百二十九枚、小物花蕨五千二百二十四枚ナリ。今此ノ請求數ヲ月別ニ比較スレバ左表ノ如シ。

月別花蕨出張檢査請求高調查表(單位普通本其他枚)

月	次	種類	受付數	口數
六	月	種類	受付數	口數
		普通	四二七	一、四八七
		廣幅	一一一	—
		小物	—	—

計	十月	小廣普	物幅通	一五八	三〇七	三六三	五、二二四	二二二	二二二
	十一月	小廣普	物幅通	一五八	三〇七	三六三	五、二二四	二二二	二二二

第三節 急速検査

本章第一節受検品ノ内花薙検査規則施行細則第二十三條ニ據リ、特ニ急速ノ検査ヲ請求シタルモノハ、普通花薙百九十三本、廣幅花薙九百七十九枚及小物花薙五千四百四十一枚ニシテ、此ノ請求口數百九十八口ナリ。而シテ今之ヲ月別ニ比較スルニ、通例春冬ノ兩季ハ海外註文品ノ積出期ニ相當シ急ヲ要スル出荷頻繁ナルト、夏秋二季ニ至リテハ花薙取引閑散ナル關係上自然其ノ數ヲ減ズルヲ常態トス。

月別急速検査請求高調査表

月次	急速検査請求高				急速検査請求高			
	普通花薙	廣幅花薙	小物花薙	口數	普通花薙	廣幅花薙	小物花薙	口數
一月	一〇一	五〇五	八五九	一三三	一一	二九	一一〇	一七
二月	四一	一九	二七〇	一六	一	八	六二	三
三月	七	七三	一、一三〇	二四	二五	二二	四二	一〇
四月	二	七	五一	一六	五七	五七	五〇	九
五月	一	七八	四〇	一四	二五	二五	四九	九
六月	五	一四七	一、七八六	二四	二七	一五〇	一、三〇五	七一
上半期計	一六六	八二九	四、一三六	二二七	一五〇	一、三〇五	五、四四一	一九八
七月	一	八	一六〇	一七	一九三	九七九	五、四四一	一九八
總計	一〇一	五〇五	八五九	一三三	一一	二九	一一〇	一七
下半年計	十一	二一	一、一三〇	二四	二七	一五〇	一、三〇五	七一

尙參考ノ爲メ最近五箇年間ニ於ケル急速検査請求並ニ検査請求總數ニ對スル歩合ヲ對照スレバ左表ノ如シ。

最近五箇年間急速検査請求高對照表

年次	種類	検査請求總數		急速検査請求數		總數ニ對スル急速検査請求歩合
		本(枚)數	申込口數	本(枚)數	申込口數	
大正十二年	小廣普物幅通	四〇、九三六	三、一〇〇	五八九	一七二	九一四
同 十三年	小廣普物幅通	九一、七五七	三、一〇〇	一、一三三	二九九	〇〇五
同 十四年	小廣普物幅通	九三九、二二二	三、一〇〇	四、七七二	二九九	〇〇八
同 十五年	小廣普物幅通	三〇、八六一	三、一〇〇	八五三	二九九	〇二八
昭和二年	小廣普物幅通	五三三、六三八	三、一〇〇	四三四	二九九	〇〇七
昭和二年	小廣普物幅通	一、一三三、四九八	三、一〇〇	七、八五八	二九九	〇〇七
昭和二年	小廣普物幅通	四、四四一	三、一〇〇	一、七五四	二九九	〇三九
昭和二年	小廣普物幅通	九四、二六八	三、一〇〇	三、三三二	二九九	〇三五
昭和二年	小廣普物幅通	二、四一九、五七一	三、一〇〇	三、三三二	二九九	〇一四
昭和二年	小廣普物幅通	三三三、二四五	三、一〇〇	四三二	二九九	〇一三
昭和二年	小廣普物幅通	一一〇、四九九	三、一〇〇	二、三七五	二九九	〇二〇
昭和二年	小廣普物幅通	二、四九六、一一三	三、一〇〇	八、四八六	二九九	〇〇三
昭和二年	小廣普物幅通	二七、七二三	三、一〇〇	一九三	二九九	〇〇七
昭和二年	小廣普物幅通	一一四、九二七	三、一〇〇	九七九	二九九	〇〇九
昭和二年	小廣普物幅通	三、二八、一三三	三、一〇〇	五、四四一	二九九	〇〇二

第四節 検査請求品ノ修補乾燥

昭和二年中花薙検査請求品ノ内修補乾燥不完全ノ爲メ、検査請求人ヲシテ修理ヲ施サシメタルハ、普通花薙七千八百七十一本、廣幅花薙三千百七十七枚、短尺花薙二枚、小物花薙一萬五百八十四枚ニシテ、検査總數

ニ對シ普通花苧二割八分五厘、廣幅花苧二分七厘、短尺花苧一分二厘、小物花苧三厘ノ不完全品ヲ出シタリ。
 今之ヲ月別ニ比較スレバ即チ左表ノ如クニシテ、六、七、八ノ三箇月ハ梅雨季又ハ農繁季ノ關係上比較的多
 數ノ修理品ヲ出セリ。

月別修理花苧調査表 (單位普通本
其他枚)

月次	種類	検査數	修理					計	本年	前年
			乾燥及除黴	耳直	緣直	一切繼	絲入			
一月	小短廣普 物尺幅通	二、六五九 八、二三八 一、六三三 二、二五三 二、六三三	一八六 四三 二 三〇六 五〇七九	一〇〇 八七 二 九三 二〇二	二〇二 九三 一 九三 四〇八	一八七 一 一 二 二八八	七二八 二八四 二 二 七三	二七四 〇三三 〇二二 〇二六	二五八 〇三三 〇三三	
二月	小廣普 物幅通	三、一四五 六、六一〇 二、六九六 三、六一四 一、〇九九 三六一、一三〇	二二七 一一一 七八 二二五 七 一〇六	一五三 九二 五 一五三 一〇四 六、三四一	一一九 五三 三三〇 二七二 三三 二七二	二二二 一八五 三三〇 三三 二 二二	八五一 六一 五九 四四 六一 一七	二二五 〇一九 〇一九 〇二二 〇二二 〇一九	三三三 〇三三 〇三三 〇三三 〇三三 〇三三	
三月	小廣普 物幅通	二、七〇七 八、〇二六 三三六、四一七 一、三二二 一、一九二 二八一、六五五	一三〇 二二 一九八七 六九 四九 四九七	一〇八 一三五 五、一〇六 四九 二二〇 六、〇五三	一一五 一九 二二五 六八 一五 四六六	二二五 一九 二二八 一 一 二	二九 二九 二九 二九 二九 二九	〇二二 〇二二 〇二二 〇二二 〇二二 〇二二	〇二二 〇二二 〇二二 〇二二 〇二二 〇二二	
四月	小廣普 物幅通	一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一 一、一五八 四、六九一 二二六、八五二	三九九 一五 八六六 二二二 八 四六三三	九〇 一三三 四、六五三 五二 六五 五、一七九	三六 八 一七四 一八 一〇 二八三	一一八 一 一 一 一 一	一七 一七 一七 一七 一七 一七	〇二二 〇二二 〇二二 〇二二 〇二二 〇二二	〇二二 〇二二 〇二二 〇二二 〇二二 〇二二	
五月	小廣普 物幅通	一〇、六七八 二〇四、七二六 一、七二六 六、九三三 一、一五八 二二六、八五二	五六 一、四七五 三九九 一五 八六六 二二二	二〇一 三八八九 九〇 一三三 四、六五三 五二	二二 二六六 三六 八 一〇 二八三	一一八 一 一 一 一 一	二九 二九 二九 二九 二九 二九	〇二二 〇二二 〇二二 〇二二 〇二二 〇二二	〇二二 〇二二 〇二二 〇二二 〇二二 〇二二	
六月	小廣普 物幅通	一、二七八 一〇、六七八 二〇四、七二六 一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一	三三三 五六 一、四七五 三九九 一五 八六六	六〇 二〇一 九〇 一三三 四、六五三 五二	四三 二二 二六六 三六 八 一七四	一一八 一 一 一 一 一	一七 一七 一七 一七 一七 一七	〇二二 〇二二 〇二二 〇二二 〇二二 〇二二	〇二二 〇二二 〇二二 〇二二 〇二二 〇二二	

合計	月次					
	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
小短廣普 物尺幅通	二、七〇七 八、〇二六 三三六、四一七 一、三二二 一、一九二 二八一、六五五	一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一 一、一五八 四、六九一 二二六、八五二	二、六五九 八、二三八 一、六三三 二、二五三 二、六三三	三、一四五 六、六一〇 二、六九六 三、六一四 一、〇九九 三六一、一三〇	一、二七八 一〇、六七八 二〇四、七二六 一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一	一〇、六七八 二〇四、七二六 一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一
小廣普 物幅通	二、七〇七 八、〇二六 三三六、四一七 一、三二二 一、一九二 二八一、六五五	一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一 一、一五八 四、六九一 二二六、八五二	二、六五九 八、二三八 一、六三三 二、二五三 二、六三三	三、一四五 六、六一〇 二、六九六 三、六一四 一、〇九九 三六一、一三〇	一、二七八 一〇、六七八 二〇四、七二六 一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一	一〇、六七八 二〇四、七二六 一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一
廣幅通	二、七〇七 八、〇二六 三三六、四一七 一、三二二 一、一九二 二八一、六五五	一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一 一、一五八 四、六九一 二二六、八五二	二、六五九 八、二三八 一、六三三 二、二五三 二、六三三	三、一四五 六、六一〇 二、六九六 三、六一四 一、〇九九 三六一、一三〇	一、二七八 一〇、六七八 二〇四、七二六 一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一	一〇、六七八 二〇四、七二六 一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一
短尺	二、七〇七 八、〇二六 三三六、四一七 一、三二二 一、一九二 二八一、六五五	一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一 一、一五八 四、六九一 二二六、八五二	二、六五九 八、二三八 一、六三三 二、二五三 二、六三三	三、一四五 六、六一〇 二、六九六 三、六一四 一、〇九九 三六一、一三〇	一、二七八 一〇、六七八 二〇四、七二六 一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一	一〇、六七八 二〇四、七二六 一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一
小物	二、七〇七 八、〇二六 三三六、四一七 一、三二二 一、一九二 二八一、六五五	一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一 一、一五八 四、六九一 二二六、八五二	二、六五九 八、二三八 一、六三三 二、二五三 二、六三三	三、一四五 六、六一〇 二、六九六 三、六一四 一、〇九九 三六一、一三〇	一、二七八 一〇、六七八 二〇四、七二六 一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一	一〇、六七八 二〇四、七二六 一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一
合計	二、七〇七 八、〇二六 三三六、四一七 一、三二二 一、一九二 二八一、六五五	一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一 一、一五八 四、六九一 二二六、八五二	二、六五九 八、二三八 一、六三三 二、二五三 二、六三三	三、一四五 六、六一〇 二、六九六 三、六一四 一、〇九九 三六一、一三〇	一、二七八 一〇、六七八 二〇四、七二六 一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一	一〇、六七八 二〇四、七二六 一、七二六 六、九三三 一七〇、六七一

前項ノ不完全品ヲ更ニ產地別ニ表示スレバ左ノ如クニシテ、今各產地ニ就キ種類毎ニ比較スルトキハ、普通花
 苧ニ在リテハ香川縣ノ成績不良ニシテ、受檢數ニ對シ四割二厘ニ相當スル不合格品ヲ出シ、之ニ亞ギ廣島縣
 ノ三割四分二厘、福岡縣ノ三割一分七厘、岡山縣ノ二割二分七厘、兵庫縣ノ一割四分八厘ニシテ前年ニ比ス
 レバ孰レモ好成績ナリ。又廣幅花苧ハ香川縣ノ一割一分三厘、福岡縣ノ五分一厘、岡山縣ノ二分四厘、兵庫

縣ノ二分四厘等ニシテ前年ニ比シ香川、兵庫ノ二縣ハ不成績ナリシモ、其他ハ概シテ良好ノ成績ヲ示シタリ。
小物花莖ニ在リテハ岡山縣ノ二分六厘、兵庫縣ノ二分一厘、福岡縣ノ一分、廣島縣ノ六厘等、前年ニ比シ孰
レモ好成绩ヲ收メタリ。

府縣別修理花莖調査表 (單位普通本)

府縣	種類	検査數	修理					計	本年	前年
			乾燥及除穢	耳直	緣直	一切繼	絲入			
岡山	廣幅通	一三、九六四	一、一九三	三八四	五二四	七八七	二八五	三、一七三	三、三三六	
岡山	短尺幅通	四二、〇七五	五四	五〇八	二六九	一六三	九九九	〇、二四	〇、四八	
廣島	廣幅通	二、七七七	二二	二二	二	二	二	〇、二二	〇、二二	
廣島	小普	一五二	二六	九	二	八	二	〇、〇八	〇、〇八	
福岡	廣幅通	二、〇六〇	二六	四一	二	三	二	〇、〇六	〇、〇六	
福岡	小廣普	八、〇二一	三七七	四四八	五二二	一、二一〇	二、五三九	〇、三二七	〇、三三三	
香川	廣幅通	四、三〇一	四一六	三三	二	二	四八六	〇、四〇二	〇、三〇	
香川	小廣普	五、〇九五	一、三六八	二六二	一一六	二五	二、〇四八	〇、四〇二	〇、三〇	
兵庫	廣幅通	六、九四三	一三六	一、二〇二	八七	二四九	一、六七五	〇、二二四	〇、二二	
兵庫	小短廣普	四、〇〇〇	七	三一	五	二	五九	〇、二二	〇、二二	
計	廣幅通	二七、六三二	二、九七一	一、二二九	一、一七八	二、一八〇	七、八七一	〇、二八五	〇、四〇〇	
計	短尺幅通	一一六、一四〇	六〇九	一、七五八	三五八	四四五	三、一七七	〇、二二七	〇、三三三	
計	小物尺幅通	一六三	—	—	二	—	—	〇、〇二	〇、〇二	
計	普通花莖	三三、一五五	六、八六六	六、一五〇	四、四八七	七、三三一	八〇、五九三	〇、二二六	〇、三三八	

尙參考ノ爲メ、最近五箇年間ノ検査花莖修理高對照表ヲ掲グ。

最近五箇年間検査花莖修理高對照表

年次	検査總數		修理品出現數		修理品出現歩合	
	普通花莖	小物花莖	普通花莖	小物花莖	普通花莖	小物花莖
大正十二年	四二、五二〇	一〇、四一四	二、〇五九	九六、七六四	一、七二九	三、八一三
大正十三年	三〇、八六一	五三、六三八	六〇、一一二	四九八	一五、〇七一	三、九八六
大正十四年	四六、四一七	九五、八四七	一一、二二二	四九七	一六、九七三	三、三五〇
大正十五年	三三、〇一一	一一九、〇八六	七三八	二、四七二	三、八一八	九、四七二
昭和元年	三三、〇一一	一一九、〇八六	七三八	二、四七二	三、八一八	九、四七二
昭和二年	二七、六三二	一一六、一四〇	一六三	一、五五〇	〇、八八九	七、八七一

第五節 検査成績

昭和二年中検査ヲ施行シタル花莖ノ總數ハ、普通花莖二萬七千八百五十四本、廣幅花莖十一萬六千八百六十九枚、短尺花莖百六十三枚、小物花莖三百十六萬二千二百三十三枚ニシテ内本所へ搬入シテ検査シタルモノ普通花莖二萬七千六百三十二本、廣幅花莖十一萬六千四百四十枚、短尺花莖百六十三枚、小物花莖三百十五萬五千八十九枚ナリ。而シテ其ノ検査ノ結果普通花莖ハ合格完全二萬二千三百九十六本、合格尺不足二千七百二一本、不合格二千五百三十四本、廣幅花莖ハ合格完全十一萬二千七十七枚、不合格四千六十三枚、短尺花莖ハ合格百六十三枚、小物花莖ハ合格二百九十四萬四千九百三十枚、不合格二十萬七千八百五十四枚ノ成績ヲ得タリ。而シテ其ノ検査成績ヲ更ニ歩合ニ換算スルトキハ、普通花莖ハ受檢數ニ對シ合格完全八割一分一厘、合格尺不足八分九厘、不合格九分二厘、廣幅花莖ハ合格九割六分五厘、不合格三分五厘、小物花莖ハ合格九割三分三厘、不合格六分七厘ニ各相當セリ。以上ノ成績ニ徴スルトキハ、其ノ前年ニ比シ廣幅花莖ハ稍々不成績ヲ示セルモ他ハ孰レモ好成绩ヲ收メタリ。

出張検査シタルモノハ普通花莖二百二十二本、廣幅花莖七百二十九枚、小物花莖五千二百二十四枚ニシテ孰レモ好成绩ヲ示セリ。今之ヲ月別ニ調査スレバ左表ノ如シ。

月別普通短尺花菱檢查成績表 (單位普通本其他枚)

月次	種類										檢查數	完全	尺不足	量目	原料	染色	模樣	地合	經系數	耳仕上	緣仕上	幅	計	步合	
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月															
一月	普通	廣尺	廣尺	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	二、六五九	二、一九二	二、七二	四五	六四	一四	一八	一四八	三三	二	二	二	二	一四〇	〇七
二月	普通	廣尺	廣尺	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	八、二三八	七、八二〇	二、七二	五五	四五	一八	一八	一四八	三三	二	二	二	二	四〇八	〇五
三月	普通	廣尺	廣尺	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	三、一四五	二、五五〇	三、三三	一九	九五	一六	一六	一四八	三三	二	二	二	二	二七三	〇八
四月	普通	廣尺	廣尺	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	三、六一〇	六、二五二	三、三三	一九	九五	一六	一六	一四八	三三	二	二	二	二	二七三	〇八
五月	普通	廣尺	廣尺	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	一〇、〇九九	九、七〇二	三、三三	一九	九五	一六	一六	一四八	三三	二	二	二	二	二七三	〇八
六月	普通	廣尺	廣尺	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	二、七〇七	二、一三二	二、八七	一九	九五	一六	一六	一四八	三三	二	二	二	二	二七三	〇八
七月	普通	廣尺	廣尺	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	八、〇二六	七、七七四	二、八七	一九	九五	一六	一六	一四八	三三	二	二	二	二	二七三	〇八
八月	普通	廣尺	廣尺	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	二、三三三	二、〇一七	二、八七	一九	九五	一六	一六	一四八	三三	二	二	二	二	二七三	〇八
九月	普通	廣尺	廣尺	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	一、一五八	一、〇〇〇	二、五五	一九	九五	一六	一六	一四八	三三	二	二	二	二	二七三	〇八
十月	普通	廣尺	廣尺	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	二、四四三	一、九七三	二、五五	一九	九五	一六	一六	一四八	三三	二	二	二	二	二七三	〇八
合計	普通	廣尺	廣尺	普通	普通	普通	普通	普通	普通	普通	二二、四三三	二一、九四〇	二、七二	四五	六四	一四	一八	一四八	三三	二	二	二	二	一四〇	〇七

月別花菱出張檢查成績表 (單位普通本其他枚)

月次	種類		檢查數	完全	尺不足	量目	原料	染色	模樣	地合	經系數	耳仕上	緣仕上	幅	計	步合
	普通	廣尺														
一月	普通	廣尺	二、六五九	二、一九二	二、七二	四五	六四	一四	一八	一四八	三三	二	二	二	一四〇	〇七
二月	普通	廣尺	八、二三八	七、八二〇	二、七二	五五	四五	一八	一八	一四八	三三	二	二	二	四〇八	〇五
三月	普通	廣尺	三、一四五	二、五五〇	三、三三	一九	九五	一六	一六	一四八	三三	二	二	二	二七三	〇八
四月	普通	廣尺	三、六一〇	六、二五二	三、三三	一九	九五	一六	一六	一四八	三三	二	二	二	二七三	〇八
五月	普通	廣尺	一〇、〇九九	九、七〇二	三、三三	一九	九五	一六	一六	一四八	三三	二	二	二	二七三	〇八
六月	普通	廣尺	二、七〇七	二、一三二	二、八七	一九	九五	一六	一六	一四八	三三	二	二	二	二七三	〇八
七月	普通	廣尺	八、〇二六	七、七七四	二、八七	一九	九五	一六	一六	一四八	三三	二	二	二	二七三	〇八
八月	普通	廣尺	二、三三三	二、〇一七	二、八七	一九	九五	一六	一六	一四八	三三	二	二	二	二七三	〇八
九月	普通	廣尺	一、一五八	一、〇〇〇	二、五五	一九	九五	一六	一六	一四八	三三	二	二	二	二七三	〇八
十月	普通	廣尺	二、四四三	一、九七三	二、五五	一九	九五	一六	一六	一四八	三三	二	二	二	二七三	〇八
合計	普通	廣尺	二七、六三三	二二、三九六	二、七二	四五	六四	一四	一八	一四八	三三	二	二	二	一四〇	〇七

月別小物花蒔検査成績表(單位枚)

月次	検査數	合格	品質		サ合	捺染	格計	歩合
			不長	サ合				
一月	二二五、二六三	二二五、八六一	六、〇〇六			三、三九六	九、四〇二	〇四二
二月	二六九、六三六	二四九、〇三九	一六、二一九			四、三七八	二〇、五九七	〇七六
三月	三六一、一三〇	三二九、六〇二	二五、四三九			六、〇八九	三一、五二八	〇八七
四月	三三六、四一七	三〇四、三一一	二八、四三三			三、六七四	三二、一〇六	〇九五
五月	二八一、六五五	二五八、二〇三	二二、四二〇			二、〇三二	二二、四五一	〇八三
六月	二二五、九七一	二〇九、二八九	一五、一四五			一、五三七	一六、六八二	〇七四
七月	二〇四、七二六	一八八、一六六	一五、〇八四			一、二八八	一六、五六〇	〇八一
八月	一七〇、六七一	一六二、四二八	六、三〇四			三、九七	八、二四三	〇四八
九月	二二六、八五二	二二二、六〇一	一、二七七			二、六二二	一四、二五一	〇六〇
十月	三三〇、〇七二	三〇五、四六三	一〇、二六二			三、九六四	一四、六〇九	〇四六
十一月	二六〇、八八七	二四九、七三九	六、八八四			三、四六八	一一、一四八	〇四三
十二月	二六一、八〇九	二五〇、二二八	八、〇四五			三、三四七	一一、五八一	〇四四
合計	三、一五五、〇八九	二、九四四、九三〇	一七〇、五一七	〇四三 〇五四	〇〇一	三七、三三七	二一〇、一五九	〇六七
歩合對照	本年	前年						

月別小物花蒔出張検査成績表(單位枚)

月次	検査數	合格	品質	捺染	格計	歩合
六月	一、四八七	一、四五九	二八		二八	〇一九
十月	三六三、三七	三三三、三一	六四		一〇六	〇二九
合計	五、二二四	四、九九〇	九二		一三四	〇二六

尙検査成績ヲ各府縣別ニ調査スレバ左表ノ如クニシテ、今各産地ニ就キ比較對照スルトキハ、普通花蒔ニ在リテハ福岡縣産最モ不良ニシテ一割二分五厘ノ不合格ヲ出シ、香川縣産之ニ亞ギ八分四厘ノ不合格ヲ出セリ。又廣幅花蒔ハ香川縣産ニ於テ九分六厘ノ不合格ヲ出セシ外他ハ概シテ良好ノ成績ヲ示セリ。小物花蒔亦好成績ヲ擧ゲシモ兵庫、岡山ノ兩縣産ニ於テ稍不結果ヲ見タリ。

府縣別廣幅花蒔検査成績表(單位普通本)

府縣	種類	検査數	合格		量目	原料		染色	模様	地合	經糸數	耳仕上	縁仕上	幅	計	歩合
			完全	尺不足		不	不									
岡山	普通	一三、九六四	一一、〇八九	七八二	三五八	二二七	五一	九四	二七九	二	八一			一〇九三	〇七八	
	廣幅	一一六、一四〇	一一〇、七七	一、〇四四	三七二	九九八	一八九	九八六	四七三	一	四七三			三、〇七七	〇二六	
廣島	普通	一五五	一五五												〇三九	
	廣幅	一五二	一四〇	六	四	一										
福岡	普通	八、〇二二	五、八二二	一一、二八	三八八	三九一	五		一七五		三三			九九一	〇二四	
	廣幅	一三三	三三四						七					七	〇二二	

合計	香川		兵庫	
	普通	廣幅	普通	廣幅
短尺	五、〇九五	四、三〇一	六九、四三三	八
廣幅	四、〇〇六	三、八八九	六六、九八五	八
普通	二七、六三二	二二、三九六	二二、三九六	二七、〇二二
合計	一一六、一四〇	一一二、〇七七	一六六、四一八	一六三
短尺	一六三	一六三	一六三	一六三
廣幅	一六三	一六三	一六三	一六三
普通	一六三	一六三	一六三	一六三
合計	一六三	一六三	一六三	一六三

府縣別小物花莖検査成績表(單位枚)

府縣	検査數	合格	品質		サ	合	格	計	歩	合
			長	サ						
岡山	二、七七六、九六五	二、六〇〇、六三三	一四〇、九四六	一、五八五	三、四八〇	一、七六六、三三二	一、〇〇七	〇、〇六三	四、二八	〇、〇八四
廣島	二、一〇六〇	二、一〇四六	一四	一	一	一	一	〇、〇〇七	四、一四	〇、〇九六
福岡	五、四九七	五、三八九	七七	二	八	一〇八	〇、〇二〇	〇、〇二〇	四、一六	〇、〇九六
兵庫	三、七〇、五六七	三、三三六、八六二	三三〇、四八〇	六九七	二、五二八	三三三、七〇五	〇、〇九一	〇、〇九一	四、一六	〇、〇九六
合計	三、一五五、〇八九	二、九四四、九三〇	一七〇、五一七	二、三〇五	三七、三三七	二、二一〇、一五九	〇、〇六七	〇、〇六七	四、二八	〇、〇八四

尙昭和二年中ノ検査成績ヲ種類別ニ調査スルニ、普通花莖中最不成績ナリシハ目迫縞ニシテ、二百二十經ノ三割三分三厘ノ不合格ヲ出セリ。之ニ亞ギ不成績ヲ見タルハ目迫縞百五十經ノ一割二分六厘、目迫飛込百五十經ノ一割一分等ニシテ、目迫縞花莖ハ大部分現時々好ニ投ジツ、アル捺染原料用無地ニシテ、逐年販路擴張ニ伴ヒ値段競争ノ極、動モスレバ粗製品ヲ供給セントスル傾向アリシモ、本年ハ百五十經以外ハ好成绩ヲ

示セリ。諸目織ハ輸出花莖トシテハ需要尠ク、主トシテ内地向ニ製織セラル、ノ關係上特ニ昨年ハ不成績タリシモ、本年ハ全部合格ノ好成绩ヲ見タリ。機械織百八十經ニ於テ一割七厘ノ不合格ヲ出セルモ、元來機械織ハ再度加工ヲ要セザル模様織込特製品ナルヲ以テ他ニ比シ粗製ノ弊尠キヲ例トス。又紋花莖ハ製品自體ガ優良品ニ屬スルヲ以テ全部合格セリ。更ニ捺染品ニ至リテハ一旦生地ニテ受驗シタル合格品ヲ原料トシテ捺染加工後再ビ検査ヲ受クルモノアルト、産地ニ於テ捺染加工ノモノモ生地ヲ吟味セル爲メ、本年ハ好成绩ヲ收メタリ。

廣幅花莖中目迫縞ハ、前年ニ引續キ孰レモ良好ナル成績ヲ得タリ。又機械織ハ大部分模様織込ノ繼合物ニシテ、漸次品位向上シツ、アルノ状態ニ在ルニモ拘ラズ、他種ニ比シ不成績ヲ示セリ。捺染品ハ何レモ前年ニ比シ好成绩ヲ示シ、更ニ紋花莖ノ成績ガ他ノ種類ニ比シ好成绩ヲ示セルハ、該品ハ大部分織込廣幅ニシテ繼合ニアラザル爲メ、製織上自ラ注意到レルニ基クモノ、如シ。

短尺花莖ハ、廣幅原料トシテ多クノ粗製品普通花莖中稍良好ナル部分ヲ切斷シタル斷片ナルガ故、好成绩ヲ見ルヲ普通トス。

小物花莖ハ一般ニ良好ナル成績ヲ示セルモ、目迫縞二百四十經ノ九分、捺染莖二百六十經ノ七分六厘等ノ不合格ヲ出シタリ。

以上ノ種類別成績ヲ統計スレバ左表ノ如シ。

花莖種類別検査成績表(單位普通本其他枚)

種類	検査數	合格	不合格	合格		不合格	
				歩	格	歩	格
三百六十經	一七	一七	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇
普通	七、二一〇	六、八六九	三四一	九五三	一、〇〇〇	〇、四七	〇、〇〇五
廣幅	五五	五五	八	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇
小物	一、五一四	一、五〇六	八	九九五	九九五	一	九九五

紋花 花 蕙	諸目織					目迫飛形		目迫縞						
	二百九十經	三百三十經	三百六十經	八十經	百八十經	二百二十經	二百四十經	二百六十經	百五十經	二百六十經	二百八十經	三百三十經	三百四十經	三百五十經
普通	小普通	普通	小普通	小普通	廣普通	廣普通	廣普通	廣普通	小普通	小普通	小普通	小普通	小普通	小普通
通物通	通物通	通物通	通物通	通物通	通物通	通物通	通物通	通物通	通物通	通物通	通物通	通物通	通物通	通物通

一二	三八五	六	四	三七九	六〇	三六	一八	一〇三	五九	三三	八	六	一	三〇六〇	一〇九	六〇	二〇	二四	一五	一一	五五〇	二五三	
二	三八三	六	四	三七九	六〇	三六	一八	一〇三	五九	三三	八	六	一	三〇四〇	一〇四	六〇	一九	二三	一〇	一一	五五〇	二五三	
	二													二〇	五			一	一	五			
一〇〇〇	九九五	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	九九〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	九九三	九五四	一〇〇〇	九五〇	九五〇	九五八	六六七	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
	〇〇五							〇一〇						〇〇七	〇四六			〇五〇	〇四二	〇三三			

綾地織	機械飛込		機械織			目迫飛込			目迫織				
	二百四十經	百五十經	百八十經	二百四十經	二百六十經	二百九十經	二百四十經	百五十經	百八十經	二百二十經	二百四十經	二百六十經	二百九十經
普通	普通	普通	小普通	廣普通	廣普通	小普通	小普通	小普通	小普通	小普通	小普通	小普通	小普通
通物通	通物通	通物通	通物通	通物通	通物通	通物通	通物通	通物通	通物通	通物通	通物通	通物通	通物通

七	三	二,五七一	七,七四四	八	四三,八一八	八,二九四	八九	七	二〇〇	三六	一一,一五	三	二,九四七	六,八九八	三三四	二四	六三	三,六七六	五七〇	六六	二二,六二四	二五	
七	三	二,二九六	七,六一六	八	三,八九五	七,四〇三	八九	七	一九九	三六	九九二	三	二,八四四	六,〇二七	三三三	二三	六二	三,三四四	五六〇	六四	二〇,八〇五	二五	
		二七五	二二八		四三三	八九一					一一三		一〇三	八七一				三三三	一〇	二	一,八一九		
一〇〇〇	一〇〇〇	八九三	九八三	一〇〇〇	九〇二	八九三	一〇〇〇	一〇〇〇	九九五	〇〇	八九〇	一〇〇〇	九九五	八九七	八九四	九九七	九五八	九八四	九一〇	〇九八	九七〇	九二〇	一〇〇〇
		二〇七	〇一七		〇九八	二〇七			〇〇五		二一〇		〇三五	二二六	〇〇三	〇四二	〇一六	〇九〇	〇〇二	〇三〇	〇八〇		

種	類	檢查數	合格	不合格	合格		合格
					合格	不合格	
目迫織	普通	53	52	1	981	19	962
目迫飛込	普通	12	11	1	917	0	917
諸目織	廣幅	50	50	0	833	0	833
	廣幅	60	50	10	1000	0	1000
捺染莚	廣幅	31	28	3	903	0	903
	小廣幅	350	338	12	966	0	966
	普通	157	157	0	1000	0	1000
	小廣幅	588	584	4	993	0	993
莚	小物	728	728	0	1000	0	1000
	廣幅	894	879	15	983	0	983

花莚種類別出張検査成績表 (單位普通本其他枚)

種	類	檢查數	合格	不合格	合格		合格
					合格	不合格	
莚	普通	27,632	25,098	2,534	811	0	811
額	小物	11,400	11,077	323	1000	0	1000
紋花	小物	163	163	0	965	0	965
合計	廣幅	27,632	25,098	2,534	811	0	811
	小物	11,550	11,240	310	1000	0	1000

種	類	檢查數	合格	不合格	合格		合格
					合格	不合格	
中繼莚	廣幅	40	38	2	1000	0	1000
	普通	4,503	4,381	122	973	0	973
錦	廣幅	6	6	0	1000	0	1000
	普通	1,359	1,345	14	990	0	990
莞	廣幅	97	97	0	1000	0	1000
	普通	2,890	2,877	13	996	0	996
捺染莚	廣幅	311	303	8	974	0	974
	小廣幅	4,689	4,667	22	963	0	963
莚	廣幅	30,640	29,680	960	987	0	987
	小廣幅	8	8	0	1000	0	1000
捺染莚	廣幅	22,435	22,297	138	924	0	924
	小廣幅	7,969	7,855	114	986	0	986
莚	廣幅	390	376	14	964	0	964
	小廣幅	25	25	0	1000	0	1000
捺染莚	廣幅	974	967	7	993	0	993
	小廣幅	1,625	1,612	13	992	0	992
莚	廣幅	274	265	9	967	0	967
	小廣幅	5,155	4,985	170	967	0	967
合計	廣幅	22,435	22,297	138	924	0	924
	小廣幅	11,550	11,240	310	1000	0	1000

合	計	小廣普 物幅通	二二三 七二九 五二二四	二二〇 七二二 四九九〇	二 一七 一三四	九九一 九七七 九七四	〇〇九 〇三三 〇二六
---	---	------------	--------------------	--------------------	----------------	-------------------	-------------------

第二章 野草薙ノ検査

第一節 野草薙ノ搬入搬出

昭和二年中ニ本所ニ搬入検査ヲ受ケタル野草薙ノ數量ハ、長物四百九十八本、廣幅(十八尺以下)十一萬七千六百枚、廣幅(十二尺未滿)四十二萬六千三百九十一枚ナリ。而シテ以上ノ數量ヲ月別ニ比較スルニ、長物ハ數量僅少ナルヲ以テ暫ク措キ、廣幅(十八尺以下)ハ一、六、九ノ三箇月最モ多ク、一萬二千乃至一萬七千枚以上ニ達セリ。廣幅(十二尺未滿)ハ一、二、三、十二ノ四箇月最モ多ク、四萬乃至五萬枚以上ニ達セリ。斯ク各種共夏季ニ於テ其ノ數量減少セルハ、花薙ト同様ノ理由ニ依ルモノトス。今前記受檢數ヲ月別ニ調査シ、其ノ口數並ニ検査後ノ搬出數ヲ對照スレバ左表ノ如シ。

月別野草薙搬入搬出對照表 (單位長物本 廣幅枚)

月	次	種類	搬入	搬出
月			普通検査	急速検査
一	廣幅(甲)物	一六三	一五五〇	一六八
	廣幅(乙)	一五、五六六	二一九	一五、七八五
	長物	七三、九九五	一、五五〇	七五、五四五
二	廣幅(甲)物	六、八八四	三三九	四六、一九二
	廣幅(乙)	四、八四八	一九七	五三、一九八
	長物	一一、七五二	一三三	一一、八八五
三	廣幅(甲)物	二〇	一九七	二〇
	廣幅(乙)	五三、〇〇一	一、八八五	五三、一九八
	長物	一一、七五二	一三三	一一、八八五
四	廣幅(甲)物	五、三三四	一一六	五、三三六
	廣幅(乙)	二五、七〇三	二一六	二五、八一九
	長物	一一、七五二	一三三	一一、八八五
五	廣幅(甲)物	九、八二九	三〇	九、八三〇
	廣幅(乙)	二九、七五五	一	二九、七八五
	長物	一一、七五二	一三三	一一、八八五
六	廣幅(甲)物	一五、七二六	一六	一五、七三三
	廣幅(乙)	三八、二三九	七	三八、二五五
	長物	一一、七五二	一三三	一一、八八五
七	廣幅(甲)物	四、四三三	四	四、四三三
	廣幅(乙)	七、二三三	一	七、二三三
	長物	一一、七五二	一三三	一一、八八五
八	廣幅(甲)物	六、四六二	二二	六、四六二
	廣幅(乙)	一五、五八〇	三	一五、六〇二
	長物	一一、七五二	一三三	一一、八八五
九	廣幅(甲)物	二、一三三	二八	二、一三三
	廣幅(乙)	二四、五三〇	三	二四、五五八
	長物	一一、七五二	一三三	一一、八八五
十	廣幅(甲)物	八、〇五〇	七	八、〇五七
	廣幅(乙)	二五、二〇八	九	二五、二一七
	長物	一一、七五二	一三三	一一、八八五

月	搬入	搬出	計	口數
一	一六三	一六八	一六三	五七
二	一五、五六六	一五、七八五	一五、五六六	四八一
三	七三、九九五	七五、五四五	七三、九九五	四八一
四	二〇	二〇	二〇	二
五	五三、〇〇一	五三、一九八	五三、〇〇一	九三三
六	一一、七五二	一一、八八五	一一、七五二	二四一
七	五、三三四	五、三三六	五、三三四	三二
八	二五、七〇三	二五、八一九	二五、七〇三	二五、九一〇
九	九、八二九	九、八三〇	九、八二九	二二
十	二九、七五五	二九、七八五	二九、七五五	九三三
計	一一、七五二	一一、八八五	一一、七五二	二四一

合計	十一月	十二月	合計
	長幅(甲)物	長幅(甲)物	長幅(甲)物
	廣幅(乙)	廣幅(乙)	廣幅(乙)
	九六九〇	二七、四〇四	四六二二
	二〇、七二五	一〇、一〇一	二一、八二六
	五七、六四九	一〇、七二五	六八、三七四
	四一	二四六	二八七
	九、七三一	二七、六五〇	三七、三六三
	一九九	一九、一七七	二〇、一七六
	六、九三七	七、六四二	一四、五七九
	一〇、七七一	一、一五	一二、八八六
	五七、二二七	二六	五七、二五三
	一四一	五〇四	六四五
	四九八	一九九	六九七
	一一七、一〇六	一九、一七七	一三六、二八三
	二八、八九八	一、一五	三〇、〇四五
	五九、七八六	四、五八六	六四、三七二
	八八二八	三、五六五	九、三九三
	三〇〇、四四三	二六、二四一	三二六、六八四
	一三四、一四五	六、三〇五	一四〇、四五〇
	五七、七六八	一〇、八九一	六八、六五九
	一、七、五五四	一、二五	一、九、八〇四
	四三四、五八八	五七、八〇六	四〇一、三九四
	九、〇三一	八七七	九、八八八
	二、九四四	三五九	三、三〇三
	一四二	二六	一六八

備考 長物トハ十八尺ヲ超ユルモノ、廣幅(甲)ハ長サ十二尺以上十八尺以下ノモノ、廣幅(乙)ハ長サ十二尺未滿ノ野草莖ヲ謂フ。以下之ニ倣フ。

前表ノ搬入野草莖ヲ各府縣別ニ觀察スルトキハ、岡山縣產首位ヲ占メ總數ノ八割二分ニ相當シ、兵庫縣(八分七厘)、香川縣(八分二厘)等之ニ亞ギ、其ノ他ハ僅少ノ搬入ヲ見タルニ過ギズ。

最近二箇年間府縣別搬入野草莖調査表(單位枚長)

府縣	昭和十一年		昭和十二年		合計
	搬入數	歩	搬入數	歩	
岡山	四三五、七六六	・七二三	四四六、一一〇	・八二〇	八八二
香川	一〇七、一一二	・二七五	四四、六五七	・〇八二	一五二
兵庫	五九、一一八	・〇九七	四七、四一〇	・〇八七	一〇八
重庫	四、〇四二	・〇〇七	五八〇	・〇〇一	五八七
鳥取	九九二	・〇〇二	二四五	・〇〇一	一二七
徳島	一六二	・〇〇二	一	・〇〇一	一六三

石川	三、五四九	・〇〇六	四、九八三	・〇〇九
計	六一〇、七四一	五四三、九九五		

第二節 野草莖ノ出張検査

花莖検査規則施行細則第一條ノ二但書ニ據リ、野草莖ノ出張検査ヲ請求セル數量ハ、廣幅(甲)四千九十一枚、廣幅(乙)九千七百二枚ナリ。今此ノ請求數ヲ月別ニ比較スレバ左表ノ如シ。

月別野草莖出張検査請求高調査表

月次	種類		受付數	口數	月次	種類		受付數	口數
	廣幅(甲)	廣幅(乙)				廣幅(甲)	廣幅(乙)		
一月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	四三二	一四	一月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	四〇九	六二
二月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	七六七	二二	二月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	九七〇	一三三
三月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	五九二	三三	三月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	二四二	三五
四月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	二、〇〇九	四一	四月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	六五〇	八三
五月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	九三	五	五月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	六九	三
六月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	五八六	五	六月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	三六一	四
七月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	一三	一	七月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	六七	三
八月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	八八	一	八月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	三六	一
九月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	二、三三九	二	九月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	二、三三九	三
十月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	一、七四二	二	十月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	一七一	八
十一月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	三八一	二	十一月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	六八	三
十二月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	七四五	二	十二月	廣幅(甲)	廣幅(乙)	一七一	八
合計	廣幅(甲)	廣幅(乙)	一四、三三三	一四	合計	廣幅(甲)	廣幅(乙)	一四、三三三	一四

備考 表中六千五百六枚ハ岡山縣產、其他七千二百八十七枚ハ兵庫縣產ナリ。

第三節 急速検査

本章第一節受驗品ノ内、特ニ急速ノ検査ヲ請求シタル野草莖ハ、長物三十六本、廣幅(甲)五百四十一枚、廣幅(乙)三千二百四十七枚此ノ口數三百六十六口ナリ。而シテ今之ヲ月別ニ比較スルニ、其ノ請求數ノ春冬ニ多クシテ夏秋ニ少キハ、花莖ト同様春冬ノ兩季ハ海外註文品ノ積出期ニ相當シ急ヲ要スル出荷多キト、夏秋ニ至リテハ取引閑散ヲ常トスルガ故ナリトス。

月別急速検査請求高調査表

月次	長物	廣幅(甲)	廣幅(乙)	口數	月次	長物	廣幅(甲)	廣幅(乙)	口數
一月	五本			一〇二	一月				一〇二
二月	一三			六三	二月				六三
三月				三三	三月				三三
四月				二七	四月				二七
五月				七	五月				七
六月				一七	六月				一七
上半期計	一八			二四九	上半期計				二四九
七月				三	七月				三
總計	三六			五四一	總計				五四一

第四節 検査請求品ノ修補乾燥

昭和二年中野草莖検査請求品ノ内修補乾燥不完全ノ爲メ、検査請求人ヲシテ修理ヲ施サシメタル數量ハ、長物及廣幅ヲ通シ四萬七百五十五枚ニシテ、検査總數ニ對シ七分三厘ノ不完全品ヲ出シタリ。今之ヲ月別ニ

統計スレバ左表ノ如シ。

月別修理野草莖調査表(單位枚含長物ヲ)

月次	検査數	修理			計	本年	前年
		乾燥及除敵	糸入	緯直毛取			
一月	七七、五一五	一三五	一、八一七	四四一	三、六七七	〇四七	
二月	六六、八七五	二二三	二、四五一	五九二	四、三五三	〇六五	
三月	五九、一一八	一五二	二、四四七	八九八	四、六一八	〇七八	
四月	五一、六九三	五〇七	一、六九一	五一〇	三、四七一	〇六七	
五月	三六、九五二	三九	一、二九七	六九三	二、八三九	〇七七	
六月	三〇、二九八	二四	九八九	一一、一九五	三、一三六	一〇四	
七月	三六、七七三	九二二	一、二七四	一、四六二	四、四四七	一一一	
八月	二二、八〇一	六二三	五九〇	一、二六六	二、八九〇	二二七	
九月	二七、九八九	三七七	七九五	一、二一八	二、六九三	〇九六	
十月	三八、五四五	一八一	六七五	一、七二三	三、〇一五	〇七八	
十一月	四〇、七八九	四八	八六〇	一、〇六九	二、三八八	〇五九	
十二月	六六、五七四	一九六	一、一九八	一、四二六	三、二二八	〇四八	
合計	五五五、九二二	三、二二七	一、六〇八四	一、二、三三三	四〇、七五五	〇七三	

前表ノ不完全品ヲ更ニ產地別ニ表示スレバ左ノ如クニシテ、今重ナル產地即チ岡山、香川、兵庫ノ三縣ニ就キ之ヲ比較スルニ岡山、兵庫ノ兩縣產ハ成績不良ニシテ、受檢數ニ對シ各七分二厘ノ不完全品ヲ出シ、香川縣產ハ之ニ亞ギ六分九厘ナリトス。之ヲ前年ニ比スルトキハ孰レモ多數ノ不完全品ヲ出ダセリ。特ニ將來製

作上ニ一段ノ注意ヲ望マザルヲ得ザルナリ。

府縣別修理野草莖調査表(單位枚_{長物ヲ})

府縣	檢查數	修理					計	本年	前年
		乾燥及除敵	糸入	緯直	毛取	切繼品			
岡山	四五三、二五四	二、五〇〇	二二、三六三	一〇、八五七	六七一一	二	三三、四三三	〇七三	〇四七
香川	四九、四一一	二、三〇〇	一、三二六	七、七九	一、一〇三	一	三、四二九	〇六九	〇三六
兵庫	四七、五五九	三、九七	一、七八一	六、三〇	一、二二八		三、九三六	〇七二	〇四九
三重	六三六	二	一、〇〇〇				一、〇二二	二六〇	二九二
石川	四、八一五	九八	五、二四	一、二七	一一六		八五五	二七八	二九九
鳥取	二四九								〇四九
合計	五五五、九二一	三、二二七	一六、〇八四	二二、三三三	九、〇五八	三	四〇、七五五	〇七三	〇四六

府縣別修理野草莖出張檢查調査表(單位枚)

縣別	檢查數	修理					計	本年	前年
		乾燥及除敵	糸入	緯直	毛取	切繼品			
岡山	六、五〇六		一五	四〇	二		六六	〇一〇	〇一〇
合計	六、五〇六		一五	四〇	二		六六	〇一〇	〇一〇

第五節 檢查成績

昭和二年中檢查ヲ施行シタル野草莖ノ總數ハ五十六萬九千七百十四枚ニシテ、内本所へ搬入受檢セルモノ五

十五萬五千九百二十一枚、出張檢查ヲ施行セルモノ一萬三千七百九十三枚ナリ。而シテ檢查ノ結果ハ、本所へ搬入受檢セルモノ合格完全五十四萬三百八十二枚、(檢查總數ニ對シ九割七分二厘)、合格尺不足五千三百五十七枚(一分)不合格一萬八百八十二枚(一分八厘)ノ成績ヲ得、之ヲ前年ニ比較スルトキハ稍不良ナリ。次ニ出張檢查ノ成績ヲ觀ルニ、這ハ全部特殊ノ優良品ニ屬スルヲ以テ、不合格ノ出現皆無ナリ。今之ヲ月別ニ調査スレバ左表ノ如シ。

月別野草莖檢查成績表(單位枚_{長物ヲ})

月次	檢查數	合格					不合格					計	歩合
		完全	尺不足	原料	地合	經絲	經絲數	品質	計	歩合			
一月	七、七五五	七、七五五	七九三	一一六	九七	一六九	三二	五二	四六六	〇〇六	〇〇六	〇〇六	〇〇六
二月	六、八七五	六、八七五	五九八	九六	三八四	三三	一二七	六九	六八九	〇一〇	〇一〇	〇一〇	〇一〇
三月	五、九二八	五、九二八	一一九七	一三八	二〇一六	七六	六	六九	二、三〇五	〇三九	〇三九	〇三九	〇三九
四月	五、六九三	五、六九三	七三二	一七三	九三九	五四	二九	二九	一、一九五	〇三三	〇三三	〇三三	〇三三
五月	三、六、九五	三、六、九五	二八〇	一七〇	二七九	一	七二	七二	五二二	〇一四	〇一四	〇一四	〇一四
六月	三、〇、二九八	三、〇、二九八	一七九	一三二	四三六		一一五	一一五	六七三	〇二二	〇二二	〇二二	〇二二
七月	三、六、七七三	三、六、七七三	二八八	一四〇	七七四	八	七八	七八	一、〇〇〇	〇二七	〇二七	〇二七	〇二七
八月	二、二、八〇一	二、二、八〇一	二四一	一一五	七三三	二	五二	五二	九〇六	〇四〇	〇四〇	〇四〇	〇四〇
九月	二、七、九八九	二、七、九八九	二二六	一五七	五七四		三八	三八	七七一	〇二八	〇二八	〇二八	〇二八
十月	三、八、五四五	三、八、五四五	二五七	一三一	五二二		三六	三六	九六四	〇二五	〇二五	〇二五	〇二五
十一月	四、〇、七八九	四、〇、七八九	二二二	一四一	二四七		二二	二二	三〇七	〇〇八	〇〇八	〇〇八	〇〇八
十二月	六、六、五七四	六、六、五七四	三三五	八五	二四七		二	二	三八四	〇〇六	〇〇六	〇〇六	〇〇六
合計	五五、九二一	五五、九二一	五、三五七	一、四八四	七、一七	六四二	九〇	八四九	一〇、一八二	〇一八	〇一八	〇一八	〇一八
對照本年	九七三	九七三	〇一〇	〇〇三	〇一〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	〇一五	〇一五	〇一五	〇一五	〇一五

月別野草薙出張検査成績表(單位枚)

月次	検査數		格		月次	検査數		格	
	合格	不合格	合格	不合格		合格	不合格	合格	不合格
一月	1,199	2,124	1,199	8	二月	1,156	2,408	1,156	9
二月	1,156	2,124	1,156	9	三月	1,101	2,408	1,101	10
三月	1,101	2,124	1,101	9	四月	4,083	1,126	4,083	10
四月	4,083	1,126	4,083	8	五月	1,126	1,126	1,126	10
五月	1,126	1,126	1,126	8	六月	1,126	1,126	1,126	10
六月	1,126	1,126	1,126	8	七月	1,126	1,126	1,126	10
七月	1,126	1,126	1,126	8	計	13,793	13,793	13,793	80

昭和二年中ノ野草薙検査成績ヲ各府縣別ニ調査スレバ左表ノ如クニシテ、今各産地ニ就キ比較對照スル時ハ石川縣産最不良ニシテ三分二厘ノ不合格ヲ出シ、之ニ亞グハ兵庫、岡山ノ兩縣ニシテ前者ハ二分三厘、後者ハ一分八厘ノ不合格ヲ出シタリ。而シテ不合格ノ理由中、各府縣共原料及地合不合ノ殊ニ多數ナルハ注意ヲ要ス。

府縣別野草薙検査成績表(單位枚)

府縣	検査數	格		原料地合		經系		品質	計	歩合
		完全	尺不足	合格	不合格	合格	不合格			
岡山	4,531,254	4,411,289	3,836	1,010	6,052	472	90	495	81,29	0.18
香川	49,412	47,784	851	137	545	14	1	81	777	0.16
兵庫	47,559	45,820	619	231	490	156	1	243	1,110	0.23
三重	636	633	3	1	1	1	1	1	1	0.15
府計	5,559,921	5,400,382	5,357	1,484	7,217	642	92	848	10,182	0.18

府縣別野草薙出張検査成績表(單位枚)

府縣	検査數	格	
		合格	不合格
岡山	6,506	6,506	0
兵庫	7,287	7,287	0
府計	13,793	13,793	0

尙ホ昭和二年中ノ野草薙検査成績ヲ種類別ニ調査スルニ、長物野草薙ハ受檢數僅少ナルヲ以テ暫ク措キ、廣幅野草薙ニ就キ之ヲ觀ルニ、成績最不良ナリシハ「九×十半」七百二十經二本込「八×十」二千四百經以上等ニシテ孰レモ二割ノ不合格ヲ出シ、之ニ亞ギ特別品二千四百經以上ノ五分二厘「四半×七半」七百二十經一本込ノ四分三厘等ノ不合格ヲ出シタリ。其ノ他ハ概シテ良好ナル成績ヲ示セリ。今種類別成績ヲ統計スレバ左表ノ如シ。

野草薙種類別検査成績表(單位長物本)

種類	検査數	格	
		合格	不合格
長物超(十八尺)	720	720	0
千六百經以上	664	664	0
一本込	109	109	3
計	1,493	1,493	3

備考 本表ニハ出張検査ヲ含まズ。	計		廣幅	廣幅 S.W. 藁
	廣	長 物	藁	經
	七 百 二 十 經 一 本 込 七 百 二 十 經 一 本 込	七 百 二 十 經 一 本 込 七 百 二 十 經 一 本 込	七 百 二 十 經 一 本 込 七 百 二 十 經 一 本 込	七 百 二 十 經 一 本 込 七 百 二 十 經 一 本 込
	千 六 百 經 以 上	千 六 百 經 以 上	千 六 百 經 以 上	千 六 百 經 以 上
	七 百 二 十 經 一 本 込 七 百 二 十 經 一 本 込	七 百 二 十 經 一 本 込 七 百 二 十 經 一 本 込	七 百 二 十 經 一 本 込 七 百 二 十 經 一 本 込	七 百 二 十 經 一 本 込 七 百 二 十 經 一 本 込
	三 一、八 五 六	三 一、八 五 六	三 一、八 五 六	三 一、八 五 六
	七 一、一 〇 九	七 一、一 〇 九	七 一、一 〇 九	七 一、一 〇 九
	一 九、一 五 九	一 九、一 五 九	一 九、一 五 九	一 九、一 五 九
	七 八 三	七 八 三	七 八 三	七 八 三
	一、八 二 八	一、八 二 八	一、八 二 八	一、八 二 八
	二 一、六 二 九	二 一、六 二 九	二 一、六 二 九	二 一、六 二 九
	一、二 七	一、二 七	一、二 七	一、二 七
	三 三、三	三 三、三	三 三、三	三 三、三
	一、九	一、九	一、九	一、九
	一、一 三 四	一、一 三 四	一、一 三 四	一、一 三 四
	六	六	六	六
	四 七	四 七	四 七	四 七
	五 六	五 六	五 六	五 六
	五 三	五 三	五 三	五 三
	六 六 四	六 六 四	六 六 四	六 六 四
	一、一 二 三 四	一、一 二 三 四	一、一 二 三 四	一、一 二 三 四
	一、一 二 三 四	一、一 二 三 四	一、一 二 三 四	一、一 二 三 四
	六 六 一	六 六 一	六 六 一	六 六 一
	一、一 一 七	一、一 一 七	一、一 一 七	一、一 一 七
	三 三、三	三 三、三	三 三、三	三 三、三
	一、八	一、八	一、八	一、八
	一、一 二 三 四	一、一 二 三 四	一、一 二 三 四	一、一 二 三 四
	六	六	六	六
	一、一 一 七	一、一 一 七	一、一 一 七	一、一 一 七
	九 九、九	九 九、九	九 九、九	九 九、九
	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇
	九 九、九	九 九、九	九 九、九	九 九、九
	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇
	九 九、九	九 九、九	九 九、九	九 九、九
	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇
	九 九、九	九 九、九	九 九、九	九 九、九
	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇
	九 九、九	九 九、九	九 九、九	九 九、九
	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇
	九 九、九	九 九、九	九 九、九	九 九、九
	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇
	九 九、九	九 九、九	九 九、九	九 九、九
	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇
	九 九、九	九 九、九	九 九、九	九 九、九
	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇
	九 九、九	九 九、九	九 九、九	九 九、九
	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇
	九 九、九	九 九、九	九 九、九	九 九、九
	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇
	九 九、九	九 九、九	九 九、九	九 九、九
	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇	一、一 〇 〇
	九 九、九	九 九、九	九 九、九	九 九、九

備考 本表ニハ出張検査ヲ含まズ。

第三章 試 驗

第一節 機 織

本年度ニ於ケル機織試験事業ハ左ノ四項ニ就キテナセリ。

- 一、各縣産蘭草ト量目トノ關係試験
- 二、花莖織出模様ノ研究及標本製作
- 三、各種蘭草ト花莖ノ關係試験
- 四、野草莖經系試験
 - 一、各縣産蘭草ト量目トノ關係試験

蘭草ハ同一栽培法ニ依ルモ天候其他ノ關係ニヨリ毎年其性質ヲ多少異ニシ花莖製織ニ際シテハ常ニ其ノ蘭草ノ性狀ニヨリテ原料使用量打込數等加減セザルベカラズ、故ニ本所ニ於テハ毎年各地ヨリ其年度ニ産出セル各種原料蘭草ヲ蒐集シテ花莖ヲ製織シ検査規則ニ定メラレタル量目トノ關係試験ヲ續行セリ。今年年度ニ於ケル該試驗方法結果等ニ就キテ左ニ記述スベシ。

 - イ、供試蘭草ノ種類
 - 1、岡山縣十地方長蘭(三尺四寸取)
 - 2、廣島縣長蘭(細口)
 - 同
 - 3、福岡縣一等蘭
 - 同
 - 二等蘭
 - 同
 - 三等蘭
 - 同

十
種

一
種

一
種

一
種

一
種

一
種

一
種

十
五
種

ロ、試験ノ方法

- 1、各産地ヨリ得タル原料蘭草ハ其乾燥程度同一ナラズ、故ニ先ヅ日光乾燥ヲ行ヒテ其程度ヲ一定適度トス。
 - 2、蘭草ハ同一種類ノ物ト雖其ノ一條毎ニ多少ノ差異ヲ見ルモノナルガ故ニ、精確ヲ期スルタメ供試原料全體ヨリ各千五百本宛（但福岡二等蘭ハ千六百五十本、三等蘭ハ千八百本）四束數ヘ取り第一號ヨリ第四號ニ區別ス。
 - 3、前記第一號ヨリ第四號ニ至ル一ツ毎ニ其ノ重量及長サヲ檢定シ次ニ元枝（袴又ハアマ皮ト稱スルモノヲ除去スル事）ヲ行ヒ次ニ製織ニ適スル様各三尺四寸五分ニ切斷シ更ニ第二回ノ秤量ヲ行フ。
 - 4、前項秤量測定ニ於テ各號ノ成績ヲ考慮シ其最中庸ヲ得タルト認ムル一ヲ取り其種ノ代表原料トシテ試験ニ供セリ。
 - 5、試織莖ノ種類ハ最普通ナル百五十經目迫織ヲ選ビ一寸間ノ打込數ハ五十本（福岡二等蘭ハ五十五本三等蘭ハ六十本）トシ長幅正三尺ニ織上ケ乾燥毛取其他ノ仕上ヲ行ヒテ最後ノ秤量ヲナス。
- 以上ノ方法ニヨリ行ヒタル結果ハ總テ普通花莖一本即百二十一尺ノモノニ換算シテ左ニ表示ス。
但經系ハ二〇番手四合絲ヲ用ヒ一本分ノ重量百七十匁ニシテ、左表ニ示ス試織莖ノ重量ノ内ニハ之ヲ含ムモノトス。

原料ノ種類	原料ノ長サ	原料ノ重量	試織莖ノ重量	原料歩減リ	減量ノ原量ニ對スル百分率
岡山縣 三高地方	三・八〇	七・六六三	六・二九三	一・五三九	二〇・一
同 大福地方	四・〇〇	六・四九三	五・三四一	一・三二一	二〇・三
同 箕島地方	三・七〇	六・八九七	五・八四六	一・二二〇	一七・六
同 大安寺地方	三・七〇	六・七四二	五・七二五	一・一八七	一七・六
同 上道地方	四・〇〇	六・九三七	五・六八四	一・四二二	二〇・五

同 今村地方	三・九〇	七・二一九	六・一九二	一・一九六	一六・五
同 西阿知地方	三・九〇	六・八七八	五・六六四	一・三三四	二〇・一
同 白石地方	三・九〇	六・四九三	五・三三〇	一・一三三	二〇・五
同 庭瀬地方	三・九〇	六・四一三	五・四〇〇	一・〇一三	一八・四
同 早沖地方	三・九〇	七・四六〇	六・七〇一	〇・九二八	一二・四
同 廣島縣 細口蘭	三・八〇	五・四八五	四・九七七	〇・六七七	一二・三
同 廣島縣 太口蘭	三・九〇	六・〇〇九	五・三〇一	〇・八七八	一四・六
同 福岡縣 一等蘭	三・四五	四・七九九	四・四五六	〇・五一二	一〇・六
同 福岡縣 二等蘭	三・〇〇	五・二八三	四・七五五	〇・六九八	一三・二
同 福岡縣 三等蘭	二・五〇	四・四一六	三・九八六	〇・六〇〇	一三・五

右表中原料歩減リト稱スルハ、製織前ニ於ケル蘭草尖端ノ切捨テ、元拔及ビ製織後ニ於ケル兩耳端ニ餘レル不用蘭草ヲ切捨テタル重量ニシテ、從ツテ其ノ歩減ハ蘭草ノ長サニ略比例ス。但シ其ノ多少ノ差ノ生ズルハ蘭草ノ硬軟及尖端枯渴シテ著シク輕キモノ等ニヨリ、廣島縣產蘭草ノ歩減リ少ナキハ既ニ元拔キヲ行ヒタル原料ヲ使用シタルタメ、元拔キニ依ル減量ハ表中ニ表レザルニヨルモノナリ。又福岡縣產蘭草ノ歩減リ少ナキハ原料短キタメニシテ、二等蘭三等蘭ハ尖端耳ニ達セズ殆全部織込マル、ガ故ナリ。而シテ右試織莖ノ重量ヲ檢スルニ、檢査規定量目ニ著シク超過セルモノ及達セザルモノ等アリ。故ニ今合格程度ノ花莖ヲ織上グルニ要スル打込數及原料量ヲ前表ノ結果ヨリ換算シ左表ニ示ス。

原料ノ種類	規定量目	所要原料量	一寸間打込數	備	考
岡山縣 三高地方	五・二〇〇	六・二九四	四〇・六	原料、昭和二年産	

三三〇	二三〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	三三〇	三三〇
目迫切込織	目迫切込織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織
紅、青、鼠、黃	赤、青、鼠、黃	淺青、鼠、黃	赤、鼠、淺黃	皮、赤、淺黃	茶、赤、黃	赤、黃	赤、黃	皮、赤、淺黃	皮、赤、淺黃	皮、赤、淺黃	皮、赤、淺黃	皮、赤、淺黃	皮、赤、淺黃	皮、赤、淺黃	皮、赤、淺黃	皮、赤、淺黃	皮、赤、淺黃	皮、赤、淺黃	皮、赤、淺黃
蓮、水鳥	飛廓模	輪廓模	飛廓模	元祿模	元祿模	元祿模	元祿模	元祿模	元祿模	元祿模	元祿模	元祿模	元祿模	元祿模	元祿模	元祿模	元祿模	元祿模	元祿模
六・三一・一五	六・三二・二七	六・三二・二七	六・三二・二七	六・三二・二七	六・三二・二七	六・三二・二七	六・三二・二七	六・三二・二七	六・三二・二七	六・三二・二七	六・三二・二七	六・三二・二七	六・三二・二七	六・三二・二七	六・三二・二七	六・三二・二七	六・三二・二七	六・三二・二七	六・三二・二七
七五・九	五七・九	五七・五	四九・九	五三・三	四八・五	四八・〇	四八・七	四五・七	四一・七	四五・六	四五・二	四四・三	四四・六	四八・六	原料、昭和二年産				
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同					
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三					
三三〇	二三〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	三三〇	三三〇
目迫切込織	目迫切込織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織
紅、茶、黒、鶺鴒、燕頭	茶、赤、青、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六					
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三					
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一					

三三〇	二三〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	三三〇	三三〇
目迫切込織	目迫切込織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織	機織
紅、茶、黒、鶺鴒、燕頭	茶、赤、青、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄	茶、赤、黄
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六					
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三					
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一					

二、花莖織出模様ノ研究及標本製作
 本所ニ於テ考案セル意匠圖案ノ花莖模様トシテノ適否ヲ研究シ其結果良好ナルモノハ標本見本又ハ參考品
 トシテ陳列シ或ハ當業者其他ノ關係者ニ配布セリ。此ノ目的ニ依リ製織シタルモノ左ノ如シ。

二九〇	二六〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇
目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目
迫	迫	迫	迫	迫	迫	迫	迫	迫	迫	迫	迫	迫	迫	迫	迫
織	織	織	織	織	織	織	織	織	織	織	織	織	織	織	織
山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣
長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長
蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭
三	二	一	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長
等	等	等													
岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡
縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣
廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣
島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島
縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經

三、各種蘭草ト花薙ノ關係試驗
各縣產原料蘭草ヲ用ヒテ各種ノ無地花薙ヲ製織シ、其ノ織薙作業ト各原料トノ關係、仕上薙ノ外觀上ニ及
ボス影響及捺染上ノ色合染着等ヲ試驗スルタメニ製織セルモノ左表ノ如シ。

二九〇	二六〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇
目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目	目
諸	諸	諸	諸	諸	諸	諸	諸	諸	諸	諸	諸	諸	諸	諸	諸	諸
織	織	織	織	織	織	織	織	織	織	織	織	織	織	織	織	織
山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣
長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長
蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭	蘭
三	二	一	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長	長
等	等	等														
岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡	岡
縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣
廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣
島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島	島
縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經	經

四、野草薙經糸試驗
野草薙ニ使用セラル、經糸ハ、製織ニ當リテ特ニ強キ張力ト摩擦ヲ受クルモノニシテ其經糸ノ品質如何ハ
製織能率ト製品ノ品位ニ及ボス影響少ナカラザルモノナリ。故ニ本所ニアリテハ當業者ノ糸質鑑定ノ依頼
ニ應ジ且各種野草薙經糸ノ市販品ヲ蒐集シ之等ニ對シ各種ノ試驗ヲ行フ事トシ之ガ結果ハ其ノ都度發表セ
ル處ナリ。然ルニ本年六月一日検査規則改正セラレ、野草薙經糸番手ニ關スル規定ハ變更セラレタリ、即
チ更ニ品質ヲ向上セシムルノ目的ニヨリ從前ニ比シ太キ番手ノ糸ヲ使用スル事トナレリ。故ニ本年度ニ於
テハ之等改正セラレタル經糸ニ就キ試驗ヲ行フ事トセルモ供試材料トシテ蒐集セルモノ少數ニシテ全體の
ニ其ノ結果ヲ發表スル能ハザルモ其ノ一部分ノ試驗成績ヲ右ニ記述スベシ。而テ爾余ノ物ニ對シテハ引續

キ次年度ニ於テ發表スル事トセリ。

イ、番手ノ試驗
 本試驗ハ其糸ノ呼稱番手ト實際番手ノ差ヲ知ラントスルモノナリ。例ヘバ一六番手三合糸ト稱シテ販賣サル、モノニ往々相當セザル番手ヲ有スルモノアルガタメナリ。

供試驗經糸
 十六番手三合糸 (右撚) 1
 (左撚) 2、
 同
 二十番手四合糸 (左撚) 3、4、
 (右撚) 5、
 十六番手四合糸 (右撚) 6、7、
 (左撚) 8、
 同 (右撚) 9、10、
 十六番手五合糸 (右撚)

試驗方法

番手トハ其糸ノ一定ノ長さニ於ケル糸ノ太サ及重量ヲ表スルモノニシテ之ヲ計ルニハ天秤或ハ特ニ糸番手ヲ計ルタメ造ラレタル「ヤーノン」ヲ用フ、本試驗ニ於テハ瑞西製「ラウスマ」ヲ用フ。次表ニ各回ニ番手計ニ表レタル番手ヲ示ス(但シ單糸ノ番手ニヨリ表示ス)

1	一六六五	一七三三	一九六〇	二〇四〇	一八二二	一四九〇	一六五〇	一六〇〇	一五五〇	一五三七
2	一七三三	一七三三	一九六〇	二〇四〇	一八二二	一六四〇	一六五〇	一五九〇	一五五〇	一五三七
3	一七三三	一七三三	一九六〇	二〇四〇	一八二二	一六四〇	一六五〇	一五九〇	一五五〇	一五三七
4	一七三三	一七三三	一九六〇	二〇四〇	一八二二	一六四〇	一六五〇	一五九〇	一五五〇	一五三七
5	一七三三	一七三三	一九六〇	二〇四〇	一八二二	一六四〇	一六五〇	一五九〇	一五五〇	一五三七
6	一七三三	一七三三	一九六〇	二〇四〇	一八二二	一六四〇	一六五〇	一五九〇	一五五〇	一五三七
7	一七三三	一七三三	一九六〇	二〇四〇	一八二二	一六四〇	一六五〇	一五九〇	一五五〇	一五三七
8	一七三三	一七三三	一九六〇	二〇四〇	一八二二	一六四〇	一六五〇	一五九〇	一五五〇	一五三七
9	一七三三	一七三三	一九六〇	二〇四〇	一八二二	一六四〇	一六五〇	一五九〇	一五五〇	一五三七
10	一七三三	一七三三	一九六〇	二〇四〇	一八二二	一六四〇	一六五〇	一五九〇	一五五〇	一五三七

右平均	一六二八	一六四〇	一九五四	一九四四	一九二四	一五五八	一六一二	一五六五	一五七〇	一四九八
	一六八〇	一七三三	二〇〇〇	一九〇〇	二〇五〇	一五九五	一五七五	一五七〇	一五八一	一五四六
	一六〇五	一七四〇	一九六〇	二〇〇〇	二〇〇〇	一五八〇	一六一〇	一五九〇	一五〇五	一四三七
	一五九〇	一七三五	一九六〇	二〇〇〇	一九二五	一四六五	一五七〇	一五六〇	一五八〇	一四七五
	一五七五	一四七〇	一九六〇	二〇〇〇	一九三七	一五四五	一七五〇	一五四〇	一五八八	一四八七
	一五六〇	一六八〇	一九六〇	二〇〇〇	一九〇〇	一五八〇	一六三〇	一六〇〇	一六二五	一五五〇
	一五七五	一五七五	二〇〇〇	二〇〇〇	一九〇〇	一五八〇	一六三〇	一六〇〇	一六二五	一五五〇
	一五九〇	一四七〇	一九六〇	二〇〇〇	一九三七	一五四五	一七五〇	一五四〇	一五八〇	一四七五
	一五七五	一四七〇	一九六〇	二〇〇〇	一九三七	一五四五	一七五〇	一五四〇	一五八〇	一四七五
	一五七五	一四七〇	一九六〇	二〇〇〇	一九三七	一五四五	一七五〇	一五四〇	一五八〇	一四七五
	一五九〇	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九〇〇	一五八〇	一六一〇	一五九〇	一五〇五	一四三七
	一六〇五	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九〇〇	一五八〇	一六一〇	一五九〇	一五〇五	一四三七
	一六八〇	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九〇〇	一五八〇	一六一〇	一五九〇	一五〇五	一四三七
	一五七五	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九〇〇	一五八〇	一六一〇	一五九〇	一五〇五	一四三七
	一五九〇	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九〇〇	一五八〇	一六一〇	一五九〇	一五〇五	一四三七
	一五七五	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九〇〇	一五八〇	一六一〇	一五九〇	一五〇五	一四三七
	一五九〇	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九〇〇	一五八〇	一六一〇	一五九〇	一五〇五	一四三七
	一六〇五	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九〇〇	一五八〇	一六一〇	一五九〇	一五〇五	一四三七
	一六八〇	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九〇〇	一五八〇	一六一〇	一五九〇	一五〇五	一四三七
	一五七五	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九〇〇	一五八〇	一六一〇	一五九〇	一五〇五	一四三七
	一五九〇	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九〇〇	一五八〇	一六一〇	一五九〇	一五〇五	一四三七
	一五七五	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九〇〇	一五八〇	一六一〇	一五九〇	一五〇五	一四三七
	一五九〇	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九〇〇	一五八〇	一六一〇	一五九〇	一五〇五	一四三七
	一六〇五	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九〇〇	一五八〇	一六一〇	一五九〇	一五〇五	一四三七
	一六八〇	一九六〇	一九六〇	一九六〇	一九〇〇	一五八〇	一六一〇	一五九〇	一五〇五	一四三七

右表ノ結果ニ依レバ各回ノ檢定番手ニハ其呼稱番手ト大ナル差ヲ有スルモノアレ共其平均番手ニ於テハ其差ハ大ニ減少シ大體ニ於テ可良ナル結果ヲ得タルガ如シ。然シ乍ラ其差ノ大ナルハ其糸斑ノ大ナルヲ示シ、製織ニ際シテ故障ヲ生ジ且其製品ノ外觀ハ不良ナルモノナレバ、其ノ平均番手ハ正當ナリト雖モ使用ニ際シテハ出來得ル限り平均セル糸ヲ選擇スベキモノナリ。此點ニ關シテハ強力試驗ノ結果ヲ考查シ此等ノ糸ノ不整度試驗トシテ後ノ項ニ於テ記述セリ。次ニ各供試經系二十回ノ檢定ニ於テ最細及最太ニ表レタル番手ヲ次ニ摘記シ、番手計ニ於テ知り得タル其糸ノ不平均度ヲ示ス。

試驗番號	供試經系名稱	最太ク表レタル番手	最細ク表レタル番手	最太、最細ノ差
一	一六番手 三合系右撚	一五・六〇	一七・八五	二・二五
二	一六番手 三合系左撚	一四・二五	一七・四〇	三・一五
三	二〇番手 四合系左撚	一八・六〇	二〇・四〇	一・八〇
四	二〇番手 四合系右撚	一八・四〇	二〇・八〇	二・四〇
五	二〇番手 五合系右撚	一八・一二	二〇・五〇	二・三八
六	一六番手 四合系右撚	一四・六五	一六・四〇	一・七五
七	一六番手 四合系左撚	一五・四〇	一七・五〇	二・一〇
八	一六番手 四合系左撚	一四・七〇	一六・六〇	一・九〇
九	一六番手 五合系右撚	一四・八五	一六・六二	一・七七
一〇	一六番手 五合系右撚	一四・一二	一五・七五	一・六三

ロ、強力試驗

糸ノ強力トハ即チ其糸ノ強サヲ示スモノニシテ通常其糸ノ支ヘ得ル重量ヲ以テ表示ス。例ヘバ二〇番手四合系ガ一〇〇〇グラムノ重量ヲ支ヘ得ル強力ヲ有スルトセバ其糸ノ強力ハ一〇〇〇〇グラムナリト稱ス

ルヲ普通トス。而シテ經系ノ強力ハ野草莖製織ニ當リ最モ注意ヲ要スベキ條件ニシテ其番手ハ同様ナリト雖其強力ノ弱キ糸ハ製織ニ際シ屢々經系ノ切斷ヲ來タシ且適當ナル張力ヲ與フルヲ得ザルガ故ニ製産能率ヲ減殺スルノミナラズ可良ナル製品ヲ得ル事不可能ナルベシ。故ニ前項ニ於テ番手試驗ヲ行フト同時ニ其各糸ノ有スル強力ニ對スル試驗ヲ行フ事トセリ、次ニ其ノ試驗方法及結果ヲ記述スベシ。

供試經系 番手試驗ニ供シタルモノト同様ナリ。
試驗方法

糸ノ強力及ビ伸力ヲ計ルニハ「スレツドテスター」(糸用強伸度計)ト稱スルモノヲ用フ、本試験ニハ瑞西製「ラウスオートマチツクエンドエラスチチーター」ヲ用ヒ一種ノ糸ニ付二十回ノ檢定ヲ行ヒ其各回ニ於ケル強力ノ平均強力ヲ以テ其糸ノ有スル強力ト決定セリ。次表ニ各回ノ強力及平均強力ヲ表示ス(強力ヲ表セル數字ノ單位ハ「グラム」トシ番手試驗ト同ジ番號ニテ其糸ヲ種別ス)

一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇
九二〇	一〇一〇	一一八〇	一一八〇	一四三〇	一七四〇	一七〇〇	一五八〇	二〇〇〇以上	一七八〇
七六〇	一〇八〇	一〇六〇	一一八〇	一五〇〇	一四七〇	一四八〇	一四六〇	二〇〇〇以上	一六七〇
八〇〇	八〇〇	一一〇〇	一〇六〇	一五〇〇	一六〇〇	一六六〇	一六一〇	二〇〇〇以上	一八九〇
九四〇	九六〇	一一三〇	一一一〇	一六〇〇	一五九〇	一五四〇	一七〇〇	二〇〇〇以上	一五六〇
九八〇	九九〇	一一三〇	一一三〇	一五二〇	一六五〇	一四〇〇	一四〇〇	二〇〇〇以上	一六八〇
一〇〇	一二六〇	一一六〇	一一四〇	一五六〇	一七四〇	一六三〇	一五八〇	二〇〇〇以上	一六四〇
一〇〇〇	一三四〇	一一三〇	一一〇〇	一五〇〇	一四六〇	一六八〇	一四四〇	二〇〇〇以上	一八二〇
九八〇	一六〇	一三三〇	一一三〇	一四八〇	一四八〇	一七二〇	一六〇〇	二〇〇〇以上	一七四〇
九六〇	一一〇〇	一一六〇	一一六〇	一六二〇	一四六〇	一六二〇	一六六〇	二〇〇〇以上	一六四〇

1010	1030	1180	1080	1680	1610	1810	1700	2000以上	1760
1040	920	1340	1180	1600	1690	1650	1820	1930	1640
1000	1050	1310	1260	1580	1610	1600	1550	1960	1870
900	980	1230	1240	1580	1670	1740	1650	2000以上	1840
910	1110	1410	1260	1480	1650	1720	1460	2000以上	1690
970	1000	1530	1210	1550	1420	1690	1520	2000以上	1790
1080	980	1430	1240	1520	1600	1480	1610	2000以上	1820
940	1100	1240	1240	1480	1690	1640	1520	2000以上	1820
980	1000	1350	1340	1420	1740	1520	1580	2000以上	1740
1100	1010	1360	1200	1480	1570	1340	1470	2000以上	1580
1160	1040	1480	1040	1580	1610	1300	1620	2000以上	1720

右表中試験番號九ノ示スル處ノ強力二〇〇〇グラム以上トアルハ本試験ニ使用シタル「スレットドテスター」ハ二〇〇〇グラム以上ノ強力ヲ計リ得ザルガタメナリ。
 次ニ參考ノタメ綿糸ノ標準強力表ヲ記ス。

弱キ糸	一六番手三合糸	二〇番手四合糸	一六番手四合糸	一六番手五合糸
稍強キ糸	九二〇瓦以下 一二〇〇瓦以下	一一二〇瓦以下 一二八〇瓦以下	一三〇瓦以下 一六〇〇瓦以下	一七〇〇瓦以下 二〇〇〇瓦以下

強キ糸	一五〇〇瓦以下	一六〇〇瓦以下	二〇〇〇瓦以下	二五〇〇瓦以下
甚強キ糸	一五〇〇瓦以上	一六〇〇瓦以上	二〇〇〇瓦以上	二五〇〇瓦以上

ハ、不整度試験

野草莖經糸ノ番手及強力ノ試験ニ於テハ同一ノ糸ヲ以テ二〇回之ヲ檢定シ其平均ヲ以テ結果トナセルモノナルガ、其毎回ノ檢定成績著シク差異ヲ呈スルハ糸ノ不均一甚シキヲ證スルモノニシテ本試験ニ於テハ前項「ロ」ニ於ケル強力試験ノ成績ヨリ其各供試經糸ノ成絲平均度ヲ查定セルモノナリ。

試験方法

前項「ロ」ニ於ケル強力試験成績表ニ依リ試験番號「一」ノ糸ノ示ス處ノ強力ハ

九二〇	九八〇	九六〇	九〇〇	九四〇
七六〇	一一〇〇	一一〇〇	九一〇	九八〇
八〇〇	一〇〇〇	一〇四〇	九七〇	一一〇〇
九四〇	九八〇	一〇〇〇	一〇八〇	一一六〇

ニシテ其平均強力ハ九七七瓦ニシテ之ヨリ低キモノ、ミヲ計算スレバ

九二〇	七六〇	八〇〇	九四〇	九六〇
九〇〇	九一〇	九七〇	九四〇	九六〇

ニシテ其平均ハ九〇〇瓦トナリ前ノ總平均トノ差ハ七七瓦ニシテ總平均ニ對シ七、八%ノ低落ヲ示ス、此百分率ヲ糸ノ不整度ト稱シ成糸平均度ヲ表ス。此ノ方法ニヨリ試験セル結果左ノ如シ。
 不整度試験表 (強力ノ單位ハ瓦不整度ハ百分率ニテ表セリ)

供試經系名稱	試驗番號	總平均強力	總平均以下ノモノノ平均強力	強力ノ差	不整度
一六番手三合系(右燃)	一	九七七	九〇〇	七七	七・八
一六番手三合系(左燃)	二	一〇四六	九七七	六九	六・五
二〇番手四合系(左燃)	三	一二八六	一一六六	一二〇	九・三
二〇番手四合系(右燃)	四	一一八四	一一二一	六三	五・三
二〇番手五合系(左燃)	五	一五三二	一四八一	五二	三・三
一六番手四合系(右燃)	六	一六〇二	一五一六	八六	五・三
一六番手四合系(左燃)	七	一五六二	一四三七	一二五	八・〇
一六番手五合系(右燃)	八	二〇〇〇 <small>以上</small>	一四七六	一〇〇	六・三
一六番手五合系(左燃)	九	一七三四	一九二一	七九 <small>以上</small>	三・九 <small>以上</small>
一六番手五合系(右燃)	〇		一六四二	九二	五・三

第二節 染色

本年度ニ於ケル染色試驗事業ハ左ノ三項ニ就キテ施行セリ

- 一、日本製鹽基性染料染色試驗
 - 二、日本製鹽基性染料日光堅牢度試驗
 - 三、捺染模様ノ研究及標本製作
 - 一、日本製鹽基性染料染色試驗
- 現今ニ於テハ日本製染料モ優良ナルモノ多ク製造セラル、ニ到リ其品質外國品ニ比シ毫モ遜色ヲ見ザルモノ少カラズ、而シテ花莖野草莖ニ使用セラル、鹽基性染料ニアリテモ特殊ナル色ヲ除キテハ殆日本製ヲ用

フルモ其撰擇ヲ誤ラザレバ何等ノ支障モ生ゼザルニ到レリ。本試驗ニ於テハ之等染料ノ主ナルモノヲ以テ
 蘭草浸染、花莖野草莖捺染ヲ行ヒ其ノ色相濃度ヲ檢シ且ツ其堅牢度ヲ試驗セリ。
 本試驗ニ當リ比較標準染料トシテ獨乙製染料ヲ使用セリ。

供試蘭草 岡山縣產蘭草

供試染料 日本製鹽基性染料

- 1、オーラミンコンク 日 染
 - 2、クリソイチンクリスタル 日 染
 - 3、ビスマークブラウンBエキストラ 日 染
 - 4、ビスマークブラウンRエキストラ 日 染
 - 5、サフランINT 日 染
 - 6、ローダミンBスペシャル 日 染
 - 7、マラカイトグリーンスマールクリスタル 日 染
 - 8、マラカイトグリーンメチアムクリスタル 日 染
 - 9、マラカイトグリーンラーヂクリスタル 日 染
 - 10、ピクトリヤプリューB 日 染
 - 11、メシレンプリューコンク 日 染
 - 12、メシルバイオレットA 日 染
 - 13、クリスタルバイオレット 日 染
- 標準染料 獨乙製染料
 1、オーラミンコンク ワイラー

2、クリソイチンクリスタル
 3、ピスマークブラウン
 4、サフランニント
 5、ローダミンB エキストラ
 6、マラカイトグリーン エキストラ
 7、ピクトリヤプリューB
 8、メシレンプリューB G コンク
 9、メシルバイオレットBB
 10、クリスタルバイオレット

染色方法 染料壹匁乃至貳匁ヲ溶解セル染釜ニ蘭草ヲ投入十五分間沸騰染色後引上水洗乾燥ス。此場合供試、標準染料同一條件ノ下ニ同時ニ染色スルモノニシテ然ル後兩者ノ色相濃度ヲ比較スルモノトス。

試験番號	供試染料名稱	標準染料ニ對スル比較成績	
		色相	濃度
一	オーラミンコンク	殆同ジ	僅ニ濃シ
二	クリソイチンクリスタル	殆同ジ	淡
三	ピスマークブラウンB エキストラ	赤黒味多シ	濃
四	ピスマークブラウンR エキストラ	鮮明ナリ	濃
五	サフランニント	殆同ジ	僅ニ淡シ
六	ローダミンB スペシャル	殆同ジ	僅ニ淡シ
七	マラカイトグリーン スモールクリスタル	殆同ジ	僅ニ淡シ

八	マラカイトグリーンメチアムクリスタル	殆同ジ	稍淡シ
九	マラカイトグリーンラーヂクリスタル	殆同ジ	稍淡シ
一〇	ピクトリヤプリューB	僅ニ不鮮明	僅ニ淡シ
一一	メシレンプリューコンク	青シ	稍濃シ
一二	メシルバイオレットA	殆同ジ	僅ニ淡シ
一三	クリスタルバイオレット	殆同ジ	僅ニ淡シ

ロ、花莖捺染試験

供試原料生地 岡山縣三百三十經目迫織花莖

供試染料 浸染ノ場合ト同様

標準染料 浸染ノ場合ト同様

捺染方法 水一〇〇ニ對シ染料一ヲ溶解シタル染液ヲ以テ供試標準染料同様ニ供試花莖ニ摺込捺染ヲ行ヒ蒸熱發色セシメ然ル後兩者ノ色相濃度ヲ比較ス。

試験番號	供試染料名稱	標準染料ニ對スル比較成績	
		色相	濃度
一	オーラミンコンク	殆同ジ	殆同ジ
二	クリソイチンクリスタル	稍黄色ヲ帶ブ	淡シ
三	ピスマークブラウンB エキストラ	赤黒色味ヲ帶ブ	濃シ
四	ピスマークブラウンR エキストラ	赤黒色味ヲ帶ブ	濃シ
五	サフランニント	殆同ジ	濃シ
六	ローダミンB スペシャル	殆同ジ	僅ニ淡シ

試験番號	供試染料名稱	標準染料ニ對スル比較成績
七	マラカイトグリーンスモールクリスタル	殆同ジ 僅ニ淡シ
八	マラカイトグリーンメヂアムクリスタル	殆同ジ 僅ニ淡シ
九	マラカイトグリーンラーヂクリスタル	殆同ジ 僅ニ淡シ
一〇	ビクトリヤブルーB	僅ニ青色味ヲ帶ブ 僅ニ淡シ
一一	メシレンブルーコンク	青色味ヲ帶ブ 稍淡シ
一二	メシルバイオレットA	青色味ヲ帶ブ 僅ニ淡シ
一三	クリスタルバイオレット	殆同ジ 殆同ジ

ハ、野草莖捺染試験

供試原料生地

七百二十經二本込野草莖

供試染料

浸染ノ場合ト同様

標準染料

浸染ノ場合ト同様

捺染方法 花莖捺染試験ノ場合ト同様ナリ。

試験番號	供試染料名稱	標準染料ニ對スル比較成績
一	オーラミンコンク	殆同ジ 殆同ジ
二	クリソイヂンクリスタル	稍黃色味ヲ帶ブ 淡シ
三	ビスマークブラウンB エキストラ	赤黒色味ヲ帶ブ 濃シ
四	ビスマークブラウンR エキストラ	赤黒味ヲ帶ブ 濃シ
五	サフラニンT	殆同ジ 濃シ
六	ローダミンB スペシアル	殆同ジ 稍淡シ
七	マラカイトグリーンスモールクリスタル	殆同ジ 僅ニ淡シ

試験番號	供試染料名稱	標準染料ニ對スル比較成績
八	マラカイトグリーンメヂアムクリスタル	殆同ジ 僅ニ淡シ
九	マラカイトグリーンラーヂクリスタル	殆同ジ 僅ニ淡シ
一〇	ビクトリヤブルーB	僅ニ青色味ヲ帶ブ 僅ニ淡シ
一一	メシレンブルーコンク	青色味ヲ帶ブ 稍淡シ
一二	メシルバイオレットA	青色味ヲ帶ブ 稍淡シ
一三	クリスタルバイオレット	殆同ジ 殆同ジ

二、日本製鹽基性染料日光堅牢度試験

イ、浸染蘭草ニ於ケル日光堅牢度試験

第一項「イ」ニ於テ染色セル蘭草ヲ取リテ各夏期晴天六日間直射日光(一日七時間)ニ曝露シ其ノ褪色及變色ノ程度ヲ比較ス。右表標準染料ト比較ヲ數字ヲ以テ表セルガ一ハ本試験ニ於ケル最堅牢色ヲ示シ、二ハ堅牢色、三ハ稍堅牢色、四ハ不堅牢色、五ハ最不堅牢色ヲ示ス。

試験番號	供試染料名稱	褪色及變色度	標準染料トノ比較	供試染料	標準染料
一	オーラミンコンク	褪色シ變色ス	三	三	三
二	クリソイヂンクリスタル	同	三	三	三
三	ビスマークブラウンB エキストラ	同	三	三	三
四	ビスマークブラウンR エキストラ	同	三	三	三
五	サフラニンT	同	二	二	三
六	ローダミンB スペシアル	褪色度稍少ク變色ス	一	一	一
七	マラカイトグリーンスモールクリスタル	褪色シ變色ス	四	四	四

試験番號	供試染料名稱	褪色及變色度	標準染料トノ比較 供試染料	標準染料
八	マラカイトグリーンメチアムクリスタル	褪色シ變色ス	四	四
九	マラカイトグリーンラーヂクリスタル	同	四	四
一〇	ビクトリヤブルーB	著シク褪色シ變色ス	五	五
一一	メシレンブルーコンク	褪色シ變色ス	三	二
一二	メシルバイオレットA	同	三	三
一三	クリスタルバイオレット	同	三	三

ロ、花菴捺染ニ於ケル日光堅牢度試験
 第一項「ロ」ニ於テ捺染セルモノヲ使用シ光線ノ通過セザル原紙ヲ以テ其捺染面ノ半ヲ蔽ヒ之ヲ夏期晴天六日間直射日光(一日七時間)ニ曝露シ其ノ變褪色ノ度ヲ比較ス。

試験番號	供試染料名稱	褪色及變色度	標準染料トノ比較 供試染料	標準染料
一	オーラミンコンク	褪色シ變色ス	四	三
二	クリイイヂンクリスタル	同	三	三
三	ビスマークブラウンBエキストラ	同	三	三
四	ビスマークブラウンRエキストラ	同	二	三
五	サフラニンT	同	一	三
六	ローダミンBスベシアル	褪色度稍少ク變色ス	一	三
七	マラカイトグリーンスモールクリスタル	褪色シ變色ス	三	三
八	マラカイトグリーンメチアムクリスタル	同	三	三
九	マラカイトグリーンラーヂクリスタル	同	三	三
一〇	ビクトリヤブルーB	著シク褪色シ變色ス	五	五

ハ、野草捺染ニ於ケル日光堅牢度試験
 第一項「ハ」ニ於テ捺染セルモノヲ使用シ光線ノ通過セザル厚紙ヲ以テ其捺染面ノ半ヲ蔽ヒ之ヲ夏期晴天六日間直射日光(一日七時間)ニ曝露シ其變褪色ノ度ヲ比較ス。

試験番號	供試染料名稱	褪色及變色度	標準染料トノ比較 供試染料	標準染料
一	オーラミンコンク	褪色シ變色ス	三	三
二	クリソイヂンクリスタル	褪色度稍多ク變色ス	四	四
三	ビスマークブラウンBエキストラ	同	四	四
四	ビスマークブラウンRエキストラ	同	二	四
五	サフラニンT	褪色シ變色ス	一	三
六	ローダミンBスベシアル	褪色度稍少ク變色ス	三	三
七	マラカイトグリーンスモールクリスタル	褪色シ變色ス	三	三
八	マラカイトグリーンメチアムクリスタル	同	三	三
九	マラカイトグリーンラーヂクリスタル	同	三	三
一〇	ビクトリヤブルーB	著シク褪色シ變色ス	五	五
一一	メシレンブルーコンク	褪色シ變色ス	二	二
一二	メシルバイオレットA	同	二	二
一三	クリスタルバイオレット	同	二	二

三、捺染模様ノ研究及標本製作

本所圖案部ニ於テ製作セル意匠圖案中優良ナルモノヲ選ビテ型紙或ハ亞鉛板ニ彫刻シ之ヲ以テ各種花莖ニ捺染ヲ行ヒ其模様配色等實用上ノ適否ヲ試驗シ且其ノ捺染生地ニヨル意匠選擇等試驗シ、其結果良好ナルモノハ標本或ハ參考品トシテ本所ニ陳列シ又ハ當業者其他關係者ニ配布セリ。其種類數量左ノ如シ。

經系數	種	類	使用染料	型ノ種類	長	幅	數量
三三〇	廣	幅花莖	鹽基性染料	亞鉛板二十八枚型	一一二	九	一
三三〇	廣	幅花莖	鹽基性染料	亞鉛板四十一枚型	一一二	九	一
三三〇	廣	幅花莖	鹽基性染料	亞鉛板二十六枚型	一一二	九	一
三三〇	廣	幅花莖	鹽基性染料	亞鉛板五十二枚型	一一二	九	一
三三〇	廣	幅花莖	鹽基性染料	亞鉛板十五枚型	九	六	二
三三〇	小	物花莖	鹽基性染料	亞鉛板三枚型	六	三	二
三三〇	小	物花莖	鹽基性染料	亞鉛板七枚型	六	三	二
二六〇	小	物花莖	鹽基性染料	亞鉛板三枚型	六	三	五
二六〇	小	物花莖	鹽基性染料	亞鉛板五枚型	六	三	七
二六〇	小	物花莖	鹽基性染料	紙	六	三	二
二六〇	小	物花莖	鹽基性染料	亞鉛板五枚型	六	三	五
二六〇	小	物花莖	鹽基性染料	亞鉛板七枚型	六	三	七
二六〇	小	物花莖	鹽基性染料	亞鉛板七枚型	六	三	五
一五〇	小	物花莖	鹽基性染料	亞鉛板七枚型	六	三	一
一五〇	小	物花莖	鹽基性染料	亞鉛板五枚型	六	三	一
一五〇	小	物花莖	鹽基性染料	亞鉛板三枚型	六	三	一
一五〇	小	物花莖	鹽基性染料	紙	六	三	一

第三節 試驗其他ノ施設

本所ニ於テ施行シタル花莖及ビ野草莖ニ關スル試驗成績、花莖及ビ野草莖製作上參考トナルベキ器具、物品、圖書ノ類竝ニ内外ニ於ケル花莖及ビ野草莖ノ競争品等ハ、弘ク蒐集シテ當業者ニ普知セシメツ、アリ、今昭和二年中取扱タル是等ノ諸件ヲ列舉スレバ左ノ如シ。

一、參考品ノ陳列 本所試製品及ビ其ノ他ノ參考品ハ、從來本所内陳列室ニ陳列シテ普ク衆庶ノ觀覽ニ供シ且ツ希望ニ應ジテ夫々説明ヲ與ヘ來リタリ。而シテ該陳列室ヘ陳列ノ爲メ、同年中新タニ購入ニ係ルモノハ標本四十三、參考圖書五十四部六十八冊ニシテ、現在ノ參考品ハ左ノ如シ。

標本及ビ參考品 千四百四十點
 參考圖書 六百五十七部 八百四十四冊

外ニ敷物及ビ織物ニ關スル外國雜誌、海外商報、内外商工時報、特許公報及ビ實用新案公報等ナリトス。
 二、花莖及ビ野草莖ニ關スル試驗竝ニ鑑定 花莖及ビ野草莖ニ關スル各種ノ試驗竝ニ鑑定ニ就テハ、廣ク一般當業者ヨリノ請求ニ應ジツ、アリ、本年中取扱タル件數左ノ如シ。

見本花莖下附 六十七點
 試驗 五十一點
 考案 六十三點

三、報告書ノ發行 前年ニ引續キ年報ヲ發刊シ關係各官廳、商業會議所、同業組合、實業學校等ノ各方面ヲ始トシ、檢査請求人其ノ他ヘ夫々配布シタリ。

第四章 花莖及野草莖ニ關スル調査

花莖ニ關スル各種ノ統計報告ハ、當業者ノ參考資料タルヲ以テ、本所ハ常ニ是等ノ材料ヲ蒐集シ、年報ニ掲

載シテ一般へ周知セシムルコト、セリ。今昭和二年中ノ資料及ビ特ニ調査シタル事項ヲ總括シテ、之ヲ
 一、花薙製造販賣ノ狀況 二、野草薙製造販賣ノ狀況 三、花薙及ビ野草薙商況 四、花薙輸出ノ狀況
 五、野草薙輸出ノ狀況 六、花薙及ビ野草薙ニ關スル海外通信 七、花薙及ビ野草薙ニ關スル特許ノ七節ニ
 分チ以下順次記載スベシ。

第一節 花薙製造販賣ノ狀況

一、花薙業者ノ現況

昭和二年中ノ花薙製造地、製造戸數其ノ他ノ狀況ハ詳細左表ノ如シ。

最近二箇年間花薙業者數調査表

府縣別	昭和二年				昭和一年			
	製	兼業	計	仲買販賣	製	兼業	計	仲買販賣
北海道	1	1	1	6	1	1	1	1
岩手	1	1	1	1	1	1	1	1
宮城	509	509	509	1	45	45	45	7
秋田	25	25	25	25	86	86	86	2
山形	95	95	95	95	159	159	159	159
茨城	95	95	95	95	159	159	159	159
埼玉	95	95	95	95	159	159	159	159

府縣別	昭和二年				昭和一年			
	製	兼業	計	仲買販賣	製	兼業	計	仲買販賣
新潟	不	不	不	不	不	不	不	不
富山	2	2	2	2	2	2	2	2
石川	2	2	2	2	2	2	2	2
福井	2	2	2	2	2	2	2	2
山梨	2	2	2	2	2	2	2	2
長野	2	2	2	2	2	2	2	2
岐阜	2	2	2	2	2	2	2	2
愛知	2	2	2	2	2	2	2	2
三重	2	2	2	2	2	2	2	2
大坂	2	2	2	2	2	2	2	2
兵庫	2	2	2	2	2	2	2	2
鳥取	2	2	2	2	2	2	2	2
島根	2	2	2	2	2	2	2	2
岡山	2	2	2	2	2	2	2	2
廣島	2	2	2	2	2	2	2	2
山口	2	2	2	2	2	2	2	2
香川	2	2	2	2	2	2	2	2
愛媛	2	2	2	2	2	2	2	2
高知	2	2	2	2	2	2	2	2
福岡	2	2	2	2	2	2	2	2
佐賀	2	2	2	2	2	2	2	2

計	鹿兒島	宮崎	大分	熊本	長崎
五、四四九					
一一、〇六八	三	一一九一	一五		
一六、五一七	三	一一九一	一五		
二七、〇一一	六	三、〇〇〇	一五		
二七、〇八八	四	二、六九三	一五		
三〇〇					
六八一	二	四〇	一		
六、七〇〇	七				一
七、五二六	二	二〇	一三		
一四、二二七	九	二〇	一三	不詳	一
二六、四七二	六	二〇	二〇	不詳	一
二五、〇三九	不詳		二〇	三八	不詳
二九〇	一	二		不詳	不詳
七五八	一八	三〇	二	詳	詳

花菴ノ製造區域ハ、殆ンド全國各地方ニ跨リ居レルコト前記ノ如シト雖モ、輸出品ノ主産地ト目スベキハ岡山、福岡、廣島、香川ノ四縣ニシテ、爾餘ノ諸縣ニ至リテハ專ラ内地用花菴ヲ製出シタルノミナリ。而シテ前記主産地四縣及ビ捺染業ノ本場ニシテ且ツ輸出ノ關門タル神戸港ニ就キ斯業ノ状態ヲ調査スルニ、輸出花菴ハ製造、仲買、販賣、捺染、輸出ノ五種營業者ニ依リ取扱ハル、モノ、如ク、主産地中岡山、廣島、福岡ノ各縣ニ於テハ孰レモ花菴ニ關スル各種營業者ヲ網羅シタル同業組合ヲ組織シ、又岡山縣ノ如キハ數多ノ産業組合ヲ設置セリ。而シテ是等ノ團體ハ、主ナル事業トシテ製品検査、技術ノ指導若クハ共同販賣ヲ爲シ、銳意斯業ノ發展ニ資シツ、アリ。左ニ前記各種業體ニ亘リ其ノ状態ヲ略述スベシ。

製造 專業者ト農家副業ニ係ルモノトノ二種アリ。而シテ前者ハ小規模ナガラ專屬工場ヲ有シ、或ハ出シ機組織ニ依リ專ラ花菴ノ製産ニ從事スルヲ以テ、從事戸數ハ比較的小數ナルモ製産額多ク、後者ハ農民ガ農閑ノ餘力ヲ此ノ經營ニ注グニ過ギズシテ、製造業者及ビ職工トシテ一定セルモノナシ、之レ從業者數ニ比較シテ産額僅少ナル所以ナリ。又花菴製造業者ハ、現時各産地ヲ通ジテ大規模ノ製造會社多數ニ現ハレタリモ明治三十年頃ヲ中心トシテ其ノ前後數年間ニ在リテハ、各地ニ稍大規模ノ製造會社多數ニ現ハレタリシモ、數年ニシテ悉ク失敗ニ歸シタルガ如シ。是レ斯業ハ資本工場等ノ設備ナキモ隨時隨所ニ創業シ得ルガ故、一定ノ工場費ヲ要スル組織ニテハ價格競争常ニ激甚ナル斯界ニ起業シ能ハザルニ依ルナルベシ。

仲買 或ハ周旋業トモ謂ヒ、地方販賣業者ト製造家トノ中間ニ在リテ賣買ノ媒介ニ從事シ、蘭染業ヲ兼營シ經絲又ハ織機用具ノ周旋ヲ爲スモノニシテ、農家ノ製品蒐集上ノ必要ニ依リ生ジタル業體ナルヲ以テ福岡、廣島二縣ニ存在スルノミニシテ岡山、香川二縣ニハ從業者ヲ見ズ。

販賣 産地ニ營ムモノハ問屋トモ稱ス。又神戸港ニ在ルモノハ貿易商若クハ賣込商ノ名アリ、孰レモ花菴ノ仲買業者ナリ。而シテ産地ニ在ルモノハ主トシテ神戸仲買ノ下請ヲ爲シ、直接輸出商人ノ下請ヲ爲スモノ少ナク、神戸ニ在ルモノハ殆ンド輸出商ノ下請ニ從事セリ。

捺染 此ノ業ハ明治四十年前後ノ創始ニ係リ、無地花菴ニ捺染ヲ施スノ業ニシテ神戸港ニ於テ創業セラレ殆ンド同港ノ獨占ノ事業ナリシガ、近來捺染花菴ノ販路擴張セラレタルニ伴ヒ、他地方ニテモ此ノ業ヲ始ムルモノアルニ至レリ。而シテ斯業ハ簡易ナル業體ナルト小資本ニテ經營シ得ルガ故、動モスレバ賃金競争ノ弊ニ陥リ製品粗製ニ流レ易キ爲メ、當業者ハ先年來同業組合ヲ組織シ工場設備ノ制限、賃金協定等ヲ行ヒ、自治的ニ之ガ弊害矯正ニ勗メツ、アリ。

輸出 從來ハ大部分外商ノ經營ニ係リシガ、近來本邦人ノ營業者漸次増加ノ傾向アリ。而シテ主ナル營業者ハ二十名内外ナレドモ、雜貨輸出ニ從事スルモノハ孰レモ多少ノ小物花菴ヲ取扱ヒツ、アルノ状態ナルヲ以テ、是等ヲ數フルトキハ二三百名ニモ達スベキカ。

二、花菴製産額

花菴ハ普通、廣幅、短尺及ビ小物ノ四種ニ分レアリ、就中廣幅花菴ハ大部分普通花菴ノ截斷變形ニ係リ特製セラレタルモノハ二三割方ニ過ギズ。又短尺花菴及ビ小物花菴ハ普通花菴ノ斷片及ビ特製品ノ兩者相半スルガ如キ状態ナリ。而シテ此ノ五種ノ花菴ニ就キテハ確タル統計ヲ得難キヲ以テ、左ニ普通花菴ノミニ就キ最近五箇年間ノ統計ヲ掲グベシ。

最近五箇年間普通花苧製産額調査表

府縣別	大正十二年		大正十三年		大正十四年		大正十五年		昭和二年	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
新 潟	五七〇	六、八二〇			二二〇	二、八〇〇	三〇〇	三、六〇〇	三〇〇	三、六〇〇
富 山	二四五	一、〇〇〇	六五	四、五九	五〇	四、八〇	一五	二一〇	二五	二、七
石 川	二四一	二、七二八	二三四	三、〇二九	三五四	五、六四二	三〇	四四五	七〇	一、五五
福 井			五〇	六六〇			三〇	四四五		
愛 知	五、九〇〇	八、八五〇	四八一〇	五、七五一〇	三、七五〇	四、二五〇	二、〇二〇	一、四八〇	一、九〇〇	一、三八五四
岡 山	三〇	五七〇	一〇〇	一、五〇〇	一〇〇	一、五〇〇				
廣 島	五一六、二〇七	五、八六九、二〇二	五七一、一五六	六、〇一五、九二〇	六七六、六三〇	六、一七七、六三六	五七三、五〇六	四、七七〇、二六三	六五三、七一〇	四、九五三、五一六
香 川	三二、九一六	三、三三三、一三三	三二、六九六	三、三〇〇、一八	三五、六一六	二、七八八、一三	四四、九〇一	二、九二一、一七	三二、七二三	二、〇六、一九九
高 知	七、四〇〇	九六、〇〇〇	二四、二三〇	二、九四〇、〇〇	二七、一五〇	三、一五八、三三	三〇、五〇〇	三、一五〇、〇〇	七〇	三五〇
福 岡	二、〇〇〇	二六、〇〇〇			六、三〇〇	三八、六五〇				
大 分	五、六、四三二	六、二〇、七四一	五〇、〇七二	五、五〇、七九二	五、四、八五二	五、二一〇、九四	五、三、五三七	四〇〇、一、五二八	六、一、四二二	四、五四、五二三
熊 本	三、四〇〇	二、四〇、四〇	七、五〇	八、九五〇	八、五〇	一、六、二五〇	七〇、四、九〇〇	五、七、九、一四一	七、四、九、八八〇	五、六、四〇、一〇四
合 計	六、二四、三四〇	七、〇六、八七一	六、八三、一五五	七、二五二、九三三	八〇五、八七二	七、三九九、九四九	七〇四、九〇〇	七、七九九、一四一	七、四九、八八〇	五、六、四〇、一〇四

三、花 苧 ノ 種 類

本所ニ於ケル検査花苧ノ種類ヲ區別スレバ左表ノ如クニシテ、普通花苧三十六種ノ内機械織百八十經最モ多

數ヲ占メ總検査品ノ三割ニ相當シ、之ニ亞ギ目迫織三百三十經ノ二割六分一厘、同百五十經ノ二割五分ニシテ、此三種ヲ合セ八割一分一厘ニ相當セリ。而シテ捺染苧ハ概ネ目迫無地ヲ原料ニ使用スルモノナルガ、織方ノ種類ヨリ區分スルトキハ、幾分ヲ目迫織へ他ノ幾分ヲ目迫飛込ノ内へ併算スベキモノトス。廣幅花苧ハ捺染花苧多數ヲ占メ全數ノ九割六厘ニ相當シ、之ニ亞ギ多キハ紋花苧ノ四分、機械織ノ三分七厘等ナリ。而シテ捺染苧ハ、主トシテ目迫織無地ヲ原料トシテ普通花苧ノ切斷加工ニ成レリ。其ノ他ノ各種ハ悉ク特製品ニシテ、内機械織ハ概ネ三尺幅物ノ織合ニ依リ織模様ヲ現ハシ、紋花苧、目迫織及ビ機械織中ノ極メテ少數ハ特ニ廣幅ニ製織セラレタルモノナリ。小物花苧ハ捺染苧最モ多數ニシテ受檢數ノ九割七分八厘ニ相當シ、之ニ亞ギ目迫織ノ八厘、紋花苧ノ五厘、機械織ノ二厘ニシテ、此ノ四種ヲ合セ九割九分三厘ナリ。而シテ捺染苧ハ前記廣幅同様主トシテ目迫織無地ノ切斷加工ニ係ルモノトス。普通花苧ニ就キ各產地別ニ製品ノ實質ヲ區別スレバ、岡山及ビ香川ノ兩縣ハ有色模様織込物最モ多數ヲ占メ、概ネ原形ノ儘輸出セラル。而シテ岡山縣産中目迫織百五十經ハ、福岡縣ニ倣ヒテ織リ始メタルモノニシテ、大部分捺染原料ナリ。福岡縣ハ無地目迫織各種ヲ主トシ、多クハ捺染原料ニ供セラレ、廣島縣ハ目迫織ヲ主トスルコト福岡縣ニ似タレドモ、其ノ製品ハ原料ノ光澤ヲ失ハザル儘ノ用途ニ供スルモノヲ主トシ、大部分原形ノ儘輸出セラル、製品ナリ。廣幅花苧中兵庫、福岡兩縣ノモノハ悉ク捺染織合物ニシテ、香川縣ノ大部分ハ織込織合物ナリ。又岡山縣ハ以上二種ノ外織込廣幅品ヲ出セリ。

府縣別検査花苧種類調査表 (單位 普通本 其他枚)

種 類	岡 山	廣 島	福 岡	香 川	兵 庫	計	步 合
三百六十經 普通	一七					一七	一〇〇一

諸目織			目迫飛形		目迫縞					綾地織	機械飛込			
八十經	百八十經	二百二十經	二百四十經	二百九十經	百五十經	百六十經	百八十經	二百二十經	二百四十經	三百三十經	二百二十經	二百四十經	百五十經	百八十經
小物	小廣物	廣物	廣物	廣物	小物	小物	普物	普物	普物	普物	小物	小物	普物	普物

三四〇	六〇	三六	一八	一〇三	五九	三〇	八	六	一	一〇〇〇	六〇	二〇	二四	一五	一一	五五〇	二五三	六	七	二四八六	
										二〇六〇	一〇九										
三九																				三	
																				八五	
三七九	六〇	三六	一八	一〇三	五九	三三	八	六	一	三〇六〇	一〇九	六〇	二〇	二四	一五	一一	五五〇	二五三	六	七	二五七一
																					〇九三

機械織		目迫飛込		目迫織						
百八十經	二百四十經	二百六十經	二百九十經	百五十經	百八十經	二百二十經	二百四十經	二百六十經	二百九十經	三百三十經
小物	廣物	廣物	普物	普物	普物	小物	小物	廣物	普物	小廣物

七四二四	一七	三三四六	八九七	二〇〇	三六	三三	二一六三	二九	三三四	二二	六三	二五一九	五七〇	六六	一八一四三	二五	一、二六三	五五	七二〇七	
七四二四	八	四三三八	八九七	二〇〇	三六	三三	二一六三	二九	三三四	二二	六三	二五一九	五七〇	六六	四四八一	二五	一、二六三	五五	七二〇七	
																				六六
七四二四	八	四三三八	八九七	二〇〇	三六	三三	二一六三	二九	三三四	二二	六三	二五一九	五七〇	六六	二二六二四	二五	一、二六三	五五	七二〇七	
																				〇九三

捺染蕙	中繼蕙		錦		紋花蕙			
	二百四十經	二百九十經	二百四十經	二百九十經	二百六十經	二百九十經	三百三十經	三百六十經
小物	小物	小物	小物	小物	小物	小物	小物	小物
廣幅	廣幅	廣幅	廣幅	廣幅	廣幅	廣幅	廣幅	廣幅
通	通	通	通	通	通	通	通	通
二七三九一	六五八五	二一六一七一五	二八五二一	二八九〇	八五	一、二六四	九七	五
二二五〇〇								
二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五
二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五

合	花類		苧	
	百五十經	二百四十經	百五十經	百八十經
小物	小物	小物	小物	小物
廣幅	廣幅	廣幅	廣幅	廣幅
通	通	通	通	通
二七三九一	五二	五二	一八二〇〇八	一八
二〇六〇				
五四九七				
三七〇、五六七				
三、一五五、〇八九				

第二節 野草蕙製造販賣ノ狀況

一、野草蕙營業者ノ現況

野草蕙ハ花蕙ノ如ク其ノ製造區域廣汎ナラズ。昭和二年中ノ製造地方ハ僅カニ五縣ヲ數フルニ過ギズ。這ハ野草蕙ノ大部分ハ從前特許品タリシト、然ラザルモ新案特許品ニ屬スルモノ多ク、他面内地ノ需要未ダ少ナキト、運賃ノ關係ヨリ自然産地ヲ限定セラル、ニ至レリ。

最近二箇年間に野草薙業者数調査表

府縣別	昭和二年		昭和元年	
	製造業者数	兼業業者数	製造業者数	兼業業者数
埼玉	1	3	1	3
三重	1	3	1	3
兵庫	1	3	1	3
岡山	1	3	1	3
廣島	1	3	1	3
徳島	1	3	1	3
香川	1	3	1	3
計	80	334	124	506

府縣別	昭和二年		昭和元年	
	機臺数	職工数	機臺数	職工数
埼玉	20	380	20	380
三重	20	380	20	380
兵庫	20	380	20	380
岡山	20	380	20	380
廣島	20	380	20	380
徳島	20	380	20	380
香川	20	380	20	380
計	506	1,885	506	1,885

野草薙ノ製造地方ハ前記ノ如シト雖モ、主産地ト目スベキハ兵庫、岡山、香川ノ三縣ニシテ、爾餘ノ諸縣ニ至リテハ其ノ産額遙カニ劣レリ。而シテ岡山縣製造業者ノ大部分ハ岡山縣野草薙工業組合ヲ組織シ、兵庫、香川、三重縣ノ製造業者ハ神戸野草薙組合ニ加入シ、團體トシテ銳意斯業ノ發展ニ資シツ、アリ。今是等諸縣ニ就キ斯業ノ状態ヲ調査スルニ、輸出野草薙ハ製造、販賣、捺染、輸出ノ四種營業者ニ依リ取扱ハル、モノ、如ク、左ニ其ノ状態ヲ略述スベシ。

製造 專業者ト農家ノ副業ニ係ルモノトノ二種アレドモ、副業トシテ製織スルモノハ多ク出機制ニ依ル下

請ニ屬スルモノナリ。而シテ前者ハ少規模ナガラ專屬工場ヲ有シ、専ラ野草薙ノ製造ニ従事スルモノナリトス。

販賣 産地ニ於ケル販賣又ハ仲買業者ハ殆ンドナク、製造業者ハ直接神戸ノ販賣業者ト取引スルヲ常トスルヲ以テ、販賣業トシテハ輸出港タル神戸ニ在ルモノヲ主トス。

捺染 従來此ノ業ノ産地ニ在ルモノハ特殊品ノ製造工場ニ限ラレ、其ノ他ハ生地ノ儘神戸ニ送付シ神戸ノ捺染業者ニ依リ捺染加工セラレシモノナリシガ、近來産地ニ於テ捺染加工スルモノ現ハル、ニ至レリ。

輸出 輸出業者ハ花薙ノ輸出業者ト畧ボ同一ニシテ、花薙ヲ取扱フモノハ野草薙亦取扱フノ現状ニアリ。

二、野草薙ノ製産額

野草薙ノ製産ハ殆ンド廣幅ニシテ、長物及ビ小物ノ産額ハ方碼ニ換算シ總産額ノ約二割見當ナルベシ。

左ニ昭和二年中ノ産額ヲ揚グ。

昭和二年野草薙製産額調査表

府縣別	長		廣		小	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額
埼玉	1	2,944	1	60,157	1	1,830
三重	1	1,111	1	11,031	1	876
兵庫	1	1,111	1	11,031	1	876
岡山	1	1,111	1	11,031	1	876
廣島	1	1,111	1	11,031	1	876
徳島	1	1,111	1	11,031	1	876
香川	1	1,111	1	11,031	1	876
計	373	3,902	5,133	65,584	3,716	21,539

備考 埼玉縣産ハ全部菅蠅織トス。

三、野草蕨ノ種類

本所へ搬入受檢セル野草蕨ノ種類ヲ區別スレバ左表ノ如クニシテ、長物野草蕨ハ僅少ナルヲ以テ之ヲ除キ、廣幅野草蕨ニ就キ經系數及ビ形狀ニ依リ之ヲ區分スルトキハ六十四種ヲ數フベシ。而シテ經系數ヲ七百二十經二本込、七百二十經一本込、千三百經以上、千六百經以上、二千四百經以上ノ五種ニ分チ、此ノ五種ヲ各形狀ニ依リ其ノ多寡ヲ比較スルニ七百二十經二本込ニテ最モ多キハ「四×七」ニシテ檢査數ノ二割六分八厘ニ相當シ、之ニ亞ギ「六×九」ノ二割六分七厘、「九×十二」ノ一割九分一厘、「八×十」ノ一割三分ニシテ、此ノ四種ヲ合セテ八割九分一厘ヲ占ム。七百二十經一本込ハ「六×九」ノ二割九分三厘、「四・五×七・五」ノ二割五分六厘、「九×十二」ノ二割七厘、「四×七」ノ一割三分五厘等、是レ亦此ノ四種ニテ八割九分一厘ニ達セリ。千三百經以上ハ受檢數尠ナキモ、其ノ種類ヲ區分スルトキハ「六×九」最モ多クシテ三割一分ヲ占メ、其ノ他「九×十二」ノ二割五分五厘、「四・五×七・五」ノ一割七分五厘、「八×十」ノ一割三分八厘等之ニ亞グ。千六百經以上ハ「六×九」ノ三割三分八厘、「九×十二」ノ二割三分六厘、「八×十」ノ一割二分七厘、「六×六」ノ一割一厘等ニシテ、二千四百經以上ニ於テハ「四・五×七・五」ノ五割八分三厘、「六×九」ノ二割九分等其ノ大部分ヲ占メ、檢査數ノ八割七分三厘ニ相當セリ。尙ホ出張檢査ヲ爲セル野草蕨ノ種類ハ、全部廣幅ニシテ十七種ニ達セリ。而シテ是等ハ全部特殊品ニ屬スル關係上、普通ノ野草蕨トハ稍其ノ趣ヲ異ニシ、經系數ヨリ區分スルトキハ千三百經以上最多ク、之ニ亞ギ七百二十經二本込、七百二十經一本込等ノ順ヲ示シ、形狀ヨリセバ「六×九」、「九×十二」、「八×十」、「四・五×七・五」、「四×七」等ナリトス。

府縣別野草蕨種類調査表(單位長物本廣幅枚)

種 類	岡 山	香 川	兵 庫	三 重	石 川	鳥 取	計	歩 合
長物(超 十八尺)	五六二 五六六	一〇二	五三				六六四 一〇九	一〇〇〇 一〇〇〇

廣幅(九×九)	廣幅(九×十半)	廣幅(九×十二)	廣幅(十二×十二)	廣幅(十二×十五)	廣幅(十二×十八)	岡 山		香 川		兵 庫		三 重		石 川		鳥 取		計		歩 合	
						本	上	本	上	本	上	本	上	本	上	本	上	本	上	本	上
千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込	千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込	千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込	千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込	千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込	千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込	二六 七	一六	五七〇 四二二	二二五 一三二	一、九八九 一、五八二	七三 七二							四八二 五〇	一六 一	〇〇一 〇〇二	〇〇一 〇〇二
千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上	千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上	千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上	千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上	千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上	千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上	三〇 一六九	二二 一〇一	四六 二二	一、一三〇 一、一八二	七三 七二							三三 二	三九二 三〇	〇〇六 〇〇二	〇〇一 〇〇二	
千三百經以上 千三百經以上 千三百經以上 千三百經以上	千三百經以上 千三百經以上 千三百經以上 千三百經以上	千三百經以上 千三百經以上 千三百經以上 千三百經以上	千三百經以上 千三百經以上 千三百經以上 千三百經以上	千三百經以上 千三百經以上 千三百經以上 千三百經以上	千三百經以上 千三百經以上 千三百經以上 千三百經以上	七 二〇九二	二四 一〇、八八三	一八 七四	一、一〇〇 一、一〇〇	七三 七二							三〇 二〇	三三〇 三〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	
千二百經以上 千二百經以上 千二百經以上 千二百經以上	千二百經以上 千二百經以上 千二百經以上 千二百經以上	千二百經以上 千二百經以上 千二百經以上 千二百經以上	千二百經以上 千二百經以上 千二百經以上 千二百經以上	千二百經以上 千二百經以上 千二百經以上 千二百經以上	千二百經以上 千二百經以上 千二百經以上 千二百經以上	一〇 一〇	三〇 三〇	三〇 三〇	二、三六九 二、三六九	三三 三三							二〇 二〇	二〇 二〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	
千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上	千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上	千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上	千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上	千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上	千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上	一六 三九	四七 四七	一八 一八	一、一八九 一、一八九	四九 四九							三〇 三〇	三三〇 三三〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	
千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込	千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込	千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込	千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込	千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込	千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込 千七百二十經一本込	七 二〇	七 二〇	一八 一八	一、一八九 一、一八九	七三 七二							三〇 三〇	三三〇 三三〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	
千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上	千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上	千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上	千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上	千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上	千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上 千六百經以上	三 一〇	三 一〇	三 一〇	二、三六九 二、三六九	三三 三三							三〇 三〇	三三〇 三三〇	〇〇〇 〇〇〇	〇〇〇 〇〇〇	

府縣別出張検査野草菴種類調査表(單位枚)

種	類	計			廣幅 S、W、 菴	廣幅(特別品)	廣幅(四×六)	廣幅(四×七)	廣幅(四半×七半)	廣幅(六×六)	廣幅(六×九)	廣幅(六×十二)	廣幅(八×十)
		廣幅	廣幅	長物									
廣幅(九×十二)		千七百二十	千七百二十	千七百二十	千六百二十	千六百二十	千六百二十	千六百二十	千六百二十	千六百二十	千六百二十	千六百二十	千六百二十
		經一本	經二本	經二本	經一本	經二本	經二本	經一本	經一本	經一本	經一本	經一本	經一本
		以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上
		一、二四九	一、三三三	一、三三三	一、八二八	一、八二八	一、八二八	一、五二六	一、二四五	一、二四九	一、二四九	一、二四九	一、二四九
	岡山												
	兵庫												
	庫												
	計												
	步												
	合												

廣幅(八×十)	廣幅(六×十二)	廣幅(六×九)	廣幅(四半×七半)	廣幅(四×七)	廣幅
七百二十經二本達以上	七百二十經一本達以上	七百二十經一本達以上	七百二十經二本達以上	七百二十經一本達以上	七百二十經二本達以上
千三百	千三百	千三百	千三百	千三百	千三百
四〇八	二一〇	六八四	一七二四	七七八	七七八
六〇三	一〇五八	七一五	一、四〇六	一三三	一七六
四〇八	一、二六八	六八四	一、二八四	一〇一	七七八
六〇三	一、三〇〇	七一五	一、四〇六	一三三	七七八
二六八	二七二	二八二	二九八	二〇四	二〇九
二五二	〇三三	〇四三	〇七六	〇三九	〇三九
二〇四	〇三三	〇四三	〇七六	〇三九	〇三九
二〇四	〇三三	〇四三	〇七六	〇三九	〇三九
二〇四	〇三三	〇四三	〇七六	〇三九	〇三九
二〇四	〇三三	〇四三	〇七六	〇三九	〇三九
二〇四	〇三三	〇四三	〇七六	〇三九	〇三九
二〇四	〇三三	〇四三	〇七六	〇三九	〇三九
二〇四	〇三三	〇四三	〇七六	〇三九	〇三九
二〇四	〇三三	〇四三	〇七六	〇三九	〇三九
二〇四	〇三三	〇四三	〇七六	〇三九	〇三九
二〇四	〇三三	〇四三	〇七六	〇三九	〇三九
二〇四	〇三三	〇四三	〇七六	〇三九	〇三九
二〇四	〇三三	〇四三	〇七六	〇三九	〇三九
二〇四	〇三三	〇四三	〇七六	〇三九	〇三九

第三節 花蒔及野草蒔商況

昭和二年中ニ於ケル花蒔商況ハ、前年同様不況ヲ極メ輸出品ノ製産依然トシテ振興ヲ見ルニ至ラズ取引常ニ閑散ナリキ。

野草蒔ハ、前年同様常ニ閑散ヲ極メタリ。左ニ花蒔及野草蒔ノ各自商況ヲ掲グ。

一月

花蒔 本月ハ舊年末ノコト、テ生産不振ヲ唱ヘツ、モ、市場ヘノ出廻數ハ廣幅ヲ除キ他ハ孰レモ増加シタリ。需要ハ期節柄引續キ相當ノ注文アルモ内地品ノ不況、舊年末ノ生産増加等ヲ見越シ軟弱氣配ヲ呈セシガ、生産者ハ採算上下溢リ前月相場ヲ固守セルト、現在ノ生産状態ニテハ市場ニ停滞品ヲ生ズルガ如キ懸念ナキヨリ、市價ハ強保合ニテ越月セリ。

野草蒔 本月モ前月同様格別ノ變化ナキモ、舊年末ヲ控フル爲メ市場ヘノ出廻數ハ前月ニ比シ増加シ、市價ハ又復各品共十錢方ノ下落ヲ見タリ。而シテ各輸業者ハ、「シーズン」ノコト、テ積出シニ努メシ結果相當ノ荷動アリ、且ツ弗々ナガラ入註ヲ見市況稍々活氣ヲ呈セルモ、未ダ市況恢復ノ運ビニ至ラズシテ越月セリ。

二月

花蒔 本月ハ舊正月ニ當リ生産減少シ、從ツテ市場ヘノ出廻數ハ各品共減退ヲ來セリ。一方需要ハ相當起リ市價昂騰ノ氣配ナリシガ、内地品ノ需要依然トシテ不振ヲ告ゲツ、アル爲メ、強保合ノ儘越月セリ。

野草蒔 舊正月ノ關係ノミナラズ不況續キノ爲メ休機スルモノ多ク、只管手持品ノ整理ニ汲々タル状態ナルヨリシテ、期節ニモ拘ハラズ活氣ナク一、二大口ノ手合セヲ見タル外ハ小口ノ取引ニ止マリ、市價ハ漸ク前月ノ相場ヲ維持シテ越月セリ。

三月

花蒔 本月ハ各品共出廻リ多ク、殊ニ小物花蒔ハ近ク検査規定ノ改正アルヲ見越シ生産ニ努メシモノ、如ク、前月ニ比シ約六割方ノ増加ヲ示セリ。而シテ需要モ相當起リツ、アリテ可ナリノ手合セヲ見、尙ホ一層ノ活況ヲ呈スル状態ニ在リシガ、生産者ハ原料蘭草ノ騰貴ヨリ賣腰案外強ク、取引不調ニ終リタルモノ亦尠カラズ之ガ爲メ市價ハ強保合理ニ越月セリ。

野草蒔 野草蒔ノ今期注文ハ殆ンド終了ヲ告ゲタルモノ、如ク、小口必需品ノ外大口ノ手合セ更ニナク市場

至ツテ閑散ナリ。斯ル状態ナルヨリシテ検査規定改正ヲ見越シテノ生産者モ現ハレズ、市價ハ保合ノ儘越月セリ。

四月

花菴 原料高ノ製品安ニテ採算不引合ヲ唱へ製産減退セル節柄、中旬ニ至リ財界動搖「モラトリアム」ノ發布ヨリシテ、市場へノ出廻數量ハ各種共減少ヲ來セリ。相場ハ品薄ヨリ自然強腰ナリシガ、「モラトリアム」ノ影響ヨリシテ一時反落ノ傾向ニ在リシガ、其後金融機關モ常態ニ復セルト弗々商談整ヒ、加フルニ製造ノ手控へト相待テ漸次相場ハ回復シ、強氣配裡ニ越月セリ。

野草菴 本月ハ最早閑散期ニ入りシコト、テ製産ノ減退ハ免レザルモ、花菴同様財界動搖ノ影響ヲ蒙リ、市場へノ出廻數ハ前月ニ比シ半減ノ状態ナリ。市價ハ概シテ保合ナルモ、新規註文ノ照會頻々ナルト、六月一日ヨリ検査規定改正ノ事情等ヨリ、一般ニ強調ヲ帯ビ越月セリ。

五月

花菴 本月ノ市場ノ出廻品ハ、舊規定ニ依ル契約品受渡ヲ急ギタル關係上小物花菴ノ出廻リハ前月ニ比シ増加シタルモ、前月來「モラトリアム」ノ影響ヨリ生産減少セル爲メ豫想セル程ノ増加ヲ見ズ、又内地品ノ需要季節ニ向ヒタルト農繁期差迫リタル等ノ事情ヨリシテ産地ハ漸次品薄トナリ、從ツテ相場ハ昂騰ヲ告グ強氣裡ニ越月シタリ。

野草菴 「モラトリアム」ノ期間經過後原料綿絲ノ一躍昂騰セルト、農繁期ヲ目前ニ控ヘタル製造家ハ自然生産減ヲ來シタルノミナラズ、近ク検査規定ノ改正ヲ見ルコト、ナリタルガ爲メ俄然氣配一變シ、先高ヲ豫想シテ相場ハ十錢方騰貴シテ越月セリ。

六月

花菴 原料蘭草ハ端境期ニ際シ、近年稀ニ見ル品薄ヨリ相場騰貴シ、且ツ農繁季ノ爲メ生産ノ減少ヲ見タリ。尙ホ花菴検査規則施行細則中改正ニ依リ、認定ヲ受ケザル既製品ハ本月中ニ完納ノ必要アルト、海外ヨリ

ノ註文亦相當ノ高ニ達シ、加フルニ内地需要期節ニ入りタル等ノ關係ヨリシテ市價暴騰ヲ告グ、強調ヲ示シツ、越月セリ。

野草菴 野草菴亦花菴同様規則改正ニ伴ヒ、既製品ノ受檢多カリシ爲メ、市場へノ出廻數ハ前月ニ比シ約四割方増加シタリ。而シテ相場ハ相當ノ註文アルト農繁期ニ入り製産ノ減少、經絲番手ノ改正等ヲ見越シ十錢乃至十五錢方上放レ越月セリ。

七月

花菴 本月ハ農繁ノ爲メ製産尠キト、既製品ハ前月中ニ受檢セル關係上市場へノ出廻數ハ著シク減少ヲ來セリ。需要ハ歐洲及亞弗利加方面ヨリ相當ノ引合アリシモ、前月來ノ高値ニ商談進捗セズ、先物契約ハ早晚相場ノ變動ヲ豫期シ總ジテ見送ノ状態ナリ。南洋方面ハ検査規定改正ノ結果寸法ノ一變セルト、且ツ見越輸出ノ直後ニテ纏リタル手合ナク相場ハ漸落ノ傾向ニ在ルモ、産地品薄ノ爲メ前月ノ相場ヲ維持シ閑散裡ニ越月セリ。

野草菴 野草菴モ花菴同様市場へノ出廻數減少シ、産地亦品薄ノ状態ナリ。註文ハ先物契約ノ期節柄弗々入註アルモ、價格依然トシテ下落セザルヨリ商談纏マラザル向多ク、不況裡ニ越月セリ。

八月

花菴 本月ハ舊盆決算期ニ相當セル爲メ金融ノ關係上賣放ツモノ多ク、又内地品ハ需要季ヲ經過シ需要漸次減退セルト、原料タル新蘭草モ安値唱へ等ヨリシテ市價ノ下落ヲ見タリ。海外需要ハ歐洲及南洋方面ヨリ多少ノ註文アルモ、概シテ活況ヲ見ルニ至ラズ氣迷裡ニ越月セリ。

野草菴 季節ノ近ヅクニ伴レ續々照會アルモ纏リタル手合セナク、市價ハ新規定品ノ出廻ルニ至リシト原料綿絲高ノ爲メ又復騰貴シ、商談二層困難ヲ極メ不況裡ニ越月セリ。

九月

花苧 本月ハ製産期ニ入りシ關係上市場ヘノ出廻數ハ前月ニ比シ増加シタリ。海外ヨリハ引續キ注文アルモ、内地物ノ賣行キ不振ナルト製産増加ヲ見越シ又復市價ノ引下グヲ見タリ。

野草苧 需要期ニ入りシト農閑等ニテ製産増加シ市價稍々下落セルモ、岡山縣野草苧工業組合ノ手持品一掃セラレシ爲メ先高豫想ニテ越月セリ。

十月

花苧 海外需要ハ前月ト格別ノ變化ナキモ、八月來ノ軟弱相場ニ製造業者ハ採算難ヲ唱フルニ至リシ節柄、原料高ヲ報ジ來レルト漸次農繁期ニ入ラントセル爲メ強氣配ニテ越月セリ。

野草苧 野草苧ハ依然トシテ沈滞シ季節ニ入ルモ纏リタル商談ナク、製産者ハ前途ノ不安ニ襲ハレ製産涉々シカラズ、只管時機待ノ體ナリ。斯ク注文期ノ遅ル、ニ至リシハ、既往二ケ年間ニ於ケル商況ガ後下リノ狀アリシヨリ、出來得ル限り注文ヲ延バシ短日月間ニ取引ヲ了セントスルガ故ナリ。

十一月

花苧 農繁期後ヲ承ケ製品減少市場品薄ノ爲メ相場強含ナルモ需要ノ之ニ伴フモノナク保合裡ニ越月セリ。

野草苧 需要期ナレ共注文弗々アルノミ。市場ヲ潤ス程度ニ至ラズ。相場軟弱市場無活氣ニシテ市價低落ヲ見タリ。

十二月

花苧 注文薄ノ爲メ輸出最盛期ナルモ活氣アル商況ヲ見ズ。然レ共原料蘭草高唱ヘニ相場ハ強保合ニテ越年セリ。

野草苧 花苧ト共ニ年末最盛期ナルモ注文期待セル程ニ入ラズ例年ノ如キ活況ヲ見セズ、原料綿糸ノ下落ト相俟テ相場更ニ下落セリ。

最近五箇年間神戸市中花苧見當相場月別對照表

大正十二年 同 昭和十五年
同十三年 同 同
同十四年 同 同

品名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
上等機械	二八〇〇	二八〇〇	二八〇〇	二八〇〇	二八〇〇	二八〇〇	二六〇〇	二四〇〇	二四〇〇	二四〇〇	二四〇〇	二四〇〇	二六・一七
並機械	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一八〇〇	一七〇〇	一六七〇	一六七〇	一六七〇	一六七〇	一六七〇	一七・三八
引通紋花	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一七〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六・二九
三百三十經	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五・四六
同百五十經	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一四〇〇	一四〇〇	一四〇〇	一四〇〇	一四〇〇	一四〇〇	一四・七〇

最近三十七箇年間花菱輸出高

年次	輸出高
明治三十四年	六五六、一二二
明治三十五年	一、一七六、六八〇
明治三十六年	一、七二三、三八三
明治三十七年	一、九六五、四九三
明治三十八年	三、四六一、三七〇
明治三十九年	三、〇五六、七五九
明治四十年	三、二三二、七三八
明治四十一年	三、九三八、四五〇
明治四十二年	三、三三八、三八一
明治四十三年	三、三一〇、〇四二
明治四十四年	五、三五三、三九九
明治四十五年	六、七七二、四九八
明治四十六年	四、六五一、四六六
明治四十七年	四、九一七、三五三
明治四十八年	五、〇八六、七〇四
明治四十九年	五、八二七、五三九
明治五十年	五、七四〇、五六七
明治五十一年	五、七五二、〇四〇
明治五十二年	四、五八八、五三五
明治四十三年	三、九二二、二五〇
明治四十四年	三、七三九、五八四
明治四十五年	三、七四一、九九八
明治四十六年	四、〇六四、三〇三
明治四十七年	二、八二五、八二一
明治四十八年	二、三〇三、五九一
明治四十九年	二、八八八、三五五
明治五十年	二、二一三、〇七二
明治五十一年	三、〇一九、四三四
明治五十二年	三、八二九、一八七
明治五十三年	九三二、七七一
明治五十四年	一、三一七、五六二
明治五十五年	一、二八三、六七二
明治五十六年	一、〇二二、九二五
明治五十七年	一、四九八、三六五
明治五十八年	一、三五三、二〇五
明治五十九年	一、三二六、一七九

最近二十八箇年間花菱輸出高港別對照表

年次	神戶	橫濱	大阪	長崎	門司其他	合計
明治三十三年	三、二二一、五七八	六、三七二	七、五四〇	二、三〇五	七、二二四	三、三二〇、四二二
明治三十四年	五、二一五、三六九	二、四三〇	—	三、八八二	一、三一七、七一八	五、三三三、三九九
明治三十五年	六、五五一、六八九	二、六六〇	五、八八	一、二六七	二、一六一、九四	六、七七二、四九八
明治三十六年	四、六〇三、一二二	五、〇二六	六、四一	三、一四八	三、九五二、九	四、六五一、四六六
明治三十七年	四、九一〇、四〇四	三、〇九七	四、一九	一、一五六	二、二七七	四、九一七、三三三
明治三十八年	五、〇七四、三七六	四、三三二	二、八五三	一、〇〇二	四、一三一	五、〇八六、七〇四
明治三十九年	五、八一三、〇五六	四、六一八	二、八一	一、一一三	六、九三一	五、八二七、五三九
明治四十年	五、七二六、八三五	四、一四四	三、〇四四	九二	六、四五二	五、七四〇、五六七
明治四十一年	五、七四一、〇六〇	三、一五七	三、二二八	五	四、六〇〇	五、七五二、〇四〇
明治四十二年	四、五七六、三〇五	二、五八〇	一、六五二	三四	七、九六四	四、五八八、五三五
明治四十三年	三、八八七、四八二	二、五、四九二	五、八四一	—	三、四三五	三、九二二、二五〇
明治四十四年	三、七〇二、五九三	一、七、二九五	二、二七八	—	七、四一八	三、七三九、五八四
明治四十五年	三、七〇七、五二一	六、三六五	一、五、四一五	三六	一、二、六六一	三、七四一、九九八
明治四十六年	四、〇〇六、三六八	四、二、三七	二、二、〇九〇	五七	三、一、五〇八	四、〇六四、三〇三
明治四十七年	二、七六六、八九〇	四、八二四	二、二、一三三	—	三、一、〇一七	二、八二五、八二一
明治四十八年	二、二、三、二四九	七、〇〇五	二、二、三一一	三〇五	三、七、二二一	二、三〇三、五九一
明治四十九年	二、八三六、四五六	一、一、二〇四	二、〇、四五〇	七三	二、〇、一六〇	二、八八八、三五五
明治五十年	二、一、四一、六八三	六、六二七	三、〇、九二七	二、三、四二	三、一、四九三	二、二、一三、〇七二

大正七年	同八年	同九年	同十年	同十一年	同十二年	同十三年	同十四年	同十五年	昭和二年
二、八五一、三七四	二、八六九、二五〇	三、七六四、九七六	九〇四、九六七	一、二九五、六七五	一、二七六、一四七	一、〇二一、七〇三	一、四九六、二一二	一、三五一、三七五	一、三一七、五七八
四、三五一	三三二、三三九	二九、一一一	八、六一五	四、二九三	不	九六三	四〇六	一、二八九	二、二八九
四七、二八二	二八、二九一	一、三三五〇	一、七六二	二、六五九	二、一二五	七二〇	八三八	六九八	二三五
一、三一六	一五	一、七一六	一、七六二	一、七六二	一、七六二	一、七六二	一、七六二	一、七六二	一、七六二
三七、六〇七	八九、六三九	三一、七四〇	一七、四二七	一四、九三五	五、四〇〇	五〇二	三五二	七二六	七〇七七
二、九四一、九三〇	三、〇一九、四三四	三、八三九、一八七	九三二、七七二	一、三一七、五六二	一、二八三、六七二	一、〇二一、九二五	一、四九八、三六五	一、三五三、二〇五	一、三二六、一七九

備考 明治三十三年乃至明治三十六年ニ於ケル門司其他ノ關ニ比較的多數ノ統計ヲ現ハシ居レルハ、當時神戶港ニ於ケル花蘆輸出商人中商路上ノ關係ヨリ九州地方ニ出張店ヲ設ケ、同地方ニ於テ購入シタル花蘆ヲ便宜門司港ヨリ輸出シタル事アリシガ爲ニシテ一時的變例ナリトス。尙昭和二年同港ニ於ケル輸出額ノ激増ハ同年六月ヨリ門司ニ於テ出張検査ノ施行セラレシ關係ニヨルモノトス。

昭和二年各港花蘆輸出高月別表 (單位圓)

月次	神戶	橫濱	大阪	門司	計
七月	一〇四、三八八	一一八	二三四	二四	一〇四、五一六
八月	八五、〇五一	一一八	二三四	二四	八五、〇五一
九月	一二九、六七四	一一八	二三四	二四	一二九、六七四
十月	一一一、九五七	一一八	二三四	二四	一一一、〇九一
十一月	一二六、五三三	一一八	二三四	二四	一二六、七五九
十二月	一四〇、一一一	一一八	二三四	二四	一四三、四四七
合計	九八、一七一	一一八	二三四	二四	九八、三六三

仕向國	位單	神戶	橫濱	大阪	門司及下關	計	前年計
支那	圓枚本	三三八			三〇	三三八	二八六
關東洲	圓枚本	五三、九九六			二四	五四、〇二六	三八、一七八
香港	圓枚本	二二、六九九				二二、七二三	二一、六一二
英領印度	圓枚本	一八				一八	三九
海峽殖民地	圓枚本	三九、四九七				三九、四九七	六三、七二七
合計		一、三三七、五七八	一一、二八九	二三五	七〇七七	一、三三六、一七九	

昭和二年輸出花蘆仕向國別統計表

備考 敦賀及長崎港ヨリハ輸出ナシ。

仕向國	位單	神戶	橫濱	大阪	門司及下關	計	前年計
支那	圓枚本	三三八			三〇	三三八	二八六
關東洲	圓枚本	五三、九九六			二四	五四、〇二六	三八、一七八
香港	圓枚本	二二、六九九				二二、七二三	二一、六一二
英領印度	圓枚本	一八				一八	三九
海峽殖民地	圓枚本	三九、四九七				三九、四九七	六三、七二七
合計		一、三三七、五七八	一一、二八九	二三五	七〇七七	一、三三六、一七九	

白耳義	和蘭	丁抹	瑞典	伊太利	西班牙	其他歐洲諸國	北美合衆國	加奈陀
圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本

一八
三〇、八三八
一四、一四七
三二五
五六、六九三
二七、九九八
三七五
三三八
四〇二五
四一〇
四〇
三三
二五〇
一、二五〇
一、二二二
一、七八六
一、七二九
八六、六二〇
一二四、八一九
七六一
七六一
三三五
一〇、一〇六

一四
一五
三二四
六〇
六

|||||

|||||

一八
三〇、八三八
一四、一四七
三二五
五六、六九三
二七、九九八
三七五
三三八
四〇二五
四一〇
四〇
三三
二五〇
一、二五〇
一、二二二
一、七八六
一、七二九
八六、六二〇
一二四、八一九
七六一
七六一
三三五
一〇、一〇六

一四、二五五
六、七七三
六一七
二二、三六九
二五、四九八
二五〇
三一、六六〇
六
二六
九五
七二
一〇、三三八
一一、〇三三
一五五
一五五
一七、五〇〇
七、三七五
二一、六五二
一五六、八一八
二七八、五八一
一〇八
一四、八三五
二一、八三一

蘭領印度	佛領印度	比律賓	暹羅	其他亞細亞諸國	英吉利	佛蘭西	獨逸	奧地利
圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本

三、一四六
六〇〇四六
七一、六一六
一九、七〇〇
六、三四五
六、五〇〇
三、四四〇
五〇
一七二、八四〇
五九、三〇九
七三二
四一九
六八〇
四〇三、五八六
一四七、二九七
一一八
五三四、八五四
二三八、〇一七
四五五
二〇、六八九
一七、七二八
二六〇
五九
四六五

四
五八

二〇〇
二三五

四四五
五四一

三、一五〇
六〇、六九一
七二、四五〇
一九、七〇〇
六、三四五
六、五〇〇
三、四四〇
五〇
一七二、八四〇
五九、三〇九
七三二
四一九
六八〇
四〇三、五八六
一四七、二九七
一一八
五三四、八五四
二三八、〇一七
四五五
二〇、六八九
一七、七二八
三三〇
三四九
七二五

三、一八六
四五、一六四
七四、六一
一六、七七六
六、一八四
三、五七〇
一四、六九六
二四
一一四、一〇〇
三七、九六二
五〇〇
一一〇
四一
二九〇、四四一
二二七、〇四六
五〇五
四〇五、六八〇
一九二、〇七三
二二五
二、四九六
四、五三三
一〇、三三三
一、三四九

花蕙ハ主トシテ神戸港ヨリ輸出セラル、ヲ以テ、同港輸出額ノ増減ハ以テ斯業ノ消長ヲ推知スルヲ得ベシ。
 仍テ參考ノ爲メ左ニ最近五箇年間輸出高月別仕向國別及昭和二年同港輸出花蕙各種仕向地別統計表ヲ掲グ。

合計	露領亞細亞	其他諸國	布哇	新西蘭	濠洲	利加亞諸國	其他亞弗	喜望峰殖民地
圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本
一、八四四 二、五六九 一、三二七		五八五 八一 三六	一四、四三七 五〇、四六六	三、五三四 八、〇九五 三、一五九	一五五、四〇三 五〇、六四五	三九四、四〇六 一五八、一九七	三三 二、七五六 一、八五九	七七
一、二八九	四〇五		一六〇		三三			
二二五								
七〇七七								
一、九〇八 二、五七六 一、三二六	四〇五	三八五	五〇、五一四	三、五三四 一四、五九七	一五五、四〇三 五〇、六六八	三九四、四〇六 一五八、一九七	三三 二、七五六 一、八五九	七七
一、三三三 二、〇四一 一、三三〇		四五一	三〇、六三四	二、二九四 二、八六七	一四二、一〇 五八、一六一	二四 四七八	二八	六八

埃及	其他南米諸國	伯刺西爾	亞爾然丁	知利	秘露	其他北米諸國	玖馬	墨西哥
圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本	圓枚本
一四、六一三 三二、八五八 二一六	五五、九九三 二九、一三八	五八〇 三一四	二〇 二五、二九二	三三 一〇、二五	五三 一八一 一六	三、九三〇 五、一八六 二九	一、五六三 八七 八三	七、九二〇 三、一一一
							二五七 三二	
一四、六一三 三二、八五八 二一六	五五、九九三 二九、一三八	五八〇 三一四	二〇 二五、二九二	三三 一〇、二五	五三 一八一 一六	三、九三〇 五、一八六 二九	一、八二〇 一、一八九	七、九二〇 三、一一一
							一〇八 五九	三〇〇 三二五
九〇三三	一一、六七五 八、二六一	五九 六三	五 二二、二九八	一〇、六六 七五二	一、二八五 七一	九、六六三 三、七八二	一四 一〇八	三〇〇 三二五

最近五箇年間神戸港花菱輸出月別表

月次	大正十二年								大正十三年								大正十四年								大正十五年								昭和二年							
	一	二	三	四	五	六	七	八	一	二	三	四	五	六	七	八	一	二	三	四	五	六	七	八	一	二	三	四	五	六	七	八	一	二	三	四	五	六	七	八
單位	圓枚本								圓枚本								圓枚本								圓枚本								圓枚本							
1	1,965	1,094	1,582	1,594	1,586	1,033	1,305	1,497	2,245	7,258	9,467	1,600	8,091	9,617	1,877	6,822	7,294	1,824	9,364	8,070	2,127	7,436	7,540	1,662	1,299	1,249	7,165	1,093	3,390	7,160	1,549	1,849	1,065	1,157	1,616	1,787				
2	1,965	1,094	1,582	1,594	1,586	1,033	1,305	1,497	7,258	9,467	1,600	8,091	9,617	1,877	6,822	7,294	1,824	9,364	8,070	2,127	7,436	7,540	1,662	1,299	1,249	7,165	1,093	3,390	7,160	1,549	1,849	1,065	1,157	1,616	1,787					
3	1,965	1,094	1,582	1,594	1,586	1,033	1,305	1,497	9,467	1,600	8,091	9,617	1,877	6,822	7,294	1,824	9,364	8,070	2,127	7,436	7,540	1,662	1,299	1,249	7,165	1,093	3,390	7,160	1,549	1,849	1,065	1,157	1,616	1,787						
4	1,965	1,094	1,582	1,594	1,586	1,033	1,305	1,497	1,600	8,091	9,617	1,877	6,822	7,294	1,824	9,364	8,070	2,127	7,436	7,540	1,662	1,299	1,249	7,165	1,093	3,390	7,160	1,549	1,849	1,065	1,157	1,616	1,787							
5	1,965	1,094	1,582	1,594	1,586	1,033	1,305	1,497	8,091	9,617	1,877	6,822	7,294	1,824	9,364	8,070	2,127	7,436	7,540	1,662	1,299	1,249	7,165	1,093	3,390	7,160	1,549	1,849	1,065	1,157	1,616	1,787								
6	1,965	1,094	1,582	1,594	1,586	1,033	1,305	1,497	9,617	1,877	6,822	7,294	1,824	9,364	8,070	2,127	7,436	7,540	1,662	1,299	1,249	7,165	1,093	3,390	7,160	1,549	1,849	1,065	1,157	1,616	1,787									
7	1,965	1,094	1,582	1,594	1,586	1,033	1,305	1,497	1,877	6,822	7,294	1,824	9,364	8,070	2,127	7,436	7,540	1,662	1,299	1,249	7,165	1,093	3,390	7,160	1,549	1,849	1,065	1,157	1,616	1,787										
8	1,965	1,094	1,582	1,594	1,586	1,033	1,305	1,497	6,822	7,294	1,824	9,364	8,070	2,127	7,436	7,540	1,662	1,299	1,249	7,165	1,093	3,390	7,160	1,549	1,849	1,065	1,157	1,616	1,787											
9	1,965	1,094	1,582	1,594	1,586	1,033	1,305	1,497	7,294	1,824	9,364	8,070	2,127	7,436	7,540	1,662	1,299	1,249	7,165	1,093	3,390	7,160	1,549	1,849	1,065	1,157	1,616	1,787												
10	1,965	1,094	1,582	1,594	1,586	1,033	1,305	1,497	1,824	9,364	8,070	2,127	7,436	7,540	1,662	1,299	1,249	7,165	1,093	3,390	7,160	1,549	1,849	1,065	1,157	1,616	1,787													
11	1,965	1,094	1,582	1,594	1,586	1,033	1,305	1,497	9,364	8,070	2,127	7,436	7,540	1,662	1,299	1,249	7,165	1,093	3,390	7,160	1,549	1,849	1,065	1,157	1,616	1,787														
12	1,965	1,094	1,582	1,594	1,586	1,033	1,305	1,497	8,070	2,127	7,436	7,540	1,662	1,299	1,249	7,165	1,093	3,390	7,160	1,549	1,849	1,065	1,157	1,616	1,787															
合計	19,030	10,215	15,820	15,940	15,860	10,330	13,050	14,970	220,334	765,218	623,339	2,133,111	2,093,387	1,975,444	2,269,404	2,127,780	2,735,549	2,036,058	1,849,484	2,127,780	2,093,387	1,975,444	2,269,404	2,127,780	2,036,058	1,849,484	2,127,780	2,036,058	1,849,484	2,127,780	2,036,058	1,849,484	2,127,780	2,036,058	1,849,484					

最近五箇年間神戸港花菱輸出高仕向國別統計對照表

仕向國	單位	大正十二年				大正十三年				大正十四年				大正十五年				昭和二年			
		一	二	三	四	一	二	三	四	一	二	三	四	一	二	三	四	一	二	三	四
關東州	圓枚本	111	111	111	111	284	543	500	375	673	524	587	390	15	170	273	31	273	381	214	255
支那	圓枚本	61	458	458	61	550	550	25	25	390	390	15	15	39	214	273	31	39	214	273	31
合計	圓枚本	172	579	579	172	834	1,090	525	600	1,063	714	592	40	54	384	546	62	312	595	547	286
九	圓枚本	1,006	594	594	1,006	764	528	623	2,133	2,093	1,975	2,269	2,127	1,975	2,269	2,127	1,975	2,269	2,127	1,975	2,269
十	圓枚本	1,006	594	594	1,006	764	528	623	2,133	2,093	1,975	2,269	2,127	1,975	2,269	2,127	1,975	2,269	2,127	1,975	2,269
十	圓枚本	1,006	594	594	1,006	764	528	623	2,133	2,093	1,975	2,269	2,127	1,975	2,269	2,127	1,975	2,269	2,127	1,975	2,269
十	圓枚本	1,006	594	594	1,006	764	528	623	2,133	2,093	1,975	2,269	2,127	1,975	2,269	2,127	1,975	2,269	2,127	1,975	2,269
十一	圓枚本	1,006	594	594	1,006	764	528	623	2,133	2,093	1,975	2,269	2,127	1,975	2,269	2,127	1,975	2,269	2,127	1,975	2,269
十二	圓枚本	1,006	594	594	1,006	764	528	623	2,133	2,093	1,975	2,269	2,127	1,975	2,269	2,127	1,975	2,269	2,127	1,975	2,269
合計	圓枚本	19,030	10,215	15,820	15,940	220,334	765,218	623,339	2,133,111	2,093,387	1,975,444	2,269,404	2,127,780	1,975,444	2,269,404	2,127,780	1,975,444	2,269,404	2,127,780	1,975,444	2,269,404

智利	亞爾然丁	伯刺西爾	其他南米諸國	埃及	喜望峰殖民地	其他亞弗	利加亞	濠洲	新西蘭
15	283	265	8656	2230	118	1730	2933	7683	175
83	30	1170	17704	111	206	4618	3417	10900	705
6	34	117	7806	398	109	119	763	29051	1
54	290	1066	11675	63	68	24	478	1055	1667
2	35	1025	13546	20	77	155403	50645	8095	159

秘露	其他北米諸國	玖瑪	墨西哥	加拿陀	北米合衆國	其他歐洲諸國	土耳其	西班牙
2519	1789	1942	410	24789	440603	809	617	1525
1410	7264	110	110	6075	120813	11	434	1525
56	56	184	325	2290	257316	11	11	142
7897	1122	516	186	2290	99985	11	11	10
1840	786	52	962	749	334746	11	11	11
1285	71	48	503	2729	226182	11	11	500
185	48	963	108	1435	278581	11	11	155
181	16	18	59	108	156818	11	11	11
535	3930	5186	1186	761	86620	11	11	11

獨逸	和蘭	瑞典	同	伊太利	同	丁抹	埃地	西班	同	白耳	北米	同	同	同	同	同	同	同	同	同
逸	蘭	典	同	利	同	抹	地	牙	同	耳	合衆	同	同	同	同	同	同	同	同	同
國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國

ブレメン	漢堡	阿姆斯特丹	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
メ	ダム	ダム	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
ン	ム	ム	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

一四九	三〇六	三〇	三〇五	四	一	二五	一三六	六	三八〇	二五	三三	一八	六〇〇	五	六五	一六	四七八	五〇〇	六五	六五
二〇八八	三七〇三	二一〇	三三三〇	二一〇	三〇	二二〇	一三六七	七二	四〇〇一	四二五	三九二	二〇〇	七三七六	七八	六八三	一六八	五、六〇八	五、三九五	六四三	六四三
二〇																				
二二四																				
七、八七三	一二、七九七	二七、八六六	二八、八二七				六五二	四〇									二九、六四一			
三、七四九	七、九六四	一一、八一五	一一、六三三				三四七	三〇									一六、〇九八			
五、八三七	一一、八九一	一一、〇二五	一五、九五三					三〇									二二、八五一			

1011

蘭領印度	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
印度	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度	度

バレンバーク	ペンヂヤマシ	サマラン	シボカ	馬刺	イロ	ダグ	セバ	西貢	ハイフォン	ペノン	盤谷	アデ	ベラ	グア	リグ	倫敦	マンチ	マハ	馬耳	巴里
バ	ペン	サ	シ	馬	イ	ダ	セ	西	ハイ	ペ	盤	ア	ベ	グ	リ	倫	マン	マ	馬	巴
バ	ペン	サ	シ	馬	イ	ダ	セ	西	ハイ	ペ	盤	ア	ベ	グ	リ	倫	マン	マ	馬	巴

二〇	三六																				
二四二	四五八																				
七二六																					
一、七七〇																					
一、九五〇	二、四〇〇	七〇〇	二、二五〇	二、九〇〇	一、〇〇〇	二五〇	一八、六〇〇	六〇〇	五〇〇	一七、二八〇	一七、二八〇	二一八	二二八	五二四	二二〇、六五〇	一八、八六七	一五、七五七	七、八八九	七、二九三	五〇七、七六二	
八七七	一、二一九	二六九	一、六七二	一、一四八	三七八	七八	五、八八六	二七三	一八六	五八、六四三	五八、六四三	九七	二二九	一、三四八	七七、二五二	六〇、三五一	一一、四九九	二、四九三	二〇八、三〇五		
二四二	三、一〇五	一、二一九	二六九	一、八三六	三七八	七八	五、八八六	二七三	一八六	五九、三〇九	五九、三〇九	一九〇	二二九	一、三四八	七七、五四七	六八、八一	一一、二〇九	二二、二〇九	二一五、六四八		

1011

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同
 伯刺西爾
 同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同
 亞爾然丁
 同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同
 秘露
 其他北米諸國
 墨西哥
 同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同
 玖馬
 同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同
 同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

晚香坡
 ウエニベツ
 ハバナ
 キバ
 マンチアニロ
 メキシコ
 クリストバル
 ポート、オー、プリン
 ウエストインヂ
 コロ
 タヒテン
 サンジ
 エクイ
 其
 ベル
 リ
 モ
 プ
 ベ
 ヴ
 サ

10	83	96	63	72	236	30	30	4	120	82	73	39	35	73	173	111
138	96	135	20	244	47	247	244	42	46	76	70	39	35	73	173	111
60	20	135	115	20	244	47	244	42	46	76	70	39	35	73	173	111
100	25	1369	27	48	65	77	136	72	22	82	73	30	30	4	120	83
20	1025		16	4	4	8	7	6								

一〇五

北米合衆國
 市俄古
 ガルベ
 ハ
 オーク
 ポ
 プ
 メ
 ア
 ニ
 オ
 カ
 セ
 シ
 フ
 費
 聖
 レ
 ノ
 ロ
 ト

市俄古
 ガルベ
 ハ
 オーク
 ポ
 プ
 メ
 ア
 ニ
 オ
 カ
 セ
 シ
 フ
 費
 聖
 レ
 ノ
 ロ
 ト

1100	926	96	450	101	776	106	900	400	1200	100	1293	898	400	75	600	560	258
400	115	926	375	350	2060	1353	3180	1245	3060	303	3462	2151	1440	246	1670	1310	258
1100	926	96	450	101	776	106	900	400	1200	100	1293	898	400	75	600	560	258
100	25	1369	27	48	65	77	136	72	22	82	73	30	30	4	120	83	

一〇四

布同新同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

西 哇 蘭

洲

ホ ノ ル ド ル	ア オ ク ラ ン ド	ウ エ リ ン ト ン	タ ウ ン ス ビ ル	タ ス マ ニ ア	ア デ レ ー ト 島	木 曜	ロ ツ ク ハ ン ブ ト ン	カ イ ラ ス	ラ ポ ー ル	メ ル ボ ム	バ ー ス	シ ド ニ ー	フ レ メ ン ト ル	ブ リ ス ベ ン	キ リ ン チ ニ	ク ー マ セ ル	ザ ン ヂ バ ー	ケ ー ブ コ ー ス ト	モ ン バ サ	セ ン チ
三、一六八		三三			五	二	一〇	四九	八	七六	一五	三五								
三六、五六二		四二			五九	二五	一一	一三八	六〇二	一〇三	七五四	二七一	四一九							
一、〇五六	六〇							九六												
二、四四三	二〇〇							一八二												
一、二、九六九	六、三七五	一、六六〇	二、四〇〇	一、五三六	三、七二〇	七二	六〇	一〇〇	六、二二二	九八	七五、三三〇	五、四〇〇	六、五四〇	四、〇〇〇	三、二二五	一〇	二、三五〇〇	二、六〇〇	三、九、四五〇	一、四、二二一
七、〇〇六	一、九二一	六、二二六	八七	七、六八	八、八三	九〇	一六	四七	一八、二二二	四六	二、四、六四二	一、七四〇	一、六四一	一、四二	一、五七五	四	九、四〇〇	一、〇五八	一、三、〇六	
四六、〇一一	一、九八一	一、〇三八	八七	七、六八	八、八三	一四九	二五	二七	一八、九〇五	一九九	二、五、三九六	二、〇一一	二、〇六〇	一、四二	一、五七五	四	九、四〇〇	一、〇五八	一、四、二二一	

同同同利其同喜望峰殖民地同同同埃同同同同同同同同同同同同其他南米諸國伯刺西爾

ア フ リ カ	ベ ー ラ	ア ツ ク ラ	ダ レ サ ラ ム	ケ ー ブ タ ウ ン	ダ ー バ ン	アレキサンドリア	アレツクスアンテリア	ポ ー ト サイ ド	カ イ ロ	カーターゼナ	ビーナベンチユア	ベ エ ネ ゼ ラ	ヴ イ ネ ゼ ラ	パ ル バ ア	マ ラ カ イ ボ	カ ラ カ ス	古 倫 比 亞	モ ン テ ビ デ オ	デ メ ラ ラ	リオデチアネロ
			三三	二〇	五七			二二六						二	五九	六	三六	一八	二〇	
			五三三	二三七	七〇一			二、二二七						二八	一、〇二四	一〇〇	五五二	二二二	二七〇	
			二、〇〇〇			五二〇								二六〇	二二〇	一四三	一五〇			三二四
			八二〇			四、六〇〇								一五〇	五五八	三、四四五	一六〇			三八〇
二、九、一七五	二四	三、三、一三三		八六六	一、八九〇	四、六〇〇	一、〇〇〇	二、五、七三八	一、〇〇〇	三、七二〇	三、二、三三三	五〇〇		八九〇	五、九三一	九、三一八	二、六、六三四	二、五八二	二、四二二	一〇、六
二、九、四八三	二二	一〇、九七〇		四〇九	五二二	一、五五四	三七〇	九、五、六九	四、四四五	二、一一七	一、七、五七七	一一一		五八五	三、三、一一一	三、九〇二	一〇、九六一	一、六六九	一、三、〇六	
二、九、四八三	二二	一一、七八〇		五二二	六、四六六	二、〇〇四	三七〇	一一、七、九六六	四、四四五	二、一一七	一、七、五七七	一一一		六一三	四、九〇三	四、三、四七	一一、六七三	一、八八一	一、五、七六六	三八〇

合 計	布 哇		其 他 諸 國		同 計
	ヒ	ロ	タ	テ	
一八、八四五	三六六	三、九六九	二〇	一	二二、二六八
五五、九〇五	一五	六六	一五	一	一一七、五一四
一一七、五一四	四七	一三二	四七	一	二二、五三三
九七七、三八二	四八六	四二二	一	一	九七七、三八二
一、三二七、五七八	四、四五五	三五四	四七	一	一、三二七、五七八

第五節 野草薙輸出狀況

本邦野草薙ハ、米國野草薙ノ類似品ナルガ故主トシテ米國ニ需要ヲ有シ、輸出敷物トシテ註文セラル、ニ至リシハ去ル大正元年以降ニ屬ス。爾來年ヲ逐フテ輸出額増加シ殊ニ歐洲戰亂勃發後ハ、米國ニ於ケル野草薙製造會社ガ軍需品製造ノ爲メ休機セシ關係上本邦野草薙ノ需要ヲ喚起シ、大正九年ノ如キハ實ニ七百餘萬圓ノ輸出激增ヲ見タリ。然ルニ翌大正十年ニ至リ俄然其ノ輸出額減退シ前年ノ五割ニモ達セザルノ不況ヲ招キシハ、大正九年ニ於ケル財界ノ恐慌ガ世界的ニ襲來セルヨリ其ノ影響ヲ蒙リシモノナリ。

最近十六箇年間野草薙輸出高統計表

年 次	神 戶		其 他		計	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格
大正 元 年	五、一六、二四八	二六三、七九八	三、五三二	二三八	八、六九〇	二六四、〇二七
同 二 年	八、四一、七二二	四三一、九二七	二、七六	一六五	八、四八四	四三三、〇九二
同 三 年	一、〇三、四二二	五四九、七七六	九	五	一、〇三、四二二	五四九、七七六
同 四 年	一、三、四〇、一五八	六四八、五六一	二、〇〇八	一、一八三	一、三、四〇、一五八	六四八、七四四

大 正	年 次	神 戶		其 他		計	
		數量	價格	數量	價格	數量	價格
五	五	三、五五二、九四六	一、七三四、四二二	二、三三六	九〇〇	三、五五五、二八二	一、七二五、三二二
六	六	四、二八三、七九〇	二、〇八六、六三一	一、六四一	一、一五三	四、二八五、四三二	二、〇八七、七八四
七	七	五、三三八、五〇三	二、六四八、三八三	二、七八三	一、六、五九八	五、四一六、三三四	二、六六四、九八一
八	八	一〇、七一一、〇五四	五、五三三、九五七	二、四六八	二、三〇四	一〇、七一一、〇五四	五、五三三、九五七
九	九	二、二八八、二〇五	七、二八二、五六六	七、四六一	九、五九〇	二、二八八、二〇五	七、二九二、一五六
十	十	五、九七五、九〇一	三、〇五九、〇九四	三、六五七	一、八八二	五、九七五、九〇一	三、〇六〇、九七六
十	十	七、〇三六、六一七	三、三三〇、三一	一、五、五六七	一〇、六四四	七、〇三六、六一七	三、三三〇、九五五
十	十	七、三〇六、五八九	三、四三六、七〇三	一、四九七	一、〇七五	七、三〇六、五八九	三、四三六、七〇三
十	十	七、六〇二、九四一	三、〇三五、六九二	一、四九七	一、〇七五	七、六〇二、九四一	三、〇三六、七六七
十	十	五、四六九、八八七	二、四三三、一五四	四、八二五	三、〇六八	五、四六九、八八七	二、四三七、二二二
十	十	五、四五四、五四九	二、二七六、二一一	九、四三三	五、七八二	五、四五四、五四九	二、二八一、九九三
十	十	五、〇八八、九八三	一、七七一、四八〇	七、二四六	一、四三五	五、〇八八、九八三	一、七二八、九一五

昭和二年各港野草薙輸出高月別表 (單位圓)

月 次	神 戶	橫 濱	長 崎	計	
					數量
一	二八八、四〇〇	二四	一、〇四六	二八八、四〇〇	
二	三五三、〇〇九	三八	一、〇四六	三五四、〇七九	
三	二一一、一五〇	三八	一、〇四六	二一一、一八八	
四	九八、〇六〇	四八	一、〇四六	九八、〇六〇	
五	六二、三八四	一	一、〇四六	六二、三八四	

佛領印度	比律賓	暹羅	英吉利	佛蘭西	獨逸	白耳義	和蘭	丁抹	瑞典	諾威	伊太利
方碼	方碼	方碼	方碼	方碼	方碼	方碼	方碼	方碼	方碼	方碼	方碼
六九三	三三三	一、五六〇	七二七	一、六二二	八二五	一、七、一六七	八、三四二	七一九	四六一	二五〇	一〇一
二一〇	九四	五七一	二八七	二、八七六	一、四二四	一、八、一七	二、四七二	一、八一七	八二	三七一	六〇
二〇〇	一、〇〇〇	三三三	二、〇〇〇	一、二〇〇	四八五	三〇、〇九五	一、三、八三八	一、五、九五〇	六、一三三	七七〇	三七〇
四四四	一六一	二、四七九	八、二四一	二、四七九	四、〇一六	四、六六一	三、三一九	三〇、七〇三	一、一、三三〇	四六八	二五〇
四、〇三六	一、五六九	八、〇〇六	二、四〇三	八、〇〇六	二、四〇三	四、〇一六	一、七、七〇八	九、八五一	二、九五三	二、九五三	二〇
二九	一四	一、〇〇〇	二、六六五	一、〇〇〇	二、六六五	一、〇〇〇	二、六六五	一、〇〇〇	二、六六五	一、〇〇〇	二、六六五

一一〇

合計	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月
一、七二一、二九一	一八七、九三二	一二六、四九六	一一九、三五一	五十一、二七六	二九、九九五	一一二、一二三	七、七、三〇四	二、六六五	六二七	一〇九	一六	七、八、九八五
一、七二一、二九一	一八七、九三二	一二六、四九六	一一九、三五一	五十一、二七六	二九、九九五	一一二、一二三	七、七、三〇四	二、六六五	六二七	一〇九	一六	七、八、九八五

最近五箇年間神戸港野草蒞仕向國別統計對照表

仕向國	單位	大正十二年	大正十三年	大正十四年	大正十五年	昭和二年
支那	方碼	三、三三四	二、七、七四〇	一、五、一〇三	一、七、〇四三	一、四、七〇五
關東	方碼	一、四、八五〇	一、三、三六七	六、八三一	七、六八三	五、九九八
香港	方碼	三〇〇	七七四	四七二	六	六二
英領印度	方碼	二、八五四	一、五、六七四	一、一、八〇七	八、一四七	一、二、九八一
海峽殖民地	方碼	九、二二六	五、九〇三	五、二六〇	三、七〇八	五、一四三
蘭領印度	方碼	四、二、七三八	七、二、三八六	二、七、六六五	四、七、七二六	六、一、九二二
佛領印度	方碼	二、一、五五八	三、五、三九八	一、四、六二四	二、五、七六四	三、二、四三三
暹羅	方碼	八、七、五八三	八、二、三八七	四、八、八六三	五、六、一二七	六、六、八一九
比律賓	方碼	四、五、二七八	四、二、六一七	二、二、八九二	二、三、三七二	二、四、五八一

瑞 西 方 圓	瑞 地 利 方 圓	西 班 牙 方 圓	北 米 合 眾 國 方 圓	加 拿 大 方 圓	墨 西 哥 方 圓	其 他 北 米 諸 國 方 圓	秘 露 方 圓	亞 爾 然 丁 方 圓	伯 刺 西 爾 方 圓	其 他 南 米 諸 國 方 圓	埃 及 方 圓
1,398	849	1,100	6,809,000	6,809,000	4,600	6,078	933	1,067	5,203	2,399	110
1,398	849	1,100	6,809,000	6,809,000	4,600	6,078	933	1,067	5,203	2,399	110
1,398	849	1,100	6,809,000	6,809,000	4,600	6,078	933	1,067	5,203	2,399	110
1,398	849	1,100	6,809,000	6,809,000	4,600	6,078	933	1,067	5,203	2,399	110

昭和二年神戶港輸出野草莖仕向地別統計表

計	喜望峰殖民地	其他亞弗利加	諸國	濠洲	新西蘭	布哇
7,306,589	1,364,900	6,996	1,111	1,608,884	75,043	27,200
3,436,703	2,949	9,787	7,242	71,647	73,386	22,758
7,602,941	9,353	4,301	2,066	1,490,707	53,115	46,215
3,035,691	5,971	2,456	1,311	1,084,401	49,778	18,644
5,469,887	5,971	4,301	2,066	1,490,707	53,115	46,215
2,434,154	2,456	1,311	1,311	1,084,401	49,778	18,644
5,469,887	5,971	4,301	2,066	1,490,707	53,115	46,215
2,434,154	2,456	1,311	1,311	1,084,401	49,778	18,644
5,469,887	5,971	4,301	2,066	1,490,707	53,115	46,215
2,434,154	2,456	1,311	1,311	1,084,401	49,778	18,644

國名	仕向地	數	量	價	額
支那	上海	5,026	5,026	5,469,887	3,111
同	天津	6,499	6,499	5,469,887	1,892
同	哈爾濱	3,180	3,180	2,434,154	995
關東州	大連	62	62	2,434,154	14
英領印度	香港	27	27	2,434,154	28
英領	廣州	9,507	9,507	2,434,154	4,055
同	倫敦	3,334	3,334	2,434,154	1,033

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	北	埃	西	瑞	瑞	和	獨	佛	英	暹	同
											米	地	班					蘭	吉		
											合	利	牙	西	典	蘭	逸	西	利	羅	
											衆	國	牙	西	典	蘭	逸	西	利	羅	
											國	利	牙	西	典	蘭	逸	西	利	羅	

シ	O	セ	デ	メ	デ	フ	聖	ダ	ク	ト	バ	ベ	ス	ア	漢	馬	倫	盤	イ
ア	C	ント	ト	ン	ン	オ	路	ラ	リ	リ	ー	ル	ツ	ム	ス	耳			ロ
ト	P	ジョ	ロ	ビ	ウ	ト	易	ラ	リ	リ	ー	ル	ツ	ム	ス	耳			イ
ル		セフ	イト	ス	オ	ス	易	ラ	リ	リ	ー	ル	ツ	ム	ス	耳			イ
																			ロ

四九〇、一六九	二〇六、一三三	一九、五三二	一八	二〇、六四八	一六、八〇〇	五	九、一六七	一、六九四	三、〇七四	九、五〇三	一三	一、三九八	四三七	一、〇〇〇	五〇	一、〇〇〇	九、八五一	四〇、〇一一	八、〇〇六	八八八
---------	---------	--------	----	--------	--------	---	-------	-------	-------	-------	----	-------	-----	-------	----	-------	-------	--------	-------	-----

一六一、二九九	七三、三六一	七、二四二	一八	六、三四九	五、二八一	五	二八、六三〇	六三四	八六八	三、〇一二	一〇	一八七	八四九	三〇	二〇	二六五	二、九五二	一七、七〇八	二、四〇三	四八〇
---------	--------	-------	----	-------	-------	---	--------	-----	-----	-------	----	-----	-----	----	----	-----	-------	--------	-------	-----

比	佛	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	蘭	同	同	海	同	同	英
	領																領			峽			領
	律																印			殖			印
	賓																度			民			度
	度																度			地			度

馬	西	其	シ	バ	マ	バ	サ	ベ	バ	メ	チ	デ	サ	ス	新	ス	彼	マ	孟	甲
			ン	カ	タ	マ	ラ	ラ	タ	ダ	リ	リ	ダ	ラ	嘉	エ	ド			谷
			シ	ツ	マ	ラ	ラ	ラ	ダ	ダ	リ	リ	ダ	バ	ハ	ン	ラ			
			ン	サ	シ	ビ	ワ	ワ	ダ	ダ	ボ	ボ	カ	バ	ハ	ハ	ラ			
			カ	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン			
			カ	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン				
			カ	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン					
			カ	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン						
			カ	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン							
			カ	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン								
			カ	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン									
			カ	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン										
			カ	ン	ン	ン	ン	ン	ン											
			カ	ン	ン	ン	ン	ン												
			カ	ン	ン	ン	ン													
			カ	ン	ン	ン														
			カ	ン	ン															
			カ	ン																
			カ																	
			カ																	
			カ																	
			カ																	

三、一四八	二九	二、〇〇〇	二五二	五五八	三、四八六	一九、八八四	八、九八〇	二、七〇〇	三三三	三〇〇	一、〇〇六	六、三八六	一、六一八	一九、三一六	三六、一二九	四、四六一	二一、三三三	一〇八	九七七	二、〇五五
-------	----	-------	-----	-----	-------	--------	-------	-------	-----	-----	-------	-------	-------	--------	--------	-------	--------	-----	-----	-------

一、〇八九	一四	六〇〇	七三	二五六	九七四	七、八〇七	三、四八九	八〇七	一四七	九〇	五四三	二、一〇四	六九五	六、九九六	一六、五七四	三、一〇八	一三、〇五二	三五	三〇〇	六五〇
-------	----	-----	----	-----	-----	-------	-------	-----	-----	----	-----	-------	-----	-------	--------	-------	--------	----	-----	-----

合計 價數 額量	米國		佛國		英國		和蘭		伊國		印度		日本		德國		瑞西	
	價數	額量	價數	額量	價數	額量	價數	額量	價數	額量	價數	額量	價數	額量	價數	額量	價數	額量
二九、八一三 一四八、〇八五 五五六二(噸)			九、八三七 五三、三四三		二五 三三一		六、九一九 三四、九八九											
一一、三三〇 四四、九九一 一、三四二					三八一 二、六〇五													
八、二一九 五四、二九一 一、二四二			一、五五九 一、八八八		二〇〇 二、一〇二													
九、七六三 六四、八一四 一、五二三			二九 二二二		九二五 六、四一一													
一一、七〇〇 六七、七八〇 一、八二八			六〇 六六二		一、五四九 一一、三三二													

右ニ就テ看ルニ本邦品以外ハ真菰或ハ太蘭等ノ製品ナルベキモ、本邦品ニアリテハ是等ヲ云ハズ純然タル蘭草製品ナル花蔴ナルベシト思考セラル、ガ、十數年前ニ於テハ往々市内ニ本邦製花蔴ノ使用ヲ散見シタリシ

モ、最近ニ至リテハ全ク其蔭ヲ止ズ僅ニ地方ニアリテ時ニ見受クルノ有様ナリ。思フニ生活程度ノ向上ト、本邦品ノ耐久力乏シキニモ拘ラズ、價格ノ比較的廉ナラザルニ因ルモノナルベシ。

○花蔴製造狀況(蘇州)

當地方ハ古クカラ莫蔴、蔴ノ產地トシテ知ラレテ居ルガ、原料ハ蘭草、茅草、蔴ノ三種デアツテ、蘇州ヲ西ニ距ル二里程ノ澹望關ノ如キハ、全町千戸餘リノ商家ノ内過半ハ莫蔴、蔴ノ問屋若ハ取引商ト云テモヨイ位デアアル。

(在サンパウロ赤松領事報告)

上海ニ工場ヲ有スル邦商備後屋ハ、大正十一年四月當地日本租界内ニ第三工場ヲ設ケ、爾來漸次改善擴張シツ、今日ニ至テ居ルガ、製品ノ需要ハ年々増加ノ傾向デアアル。

本工場ノ製品ハ茅草ヲ原料トスル歐米人向ノ花蔴ガ主デアツテ、製品總額ノ七割ヲ占メ、蘭草製ノ莫蔴約二割、蔴製ノ蔴約一割デアアル。

花蔴ハ染色ノ色合及デザインガ、外國人ノ嗜好ニ適シ、其大部分ハ上海ヲ經テ歐米方面ニ輸出セラレ、一部ハ上海ノ外人間ニ賣捌カレテ居ル。

蘭草製莫蔴ハ、主ニ上海ノ日本人、外國人間ニ需要セラル。蔴席ハ殆ド全部紡績會社ノ、梱包用トシテ賣行ノデアアル。

本工場目下ノ製造高ハ、一日銀二百八十元見當デ、年額約十萬元。而シテ優ニ一割内外ノ純利ヲ擧ゲテ居ルト思フ。

職工ハ目下七十人、公休日一箇月二回(陰曆一日、十五日)、工賃ハ最高一箇月十六元、最低六元。(在蘇州岩崎領事報告)

○野草蔴等需要狀況(米國)

野草蔴用途 本邦輸出ノ蔴ニハ普通野草蔴(稻蔴)ト、花蔴(蘭草)ノ二種アリ、其他ニ繩製ノ螺旋蔴アリ。

野草並螺旋莖ニハ Rug ト Matting ノ二種アリテ、Rug ハバンガローノボーチ南部地方或ハ夏期ノ中流以下ノ家屋ノボーチ敷物トシテ用ヒラル。Matting ハ室内用ナルガ、主トシテ南部及夏期用ニテ中流以下ノ家庭向ナリ。其形狀ニハ左ノ種類アリ。

- 野草莖 9呎×12呎 8呎×12呎 6×12呎 6呎×9呎 54呎×90呎 4呎×7呎 3呎×6呎 27呎×54呎 18呎×36呎
- 芝 莖 9×11呎8呎 6呎×8呎8 3呎×5呎
- 同廊下用(Runner) 3碼×40碼
- 螺旋莖ノサイズハ野草莖ト同様
- 競争品 左ノ通り。
- 莖莖(Crex rug Deltax rug)
- Fiber rug(Crex Deltax Kemlark)

以上共ニ米國製ニテ支那産以外ノ外國品中ニハ殆ド競争品ナシ、最近一箇年間ノ消費見込數量確實ナル數量ヲ得ザルガ、一支那産 Matting ノ一九二六年輸入額ハ一、三一六、七四八平方碼一五五、二二三弗。最近流行ノ fiber rug ハ品質上等ニテ、毛絲等ニテ模様ヲ交織シアリ、價格ハ9×12小賣十二弗位 Crex 等ノ内國品モ fiber rug ニ浸食サレツ、アリテ七弗位、日本品ハ三弗半位ナルモ、品質劣等一年ニテ磨滅シ、模様モ不鮮明トナル、又花莖ハ特ニ薄クシテ床ツキ悪ク、靴底ニ付上ル事多シ。前記 fiber rug ハ耐久性ニ富ム上ニ、洗濯可能ニテ雑巾ニテ拭ヒ得ル利益アリ、高價ナレドモ購買力ノ増加シタル一般米人ハ優良品ヲ好ミ、需要激增シツ、アリ。近來東洋趣味ノ流行ニテ Oriental rug ノ購買力増加ニ依リ支那、近東圖案特ニ好マル。本品ノ主ナル外國産地ハ日本ニテ、其九割迄ハ神戸港ヲ通過ス、9×12ノ標準物三十萬枚ノ見當。

米國商務省統計表ニ依レバ、本邦ヨリノ一九二六年ノ輸入ハ

Matting	11,005,388	平方碼	293,105	弗
Rug 等	4,395,857		782,334	

仕向地ハ紐育五割、次デボルタイモア、費府、ニュー・オルレアンズ太平洋岸ノ順序ナリ。輸入期節 九月ヨリ三月迄ニテ一月以降ヲ最盛トス。取引ノ徑路 輸入商ヨリ各港ニ於ケル Jobber ニ引渡ス、又大口ハ百貨店或ハ「メイル・オーダー店」ニ直接販賣ス。

輸入商ノ代金取立方法 信用狀百貨店等ハ一覽拂(Sight D.P) 輸入商ノ取引慣行 輸入取引ノ例外トシテ輸入税金輸出商持ノ慣例アリ、即チ C.I.F. duty paid ナリ。輸入商ノ希望 輸出組合ヲ組織シ、前記取引條件ノ改善、價格ノ協定等ヲ見度シ、又綿絲ノ改良モ重要ナリ。將來ノ見込 Fiber rug トノ競争ニテ望ミ尠シ。取引上ノ弊害 前記税金輸出商持ハ輸出商側ニ税金ノ爲替換算上ノ危険多ケレバ、普通ノ F.O.B. 又ハ C.I.F. ニ變更スルコト、又本慣例ハ唱値競争低下ノ爲無理ニ税金換算率見込ヲ無暴ニ低メシメル原因トナリ。一方又本邦商人ノ米商ニ對スル屈服ナレバ協定シテ本慣習ヲ除ク要アル可シ。(在米、原大使館商務書記官報告)

○花莖類輸入狀況(印度)

花莖其他敷物類ノ印度輸入年額ハ一九二六―二七年中ノ總額四九七、五七九留比ニシテ、之ヲ前年度ニ比スレバ一〇四、九四九留比ノ増加ヲ示シ、其輸入國ハ主トシテ英國、支那、斯波及日本等デアル。一九二五―二六年中ニ就テ見ルニ日本品ノ輸入額一六四、七四九留比デアルカラ、全輸入額ノ四割二歩ヲ占メテキル譯

デアル。
 其需要ハ地方的ニ觀ルトキハ強チ然ラザルモ、全體カラ見テ一九二一―二二年以来逐年増加ノ形勢ヲ示シテ
 キル。即チ左ノ通り。(留比單位)

輸入先	年別	一九二一―三年	一九三―三年	一九三―四年	一九四―五年	一九五―六年
英國(諸領ヲ含ム)		一一二、九五五	一一一、〇一九	一一八、四九六	一一一、八八三	一四五、五七四
佛國		—	—	一、三七五	四七四	三一五
亞刺比亞(マスカ ット及オーマン)		二、三六九	七、二六二	一〇、一六四	四、二五八	一、二七九
彼支那		五四一	二、八九〇	二〇四	四、〇〇六	一、七四〇
日本		一四八、〇六一	一四三、三三四	一三四、四八五	一五三、四〇七	七八、七七九
日支		六二、五二三	六三、八〇九	一〇一、一三四	八〇、二二〇	一六四、七四九
其他		六一一	二、四五七	二、五四四	五八六	一九四
計		二一四、一〇五	二一九、七六二	二四九、九〇六	二四二、九五二	二四七、〇五六
總計		三二七、〇六四	三三〇、七八一	三六八、四〇二	三五四、八三四	三九一、六三〇

尙之ヲ地方別ニ見レバカルカタ、孟買、蘭頁各地方ハ何レモ需要増加シ居リ、カラチハ新開港地デアル丈
 ニ一九二一年頃ヨリ見テ約五倍ノ激増ヲ示シ居ルモ、マドラス地方ニ至テハ需要漸ク減退ノ状態デアル。詳
 細左ノ如シ。(留比單位)

輸入港	年別	一九二一―三年	一九三―三年	一九三―四年	一九四―五年	一九五―六年
-----	----	---------	--------	--------	--------	--------

カルカタ	一一三、五九七	一一二、一六〇	一一一、一六一	一一一、二八七	一一五、九四六
孟買	一九四、七三〇	一八三、四七二	二三八、四六一	二二二、七五九	二四五、八三〇
カラチ	四一九二	八七一五	一三八六七	一一一、五六	二〇、四七九
マドラス	五八、四七五	五二、六五四	五七、四三九	五二、六三八	四七、三三三

次ニ孟買へ輸入サレツ、アル敷物ハ主トシテ支那及日本製品デアルガ、是等ノ敷物類ノ輸入状況其他ニ付少
 シク述ベテ見レバ左ノ通り。

花苳 花苳ハ主トシテ支那及日本カラ仕向ケラレテキルガ、支那製花苳ハ一般商人間ノ氣受ヨシ。然ルニ
 本邦品ニ至ツテハ相當數量ノ輸入アルニ拘ラズ柄、模様竝大サガ限定セラレ居ルノミナラズ、品質モ粗惡デ
 アルガ爲、近頃デハ一般ノ氣受餘リ良好ナラズ、殊ニ無地物ハ全ク支那製品ニ市場ヲ左右サレテキルトノ評
 判ガアル。

コイルマツテイニング(棕梠靴拭又ハ敷物) 棕梠苳ハセイロン竝南印度産ノ原料ヲ以テ印度奥地デ製織セラ
 レ床敷ニ多ク用ヒラレテ居ル。殊ニ木炭ノ場合ハ響ヲ避クル爲之ヲ使用スルモノガ多イ、併シ之ハ工賃ガ安
 クテ作ラレ居ルノデ、他國ヨリノ輸入ハ差當リ見込ガナイ。但シ之ガ原料タル棕梠ハ少量ナガラマドラス港
 其他ヨリ國外へ輸出サレツ、アルカラ、我製造家ガ是等原料ノ安價仕入ノ途ヲ講ジ、加工品トシテ更ニ外
 國へ輸出ノ方策デモ樹テ得バ、一考ノ價值ガナイデモナカラウ。

バンブーマツテイニング 竹筵ノ製産地ハ南印度東海岸一帯ノ地方ガ主デアツテ、之ハ奥地ニ於ケル農民
 ノ小屋ノ壁又ハ屋根ニ使用サレテキルガ餘リ大シタ需要ハナイ。

タードマツテイニング 之ハ椰子ノ葉デ造ラル、モノデ、グジエラツト竝北部印度地方ニ於ケル農民乃至中
 産階級以下ニ用ヒラル、モノデ、住家又ハ床敷ニ用ヒラル、モノデアル。

リノリユウム 之ハ殆ド歐米諸國ヨリノ輸入ヲ仰イデキル、孟買附近デ少量製産サレテモキルガ、未ダ規

摸幼稚デ全ク問題トナラズ。

リノリユームノ使用ハ大體ニ於テ他國ト相違ナイガ、回教徒ノ寺院ナドモ廣ク使用サレテキル。一般文化ノ進展ニ從ヒ、舊來土間ヤ床ニ起臥セルノ舊慣追々廢リ、椅子乃至腰掛ヲ使用スルニ至レル爲、花菴其他此種敷物ノ需要漸次減退ノ兆が見エ、尙花菴敷ノ床ハ衛生上弊害ヲ伴フモノナリトノ理由ノ下ニ使用ヲ避クベク官憲デモ勸告シテキル模様モアルノデ、從來ノ如キ床ヲ莫座類デ被覆セルガ如キ風ハ漸次改メラレ、單ニ花菴トシテ敷用セラル、ニ至ラントシテキル、殊ニヒンドウー及モハメダンニ於テ然リデアル。而シテ之ガ對抗品トシテハ燒物マイル、セメント等ガ段々利用サル、傾向ニアル。夫デ花菴ノ需要ハ現在輸入統計ノ數字カラ見レバ漸増ノ事實ヲ示シテキルガ、單ニ裝飾用等ニナル傾向モアリ、實用向トシテハ支那製ノ方ガ耐久力ノ點デ評判ガ良ク、又極端ナ例デアアルガ日本カラ輸入シタモノモ支那製トシテ賣ラレルコトモアル相デアアル。尙支那民族ガ自立ノ運動ニ對シ相當英國ヲ苦シメ居リ、其運動モ追々効ヲ奏シテ居ル爲、印度ノ民衆心理ニハ支那ノ製品ニサヘ好感ヲ懷クヤウニナツタ傾向モアルノデ、日本品ノ立場トシテハ決シテ油斷ノ出來ヌ時期ニ入テ來テキル。故ニ當ニ輸入統計ニノミ頼タ丈デハ核心ヲ攪ミ得ザル虞ガアル、故ニ現今ハ兎モ角將來ノ需要ニ懸念サル、節ガナイデモナイ、現在之ガ需要ハ小賣商ノ如キ店舗殊ニ布類ヲ商内ウ小賣商店又ハ下層民ノ需要ヲ充シテキルニ過ギナイ。

支那製品ニハ大體無地ガ多ク、品質ハ前述ノ通り比較的耐久力ニ富ンデキルガ、我製品ハ柄模様モノ多ク一見出來上リハ綺麗デモ、耐久力ニ乏シイトノ非難ガアル。

然ル上支那製品ハ我品ニ比シ安値デ賣ラレテキル爲兎角需要ハ之ニ傾キ勝デアル。當地市場商人ノ話ニ依レバ、日本菴ハ三種ニ之ヲ區分シ輸出サレテキルガ、第一種及第二種ハ何レモ上物デ印度ヘノ輸入ハ高値ノ爲勢ヒ第三種品即チ三等品ガ最多數ヲ占メテキルガ、其品質ガ全ク粗惡デ不評ノヤウデアアル。併シ一等又ハ二等品ノ如キ上物デ、今少シク値段ノ勉強サエ出來レバ需要ハ充分潜在シテキルト云フ。又當市ノ問屋筋デ謂フ處ニ依レバ、日本品ハ依然見本ト現送品ニ相違ガアル爲、隨分苦情ガ多イ、而モ二回

三回ト度數ヲ經ルニ連レ品質ガ下落スル傾向ガアル。之ハ買値ノ下落ニモ基因スル場合モアラウガ、一旦取引契約ヲシタ商品デ、値段安ヲ理由トシテ見本ニ甚シク劣ル商品ヲ積出コトハ絶對ニ禁物デアアル、苟モ輸出者ガ註文品ヲ積出ニ際シテハ、十分品質ノ統一ニ重キヲ置キ、且價格ニ亂高下ノナキヲ期スベキデアアル云々。

現在當地ニ輸入サレツ、アル花菴ノ大サハ左ノモノガ多イ。

巾三十六吋 長サ七十二吋 巾三十六吋 長サ六十八吋 巾三十四吋半 長サ六十八吋

右ハ何レモ五十一枚一卷トシ、見當相場ハ一枚C・I・F&C・I九安乃至十安位デアアル。

尙最後ニ附記シ度ハ回教徒ガ祈禱スル際使用スル菴トシテ、マツサラート稱スルモノ（大サ巾二呎長サ四呎）デ、値段C・I・F&C・I六、七安ノモノガ相當本邦ヨリ輸入サレテキルガ、今後共相當輸入ノ可能性ヲ存シテキル。

床敷菴ハ多ク支那ヨリ輸入セラレテキルガ、一卷四十「ヤール」値段一卷十三弗近邊デアアル、是等支那品ハ殆ド甲板積トシテ來ルノデ運賃モ安ク、多少航海中損害ヲ來スコトモアルガ餘リ苦情ヲ聞カナイト云フ。

（在孟買、玉木領事報告）

第七節 花菴及野草菴ニ關スル特許竝新案登録

斷片織機緯條供給裝置

特許第七〇六八三號

第八十八類

二、緯入裝置及緯條供給裝置

出願 大正十四年十一月八日
公告 大正十五年七月十九日
特許 昭和二年一月十五日

特許權者（發明者） 栃木縣 東 野 長 次

特許請求ノ範圍 本文所載ノ目的ヲ以テ本文ニ詳記シ且別圖ニ示ス如ク上部ニ適量宛ノ緯條ヲ送致落下セシムヘク爲シタル適宜ノ裝置ヲ爲シタル構杵ニ縱滑溝ト其ノ側緣部ニ上端カ互ニ左右ニ開擴シタル軌條トヲ有スル二個ノ對杵ヲ具ヘ該杵ノ縱滑溝内ニ夫々摺動子ヲ裝入シテ之ニ三角形版ヲ關着シ該版ノ左右ニ夫々下

端ヲ關着シ上部ハ各支臂其ノ他適宜ノ機構ニ依リ軌條ニ導カルヘク爲シ且上端ヲ互ニ少許内方ニ折リタル開閉版ヲ裝置シ摺動子ニ支持セシメタル腕杆ニ對シ適宜「カム」ノ作用ヲ及ホシ徐々ニ該開閉版ヲ上昇シ漏斗狀ニ開口シテ緯條ヲ受領セシムルト同時ニ之ヲ急速度ニ落下セシメ途中開口部ヲ閉鎖シテ下端ヲ反對ニ開放セシメ落下ノ反動ニ依リテ内部ニ受領セル緯條ヲ經條ノ開口面ニ投下スヘクシテ成ル斷片織機緯條供給裝置(圖面及説明略)

特許第七〇九三八號

第八十八類

二、緯入裝置及緯條供給裝置

出願 大正十四年九月十五日
公告 大正十五年十一月五日
特許 昭和二年二月四日

發明者 高岡市 關 次三郎

特許權者 富山縣 瀬 戶 理 八

特許請求ノ範圍 本文ニ詳記シ且別紙圖面ニ示ス如ク原料葉收容箱ノ下底ニ裝置セル一對ノ廻轉轉子及該箱内ニ作用スル押壓杆トヨリ葉片ヲ箱内ニ押下挾送シ其下方ニ裝置セル葉適鍵ヲ先端ニ設ケタル二個ノ葉摘杆ノ中程ニ裝着セル作動杆ノ往復動ニヨリ葉摘杆ノ一部ヲ左右ニ摺動シテ葉適鍵ヲ開閉セシメ以テ葉片ノ一端ヲ把持シ經系間ニ挿入シ得可クセル筵織機(圖面及説明略)

斷片機自働給緯裝置

特許第七一一四一號

第八十八類

二、緯入裝置及緯條供給裝置

出願 大正十四年十二月三十日
公告 大正十五年十月十五日
特許 昭和二年二月二十四日

發明者 金澤市 園 井 德 松

同 園 井 乙 松

同 園 井 由 太 郎

特許權者 同 本 江 他 吉

特許請求ノ範圍 本文所載ノ目的ヲ以テ本文ニ詳記シ且別圖ニ示ス如ク緯條捕捉杆ヲ關着シタル搖動杆ノ軸ニ其レト別個ニ搖動スルL字形槓杆ヲ固着シ又其内端ニ依リ押サルヘキ搖動杆ヲ遊嵌スルト共ニ該搖動杆ノ先端ニ内面ニ突片ヲ具ヘ且揆條ニ依リ内方ニ牽引スヘカラシメタル弧狀釣形杆ヲ裝シ其先端ト該L字形槓杆ノ他端トヲ離合自在ナラシムルト共ニ緯條供給通路ニ添ヒ之ニ一端ヲ突出スヘカラシムヘク取付ケタル槓杆ノ他端ニ承片ヲ具ヘテ前記弧狀釣杆ノ内面ニ作用スベカラシメタル斷片織機自働給緯裝置(圖面及説明略)

真田「マツト」編成法

特許第七一一六一號

第八十九類

一五、花蕊

出願 大正十四年十二月二十九日
公告 大正十五年九月一日
特許 昭和二年二月二十四日

特許權者 (發明者) 岡山縣 浮 田 治 一 郎

同 神戸市 小 橋 須 平

特許請求ノ範圍 前記ノ目的ニ於テ本文ニ詳記セル如ク任意ノ板面ニ適宜ノ方眼線ヲ劃シ各線ノ交叉點ニ多數ノ釘ヲ挿入又ハ打チ得ヘクセル釘盤上ニ任意ノ模様圖形ヲ畫ケル型紙ヲ貼着シ模様圖形ニ沿ヒテ任意ニ釘ヲ型紙上ヨリ釘盤上ノ孔ニ挿入シ又ハ打付ケテ任意ノ型盤ヲ形成セシメ該型盤上ノ釘側ニ沿ヒテ麥稈真田又蘭草真田ヲ纏絡シ型紙ノ模様圖形ニ準據シテ編成スルコトヲ特徵トスル真田「マツト」編成法(圖面及説明略)

筵織機經條送出裝置

特許第七一三二一號

第八十八類

八、斷片織機雜部分裝置

出願 大正十五年三月十三日
公告 同 年十二月一日
特許 昭和二年三月十日

特許權者 (發明者) 石川縣 高 田 嘉 造

特許請求ノ範圍 本文所載ノ目的ヲ以テ本文ニ詳記シ且圖面ニ示ス如ク踏挺ト箴棒トヲ橫杆ニ依リ關聯セシメタル筵織機ニ於テ經掛轉子「ウオーム」及「ウオーム」輪ニ依リ齧合ハシメ「ウオーム」ニハ鋸齒及押

爪支持棒ヲ裝置シテ踏挺ト關聯セシメタル橫杆ニ押爪支持棒ヲ扛舉スヘク爲シタル衝杆ヲ裝置シ且該衝杆ノ摺動面ニ斜縁及上端カ前方ニ傾斜セル廻避路ヲ裝置シタルコトヲ特徴トスル經條送出裝置(圖面及說明畧)

吹織機ノ葉供給裝置

特許第七一四四九號 二、緯入裝置及 緯條供給裝置 出願 大正十五年四月二十二日 昭和二一年三月二十二日 特許 鳥取縣 大 西 久 福

特許請求ノ範圍 前文記載ノ目的ニ於テ本文ニ詳記スル如ク吹織機ノ兩側ノ臺木(1)ノ前後ニ棒柱(2)ヲ樹テ之レニ上下ニ動搖スル葉承函(3)ヲ架シ其上方ニ切缺(7)(8)ヲ有スル版(9)ヲ固定シ之レニ對向シテ切缺(10)ヲ有スル葉分離版(11)ヲ摺動杆(13)ノ先端ニ連ネテ進退スヘクナシタル葉分離裝置ト兩端ニ嘴(20)ヲ具ヘ之ニ互ニ連結セル環(24)ヲ挿嵌スル嘴體(21)ヲ函體(19)ニテ緩カニ保持シテナル葉摘出器ヲ棒柱ニ架シタル軌條(16)ニ輪(18)ニテ架シ此摘出器ヲ織機ニ樞着セル振杆(27)ニヨリ前後ニ走行スベクナシタル葉摘出裝置トヲ設ケテ成ル吹織機ノ葉供給裝置(圖面及說明畧)

俵編成機

特許第七一四五三號 二、緯入裝置及 緯條供給裝置 出願 大正十五年一月十五日 昭和二一年十月二十七日 特許 兵庫縣 室 田 幸

特許請求ノ範圍 本文所載ノ目的ノ如ク葉條投入ノ兩側ニ各反對方向ニ搖動スル搖動板ヲ相對向シテ傾斜的ニ樞着シ各搖動板ニ之レト並行ニ數條ノ誘導杆ヲ取リツケ各誘導杆ヲ投入口内ニ兩側ヨリ嵌入セシメタル裝置ヲ有スル俵編成機(圖面及說明畧)

斷片織機開口裝置

特許第七二二四五號 一、斷片織機 開口裝置 出願 大正十四年十月二十四日 昭和二一年一月二十六日 特許 同 同 年六月十一日 發明者 金澤市 園 井 德 松 同 園 井 乙 松 同 園 井 由 太 郎 特許權者 同 本 江 他 吉

特許請求ノ範圍 本文所載ノ目的ヲ以テ本文ニ詳記シ且別紙圖面ニ示ス如ク上端ヲ經絲ノ排列面ニ交叉セシメ箴ニ押サル、緯條ノ抵抗ニ依リ搖動スヘク爲シタル「フオウク」ヲ杼道ノ正面ニ關着シ其下端ニ連結セル橫杆ニ依リ該橫杆ノ正面ニ搖動スヘク軸支セル橫杆ヲ壓セシムヘク爲シ而シテ該橫杆ト適宜係合シテ左右兩方向ニ引違トナリ往復スヘキ上下二個ノ移動杆ヲ定所ニ支持セシメ綜就吊杆ト連結シ原動軸ノ「タバット」ニ依リ運動スヘキ搖動杆ト上記移動杆ト適宜連結シ綜就開口ヲ爲シ緯絲ノ供給ナキ場合ニハ前ノ開口ヲ其儘保持シテ變更セサラシムルコトヲ特徴トスル斷片織機開口裝置(圖面及說明畧)

插 蘭 桿

特許第七二九一六號 第八十八類 七、插竹及杼 出願 大正十五年九月十六日 昭和二一年四月二十九日 特許 同 同 年八月八日 發明者 岡山市 荒 木 優

特許請求ノ範圍 本文ニ詳記シ且ツ別紙圖面ニ示スカ如ク一條ノ金屬線ヲ屈曲シテ劍先狀ノ棒線(3)ヲ設ケ其内部ニハ先端ヲ斜面(6)ト成シ内側ニ齒狀版(7)ヲ設ケタル突版(5)ヲ設ケ該突版ノ上方ニハ下面ニ三角形ヲ成セル導版(4)ヲ設着シタル突版(2)ヲ裝着シ突版(5)ハ導版(4)ノ下面トノ中間ニハ導溝ヲ形成セシメタル插蘭桿(圖面及說明畧)

葦類ヲ織ル織機

特許第七二九六二號 第八十八類 九、特殊斷片織機

出願 大正十五年七月二十三日
西曆 千九百二十五年七月二十四日
優先權 主 張 (佛國出願)
公告 昭和二年五月十三日
特許 同 昭和二年八月十二日

特許權者 (發明者) 佛 國

パウル、ド、ガルチア、カルメート

特許請求ノ範圍 本文所載ノ目的ニ於テ本文ニ詳記シ別紙圖面ニ示セル如ク經條及葦條カ水平ニ配置セラレ之等帶狀トシテ何レモ葦ヲ裂キ開キ帶狀ニ形成シタルモノヲ使用シ經條ハ織機ニ至ル前ニ帶狀ニ變形セラレ、モ緯條ハ織機ノ兩側ニ配置セラレタル二箇ノ緯條準備装置ニヨリ經條ノ間ニ挿入セラル、前ニ直接帶狀ニ變形セラルヘクナシタル葦又ハ類似材料用織機 (圖面及說明書)

蘭條供給裝置

特許第七三三六六號 第八十八類 二、緯入裝置及緯條供給裝置

出願 大正十五年九月十一日
公告 昭和二年五月十一日
特許 同 昭和二年九月十二日

特許權者 (發明者) 福岡縣

高 井 良 富 藏

特許請求ノ範圍 本文所記ノ目的ニ於テ本文ニ詳記シ圖面ニ示ス如ク狹棟狀開口部ヲ成形スル機枠ニハ其ノ開口部ニ臨ンテ蘭條ヲ刺貫クヘキ技針ヲ有スル針盤ト技盤ニ附隨スル拒止杆ト針盤ニヨリ運ハレタル蘭條ヲ一條宛受領スヘキ針杆トヲ原動盤ニヨリ夫々關係的運動ヲ爲サシムヘク装着シ若シ針盤ニヨリ運ハレタル蘭條カ二條以上ナル場合ニハ針盤ノ蘭條カ全ク針杆ニ運ヒ去ラル、迄針盤ニ殘存スル蘭條ト拒止杆ノ作用ニヨリ針盤ノ廻轉ヲ一部停止スヘクナシタル蘭條供給裝置 (圖面及說明書)

斷片纖維挿込ノ際不入ニヨリ織機ノ部分的自動停止裝置

特許第七三三六八號 第八十八類 八、斷片纖維機 雜部分裝置

出願 大正十五年九月三十日
公告 昭和二年五月九日
特許 同 昭和二年九月十二日

特許權者 (發明者) 岡山市

荒 木 優

特許請求ノ範圍 本文ニ詳記シ且ツ別紙圖面ニ示ス如ク斷片纖維ヲ通過セシムヘキ位置ニ設備シタル滑車 (1)ニ連接セル曳線 (3)及 (5)ト搖版 (4)及 (6)トノ關係ニヨリテ電流ヲ開閉セシメ弁 (13)ト阻止片 (14)ヲ定着シタル摺動桿 (16)トヲ以テ釣桿 (19)ヲ擺動セシムヘクナシタルコトニ依リテ斷片纖維挿込ノ際不入ニヨル織機ノ部分的自動停止裝置 (圖面及說明書)

敷 物

昭和 實用新案出願公告第三六號 第八十九類 一五、花筵

願書番號 大正十五年第六四八〇號
出願 同 昭和二年三月二十五日
公告 同 昭和二年一月十七日

出願人 考案者 岡山縣

河 合 政 夫

登錄請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク地緯條 (b)中ニ之ト異色ノ橫樣緯條 (c)ヲ配シ之等ハ各自ニ經條 (a)ヲ其間ニ綯ヒ込ミテ編織シ模様緯條 (c)ノ一端又ハ兩端ハ適當寸ニ切斷シ直角ニ折曲ゲテ經條 (a)ニ添加シ共ニ他ノ緯條間ニ綯ヒ込ミテ支持セシメタル敷物ノ構造 (圖面及說明書)

經絲張力調節裝置

昭和 實用新案出願公告第九七號 第八十八類 八、斷片纖維機 雜部分裝置

願書番號 大正十五年第二三三二號
出願 同 昭和二年二月六日
公告 同 昭和二年一月二十日

出願人 考案者 岡山縣

相 賀 八 重 次

登錄請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク織機ノ上部ニ橫架ス上下二橫杆 (3) (3)ニ於ケル上部橫杆ハ其ノ前側邊ヲ前方ニ突出セシメ其ノ底面ニ滑片ヲ附着シ下部橫杆ハ其後側邊ヲ後方ニ突出セシメ其ノ頂邊ニ滑片ヲ附着シ上下橫杆ノ兩側ハ支杆 (3)ニヨリ連結セラレ該支杆ノ上部ハ支柱 (2)ニ樞着シ下部ハ兩側板 (5) (5)ヲ當

テ挾ミ側板ノ間ニ動片(4)ヲ軸架シ動片ノ中心ニ螺杆(6)ヲ挿通シ螺杆ノ一端ニ把手(6')ヲ付シテ成ル經絲張力調節裝置ノ構造(圖面及說明畧)

筵織機插緯杆

昭和實用新案出願公告第三四八號 第八十八類 七、插竹及杆
願書番號 大正十五年第二五一〇號
出願人 富山縣 小 竹 權 吉
昭和二年一月二十七日

登錄請求ノ範圍 圖面ニ示セル如ク杆身(1)ノ先端附近ノ上部ニ軸(3)ヲ中心トシテ埋メ込タル有底圓筒(2)内ニ減摩球(5)ヲ配置シ其上ニ圓鏢(6)ヲ緩ク載置シ帽子形金具(9)ト圓筒(2)トニ上下ヲ嵌合シタル圓筒(7)ト該圓筒ト軸(3)トノ間ニ挿入シタル轉子(8)トヲ上記圓鏢(6)ノ上ニ架乘セシメタル構造ノ筵織機插緯杆(圖面及說明略)

七島蘭分割機

昭和實用新案出願公告第三五五號 第六十七類 二四、麥稈蘭草分割器
願書番號 大正十五年第六二六九號
出願人 考案者 愛知縣 板 野 時 次 郎
同 静岡縣 山 田 滿 造
昭和二年一月二十七日

登錄請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク挺杆(7)ヲ外端ニ定着セル旋動申(9)ニ植定シタル串軸(12)ニヨリ蝶着セラル、蝶鉸(13)ノ先端ニ「ゴム」又ハ皮革製ノ挾止片(3)(3)ヲ具ヘ挺杆(7)ヲ支承スヘキ阻片(10)ノ内面ニ螺旋彈條及ヒ「ゴム」片ヨリ成レル載動緩和裝置ヲ有セシメタル七島蘭分割機ノ構造(圖面及說明畧)

筵織機耳切裝置

昭和實用新案出願公告第五九三號 第八十八類 八、斷片織機雜部分裝置
願書番號 大正十五年第二一九三號
出願人 考案者 岡山縣 白 髮 弘
昭和二年二月五日

登錄請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク杆(1)ノ一端中央部ヲ縱ニ切缺キ長溝ヲ造リ溝ノ兩側ニ對向スル長短二杆(1')(1'')ヲ形成シ各杆ハ溝ニ沿フ部分ノ片面ヲ斜面トナシ溝底ニ切刃(2)ヲ斜メニ固着シ短杆(1')ノ頭部ニ長圓形杆(3)ヲ固定シ其先端ヲ溝上斜メニ外方ヲ突出セシメタル筵織機耳切裝置ノ構造(圖面及說明略)

筵織機製品繰出裝置

昭和實用新案出願公告第五九四號 第八十八類 八、斷片織機 雜部分裝置
願書番號 大正十五年第二九四三號
出願人 考案者 岡山縣 佐 藤 名 一
昭和二年二月五日

登錄請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク筵織機ノ前部ニ架設スル經系纏卷軸(1)ノ一端ニ齒輪(2)ヲ装着シ機枠ノ後部ニ架設スル軸(3)ノ一端ニ装着スル「フリーホイール」(4)ノ外齒輪(4')ト鎖條(5)ニヨリ連結シ「フリーホイール」(4)ノ内齒輪(4'')ヲ軸ニ固着シ内齒輪ヲ衝動スル突杆(4'')ヲ外齒輪(4)ニ付着シ軸(3)ノ下部ニ軸(7)ヲ並架シ齒輪ヲ連結シ機枠前部ノ下方ニ轉軸(8)(9)(10)ヲ並架シ其齒輪ヲ連結シ後部轉軸(7)ト前部轉軸(10)ヲ鎖條ニテ連結スル筵織機製品繰出裝置ノ構造(圖面及說明略)

敷物

昭和實用新案出願公告第九三一號 第八十九類 一五、花筵
願書番號 大正十五年第一一一〇號
出願人 考案者 神戸市 岡 島 千 秋
昭和二年二月十七日

登錄請求ノ範圍 圖面及說明ニ示ス如ク麥稈眞田緯條(1)ト藁、蘭其他ノ野草ヲ集束シテ連續セシメタル緯條(2)トヲ重ネテ一經絲開口ニ織込ミ麥稈眞田ヲ表面ニ平列セシメタルコトヲ以テ特徴トスル敷物ノ構造

(圖面及説明略)

敷物

昭和實用新案出願公告第一〇七一號 第八十九類 一五、花莖

願書番號 大正十五年第六九三九號
出願 昭和二年三月三十一日
公告 昭和二年二月十九日

出願人 考案者 岡山縣 近藤 勇 一郎

登録請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク蘭草其他同効資料ヲ緯トスル筵ニ於テ中央部ノ經條ヲ二本並列セシメ其他ノ部面ニ於ケル經條ヲ三本並列セシメ兩緣邊ヨリ挿入スル緯條ハ中央部經條ノ綜統ニヨリ其末端ヲ裏面ニ表ハス構造ノ敷物(圖面及説明略)

經木製敷物

昭和實用新案出願公告第一五六九號 第三百三十五類 二五、家具雜

願書番號 大正十五年第一八九五〇號
出願 昭和二年九月六日
公告 昭和二年三月十日

出願人 考案者 神戸市 南 信 繁

登録請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク經木ヲ以テ編成セル版(1)ノ裏面全體ニ防水紙或ハ布(2)ヲ貼着セルモノヲ適宜ノ形狀ニ截斷シソノ緣邊周圍ニ布片(3)ヲ被覆縫着シ緣邊ニ裝飾ヲ施シ版上ニ適宜ニ繪ヲ描キタル經木製敷物ノ構造(圖面及説明略)

筵織機用插緯桿

昭和實用新案出願公告第一六〇五號 第八十八類 七、插竹及杼

願書番號 大正十五年第二四九號
出願 昭和二年一月九日
公告 昭和二年三月十日

出願人 考案者 佐賀縣 坂本 岩 吉

登録請求ノ範圍 圖面ニ示セル如ク一枚ノ金屬板ノ一端ヲ折曲ケテ匙形鉤(1)ヲ形成セシメ他端ハ切割リテ三條トナシ中央ノモノ(3)ヲ折曲ゲテ匙形鉤ト對向セシメ兩者間ニハ心軸(6)ニヨリテ圓管(7)ヲ軸架セ

シメ他ノ二條ニヨリテ長方形ノ棹桿嵌入孔(4)ヲ形成セシメタル插緯桿頭部ニ棹桿ヲ嵌入固定シテナル筵織機用插緯桿ノ構造(圖面及説明略)

敷物

昭和實用新案出願公告第一七一八號 第八十九類 一五、花莖

願書番號 大正十五年第一五七三五號
出願 昭和二年七月二十日
公告 昭和二年三月十四日

出願人 考案者 兵庫縣 坂井 七 八 九

出願人 考案者 神戸市 中島 英 一郎

登録請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク絹布綿布毛布襪襪等ノ布片(1)ノ一條又ハ數條ニ撚絲(2)ヲ捲絡シテ形成セル紐條(3)ヲ渦狀ニ卷回シ其接合部ヲ縫絲(4)ヲ以テ縫綴シテ成ル敷物ノ構造(圖面及説明略)

筵織機插緯裝置

昭和實用新案出願公告第二二五二號 第八十八類 二、緯入裝置及緯條供給裝置

願書番號 大正十五年第一〇八九五號
出願 昭和二年五月二十日
公告 昭和二年四月四日

出願人 考案者 德島縣 青木 右三郎

登録請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク凹溝(12)内ヲ廻轉移働スル轉子(16)及小車(15)ヲ板金(15)ニテ挾着セル摺動車(14)ヲ設ケ且摺動溝(9)ノ上下ニ轉子(11)ヲ装着シ彈條(18)ヲ有スル當桿(17)ヲ適宜ノ位置ニ螺着セシムヘクセル樋函(6)内ニ帶金(2)ヲ上下摺動面ニ銜着セル插緯桿(1)ヲ摺動セシムヘクシテ成レル筵織機插緯裝置ノ構造(圖面及説明略)

疊上敷止め金具

昭和實用新案出願公告第二三三六號 第四百十類 七、敷物及布帛止具

願書番號 大正十五年第一七〇六四號
出願 昭和二年八月十日
公告 昭和二年四月四日

出願人 考案者 福井縣 長井 德藏

登録請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク眞鍮板ヲ直角ニ屈折シテ上敷部(1)脚部(2)ヲ形成シ該脚内側ニ撥條(3)ヲ附スルコトニヨリテ之ヲ固定セシムヘクナシタル疊上敷止金具ノ構造(圖面及説明略)

「クレツクス」用緯挿

昭和實用新案出願公告三一六五號 第八十八類 七、挿竹及籽 願書番號 大正十五年第一七一七號 出願人 考案者 岡山縣 植木 稔 同 小川 鹿市 同 同

登録請求ノ範圍 圖面ニ示スガ如ク兩端ニ顎片(d)ヲ軸着シ該片山ノ一點ニ於テ器杵(a)ニ軸(c)着セラレ且ツ中央部ニアル發條(g)ニヨリテ常ニ一側方ニ引キ寄せラルル様ニ構成セラレタル咬持板(e)ヲ有スル「クレツクス」用緯挿ニ於テ咬持板ノ兩端部ノ側方ニ突出部(h)ヲ設ク之ヲ箴框内ノ突起(j)ト衝突セシムベク構成シタル構造(圖面及説明略)

斷片織機ノ緯入裝置

昭和實用新案出願公告第三三八三號 第八十八類 二、緯入裝置及 願書番號 大正十五年第二四九三九號 緯條供給裝置 出願人 考案者 鳥取縣 大西 久福 同 同

登録請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク機杵(2)ノ上ニ管(4)ヲ固定シ該管内ニハ一端ニ鉤片(7)ヲ具ヘ他端ニハ針金繩(8)ヲ連結セル杆(9)ヲ挿入セル内管(3)ヲ挿入シテ互ニ摺動シテ進出後退スベク設ケ針金繩(8)ハ機杵(2)ニ取附ケタル導管ヲ通り更ニ覆版(14)内ニ於テ左右ニ間歇的ニ回轉スル回轉胴(13)ノ溝(12)内ニ卷キ付ケ其先端ヲ之レニ固定シ設ケテ成ル斷片織機ノ緯入裝置ノ構造(圖面及説明略)

敷物

昭和實用新案出願公告第三七一八號 第八十九類 一五、花莖 願書番號 大正十五年第一二六七二號 出願人 考案者 神戸市 中村 保次 同 同

登録請求ノ範圍 圖面及説明ニ示ス如ク藁藁其他纖維ノ集束條ヲ芯條(1)トシテ布片(2)ニヨリ其ノ縁ノ合セ目ガ芯條ノ長サノ方向ニ並行スル如ク被覆セシメ絲條(3)ヲ捲纏シテ成ルモノヲ緯材料トシ經絲(4)ニ織込ミテ成ル敷物ノ構造(圖面及説明略)

敷物

昭和實用新案出願公告第三七三八號 第八十九類 一五、花莖 願書番號 大正十五年第一七七六三號 出願人 考案者 堺市 山田 恒太郎 同 同

登録請求ノ範圍 圖面説明ニ示ス如ク麻糲糸其他強韌ナル二條ノ紐ヲ並行セシメ之レヲ芯トシ之レニ布片ヲ紐狀トナシタルモノヲ交互ニ懸ケ互シテ組紐ヲ構成シ之レヲ捲曲シテ所要ノ形狀トナシ組紐ノ隣接部ヲ騰縫セル敷物ノ構造(圖面及説明略)

吹織機ノ藁分離裝置

昭和實用新案出願公告第三九四七號 第八十八類 二、緯入裝置及 願書番號 大正十五年第一七八九〇號 緯條供給裝置 出願人 考案者 尼崎市 大西 久福 同 同

登録請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク下方ニ藁受函(21)ト上方ニ藁支持環(22)ヲ設ケタル杵(2)ノ面ニ切缺(3)(31)ヲ有スル版(4)ヲ取附ケ此版ニハ送回齒輪(6)ヲ有スル鋸齒輪(5)ヲ切缺(31)ニ臨マシメテ軸(7)ニテ取附ケ此鋸齒輪(5)ヲ三方ヨリ圍ミ鋸齒輪(5)ニ接スル凸出部(13)ト彎曲版(14)ヲ具フル摺動版(9)ヲ押引スル如ク版(4)上ニ取附ケ此摺動版ニハ角軸(15)ト爪ノ後端ノ間ニ卷彈線ヲ裝シ常ニ眞直ノ位置ヲ保ツ

傾向ヲ持タシメタル送爪(16)ト先端カ鋸齒輪(5)ノ面ニ接シ後端ヲ栓ニテ支ヘ彈線(20)ニテ引キタル藁送片(17)ヲ軸(18)ニテ樞着シ設ケテ成ル叭織機ノ藁分離装置ノ構造(圖面及説明略)

叭織機ノ藁挿装置

昭和實用新案出願公告第三九五〇號 第八十八類 二、緯入裝置及緯條供給裝置 願書番號 大正十五年第一八〇六七號 出願 昭和二一年五月二十六日 公告 昭和二一年五月十日

出願人 考案者 尼崎市 大 西 久 福

登録請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク機枠(1)上ノ杼函(2)ニ二本ノ杼(3)ヲ納メ其後端ヲ間歇的ニ左右ニ回轉スル軸(8)ヨリ關聯シ回轉スル鎖帶(7)ニ取付ケ杼函(2)ノ前端ニ藁受杆(11)ト先端カ交叉セル樞回版(13)(18)ヲ設ケ此樞回版(13)ノ後端ハ針金(15)ニテ藁立函(16)ニ軸着セル版(17)ニ連結シ而シテ杼函(2)ノ前方ニ藁受版(18)ト藁挿杆(19)ヲ設ケ此藁挿杆(19)ハ下端ヲ樞着シ中央ハ彈線(20)ニテ下方ニ引キ上端ハ細杆(21)ヲ以テ根杆(23)ノ先端ニ緩挿シ連ネ振杆(23)ノ下端ハ長溝(24)ヲ穿チ偏心軸(25)ニ挿入シ設ケタル叭織機ノ藁挿装置ノ構造(圖面及説明略)

七島分割器械

昭和實用新案出願公告第四一七五號 第六十七類 二四、麥桿蘭草分割器 願書番號 大正十五年第一七四三一號 出願 昭和二一年五月十六日 公告 昭和二一年五月十六日

出願人 考案者 大分縣 小 野 鐵 之 助

登録請求ノ範圍 圖面ニ示スカ如ク架構ニ於ケル上杵(10)ノ相對スル内側中部ニ導溝ヲ對設シ之ニ摺動板(11)ノ兩側緣ヲ嵌入シ該板ニハ挾咬部(13)及取附部(13)ヲ有スル固定板ト可動板(14)トヨリ成リ且ツ彈線(16)ニヨリ常ニ其先端部ヲ閉塞スベクセル挾咬金具ヲ固定シ導溝ノ兩端ニ於テ杵(10)ニハ轉子(19)及(20)ヲ裝置シ踏杆ノ踏下ニヨリ之ニ關聯スル「ベルクランク」連杆及移動杆ヲ介シテ摺動板ヲ移動セシメ其前進及後退工程ノ終リニ於テ挾咬金具ガ轉子(19)及(20)上ニ座駕セル時ノミ自動的ニ開口セシムヘクセル七島分割

器械ノ構造(圖面及説明略)

敷物

昭和實用新案出願公告第四三二五號 第八十九類 一五、花蕊 願書番號 大正十五年第一二七五六號 出願 昭和二一年五月十九日 公告 昭和二一年五月十九日

出願人 考案者 神戸市 牧 野 兼 太

登録請求ノ範圍 圖面及説明ニ示ス如ク緯條(3)ヲ緯條(2)ト同列ニ織込ミ模様ヲ現スニ當リ緯條(3)ヲ環耳(3)ニヨリ緯條(2)ノ環耳(2)ニ懸合セ模様ノ各兩端部ハ(3')(3)ノ如ク環耳トナシ其端ハ兩環耳ノ中間部分ニ於テ組織中ニ挿込ミ解舒ヲ防止スヘクシタル敷物ノ構造(圖面及説明略)

絲掛木自動廻轉製筵機

昭和實用新案出願公告第四三七九號 第八十八類 八、斷片織機 願書番號 大正十五年第二〇二一七號 出願 昭和二一年五月十九日 公告 昭和二一年五月十九日

出願人 考案者 大分縣 江 隈 軍 治

登録請求ノ範圍 圖面及説明ニ示ス如ク絲掛木(ハ)ニ「ラツチエツト」齒車(ホ)ヲ固着シ該齒車ト齒ノ向キヲ反對トナシタル齒車(ヘ)ヲ齒車(ホ)ニ固定シ又振動シ得ヘキ腕(チ)ニ爪桿(リ)ヲ關着シ其爪(ヌ)ニヨリ齒車(ホ)ノ齒ヲ引掛ケシメ又腕(チ)ニ關着セル臂(ル)ニ爪桿(ヲ)ヲ關着シ該爪桿ヲ軸(ワ)ニヨリ支持セシメ且其爪(カ)ニヨリ齒車(ヘ)ヲ引止メシメ彈機ニヨリ爪桿(ヲ)ヲ牽引セシメ又踏木(タ)ニ調節桿(ラ)ト起動桿(ム)トヲ聯動セシメ起動桿(ム)ヲ押引桿(マ)ニヨリ案内セシメ該起動桿ノ爪溝(オ)ト腕(チ)ノ溝(ノ)ノ内ニ設ケタル「ピン」(ク)トヲ繫合シ得ヘクセル絲掛木自動廻轉製筵機ノ構造(圖面及説明略)

蓆織機用杼杆

昭和實用新案出願公告第四三九〇號 第八十八類 七、插竹及杼 願書番號 大正十五年第二一〇三三號 出願 昭和二一年五月十九日 公告 昭和二一年五月十九日

出願人 考案者 佐賀縣 川崎實市
登錄請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク籽杆(1)ノ先端ニ針金(2)ノ一端ヲ垂直ニ固植シテ之ヲ轉子(3)ヲ軸着シ其上部ヲ渦狀ニ彎曲シテ外周ニ桃核滑摺環(4)ヲ形成セシメテ成ル蓆織機用籽杆ノ構造(圖面及說明畧)

絨 毆

昭和實用新案出願公告第四五七八號 第八十九類 一五、花蕊

願書番號 大正十五年第一六九八三號
出願 同 年八月七日
公告 昭和二年五月二十三日

出願人 考案者 福井縣 堀田甚太郎
登錄請求ノ範圍 圖面ニ示セル如ク經糸(2)及緯糸(1)ヲ以テ適宜ノ表地ヲ豫メ織成シ其裏面ニ緯糸(3)ヲ並列シタル上經糸(4)ヲ以テ綴着セル絨氈ニ於テ緯糸(1)ニ動物物性纖維ヲ數條引揃ヘタル心絲(イ)ノ外圍ニ人造絹絲(ロ)ヲ數條引揃ヘテ捲纏被覆シテ成ル絲ヲ使用シタル構造(圖面及說明畧)

蓆織機插竹止裝置

昭和實用新案出願公告第四七五九號 第八十八類 二、緯入裝置及緯條供給裝置

願書番號 大正十五年第三九五號
出願 同 年三月十四日
公告 昭和二年五月二十六日

出願人 考案者 石川縣 曾我源吉
登錄請求ノ範圍 圖面ニ示セル如ク側面ニ突起(11)ヲ突設シテ篋枠ニ係合シ軸(10)ニ依リ昇降スベク爲シタル插竹止(8)ニ於テハ驅杆ヲ一條ノ帶狀鐵條ヲ大體ニ折リト爲シ更ニ折曲部ヲ揆形ニ開キテ先端ニ袋狀部(9)ヲ形成シ其後端部ヲ上軌條ニ關着シタル構造(圖面及說明畧)

蓆織機緯條押止裝置

昭和實用新案出願公告第四八七〇號 第八十八類 四、耳組裝置

願書番號 大正十五年第二五五〇七號
出願 同 年十二月七日
公告 昭和二年五月三十日

出願人 考案者 岡山縣 中司甚太郎

登録請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク臺木(1)ニ腕木(2)ヲ交叉狀ニ樞着シ其兩端ニ口狀屈曲杆(3)(4)ノ各一脚後部ヲ樞着シ左右口狀屈曲杆ハ其屈曲部ヲ前面ニ突出並列シ一ノ屈曲杆(3)ハ其樞着部ヲ延長シテ折返シ前面ニ突出セシメ其突出端(3)ノ左右ニ牽引條(5)ト彈機(6)ヲ連結シ之レヲ織機上部橫架杆(7)ノ右側邊ニ固着シ牽引條(5)ノ他端ハ插緯杆(10)ノ連杆(11)ニ連結スル垂下杆(12)ニ連結シ彈機(6)ノ他端ハ機構側柱ニ連結シテ成ル蓆織機緯條押止裝置ノ構造(圖面及說明畧)

花 蕊 織 機

昭和實用新案出願公告第六〇三四號 第八十八類 一〇、斷片織機雜

願書番號 大正十四年第一三六二七號
出願 同 年六月二十二日
公告 昭和二年六月十六日

出願人 考案者 愛知縣 山本三次

登録請求ノ範圍 圖面ニ示ス如キ花蕊織機ニ於テ足踏桿(3)ヲ連桿(7)ニヨリ橫軸(5)ノ曲柄(6)ニ連結シ該橫軸(5)ニ他ノ長孔(9)ヲ設ケタル曲柄(8)及ビ二個ノ曲柄(10)(11)ヲ背面ニ突出セシメ曲柄(10)(11)ハ連桿(14)(13)ヲ介シテオサ(12)ノ支持桿ニ連結シ該支持桿ノ一方ニ「カム」(21)ヲ要着セル縱軸ヲ要着シ曲柄(8)カ上昇セル時其長孔(9)ト共動スル轉子(23)ヲ備ヘ之レヲ付スル直立桿(24)ヲ連桿(26)(30)曲柄(29)ニヨリ軸(28)ニ連結シテ該軸(28)ハ曲柄(31)ヲ有シ連桿(33)(32)ニヨリ水平桿ニ連結シテ成ル構造(圖面及說明畧)

蕊織機篋打裝置

昭和實用新案出願公告第六二九六號 第八十八類 三、斷片織機篋打裝置

願書番號 大正十五年第一七八四二號
出願 同 年八月二十三日
公告 昭和二年六月二十日

出願人 考案者 栃木縣 毛塚常二郎

登録請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク前部ヲ廻轉自在ニ機枠ニ承持セシメタル杆(4)ノ後端ニ篋框杆(4)ヲ取付ケ篋(6)ノ兩端ヲ夫々溝車(8)(9)ヲ經テ調節杆(10)ニ連結シ該調節杆ハ揆條(13)ニヨリ下方ニ引カレテ

固定横杆(11)ノ上面凹陷内ニ嵌入シ且ツ其ノ前端ハ廻轉自在ニ機枠ニ取付ケテ成ル筵織機箆打裝置ノ構造(圖面及説明略)

簾編機ノ簾材自働供給裝置

昭和實用新案出願公告第七四〇一號 第八十八類 二、緯入裝置及緯條供給裝置 願書番號 大正十五年第一七七七一五號 出願 昭和二年七月二十日 公告 昭和二年七月七日

出願人 考案者 大阪市 三好 爲一

登録請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク常ニ閉止スル傾向ヲ帶ヒタル二片カ對向シテ形成スル支止部(1)ヲ中央ニ區劃(1')シ底ナシノ簾材收容框(4)ノ後端ニ裝設シ收容框(4)ノ適所ニ山型片(5)ヲ附シ山型片(5)ニ接シ簾材ヲ引掛クル鉤部(7)ヲ有スル引掛杆(6)ヲ交互ニ昇降スル様設ケ之カ下方ニハ送緯用無端帶(3)ヲ備ヘテ成ル簾編機ノ簾自働供給裝置ノ構造(圖面及説明略)

簾面整揃用押ヘ杆附插緯口

昭和實用新案出願公告第七四一五號 第八十八類 二、緯入裝置及緯條供給裝置 願書番號 大正十五年第二六五四四號 出願 昭和二年七月二十一日 公告 昭和二年七月七日

出願人 考案者 大阪市 三好 爲一

登録請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク中央ニ弧狀彎曲部ヲ有スル押ヘ杆(8)ヲ扛上片(3)ト主杆(1)トニ依テナル漏斗狀ノ孔(3)(3)ノ一邊ニ位置スヘク主杆(1)ノ一端ニ設ケラレタル軸杆(11)ニ其ノ先端ノ孔(9)ヲ挿装シ螺旋彈條(12)ヲ附シテ先端部(7)ヲシテ主杆(1)ノ杆面ヘ常ニ押スコトニ依テ其ノ間ニ於テ簾面ヲ整揃スヘクナシタル簾面整揃用押ヘ杆附插緯口ノ構造(圖面及説明略)

斷片織機用杆

昭和實用新案出願公告第七七二八號 第八十八類 七、插竹及杆 願書番號 昭和二年第一九〇二號 出願 昭和二年七月十一日 公告 昭和二年七月十一日

考案者 濱松市 永井 貞雄

出願人 同 伊藤 孝三郎

登録請求ノ範圍 圖面及説明ノ如ク杆(1)ノ上面凹陷部(2)内ノ蘭咬持用彈性「クリツプ」(3)(4)ヲ樞廻自在ニ容設シ杆カ杆箱(15)ノ突起部(16)ヲ通過スルトキ「クリツプ」ノ挾持端ヲ仰起セシメ突起部(16)ヲ通過シ終レハ挾持端ヲ伏下セシムヘクナシタル式ノモノニ於テ「クリツプ」(3)(4)ノ内端(7)(8)ノ下面ハ凹陷部(2)ノ底面トノ間ニ各別ノ彈撥ばね(9)(10)ヲ裝着シ且「クリツプ」(3)(4)ノ蘭咬持用外端(11)(12)ヲ杆(1)ノ中央側ニ向ケ鉤狀ニ彎曲セシメ此鉤狀彎曲端ノ直下ニ當ル杆(1)ノ兩端部兩側個所ニ夫々蘭條落込用承溝(13)(13)及(14)(14)ヲ凹設シタル斷片織機用杆ノ構造(圖面及説明略)

敷物

昭和實用新案出願公告第七八五四號 第八十九類 一五、花筵 願書番號 大正十五年第一一五六八號 出願 昭和二年七月十五日 公告 昭和二年七月十五日

出願人 考案者 堺市 山田 恒太郎

登録請求ノ範圍 圖面説明ニ示ス如ク經ニ綿絲ヲ緯ニ布片ヲ使用シ且ツ緯タル布片ト布片トノ間ニ別ニ織地面ニ植立スル布片ヲ經糸ニ捲纏シテ表面全體ニ密接聳立セシメタル敷物ノ構造(圖面及説明略)

敷物

昭和實用新案出願公告第八〇八八號 第八十九類 一五、花筵 願書番號 大正十五年第二四五八七號 出願 昭和二年七月十八日 公告 昭和二年七月十八日

出願人 考案者 神戸市 浮田 治一郎

登録請求ノ範圍 圖面並ニ説明ニ示ス如キ絲針金ヲ中芯トナシ其外周ニ蘭、三角蘭、菅、藁、苧麻等ヲ苞圍セシメツ、其周面ニ綿絲ヲ卷キ附ク卷絲條ノ經條ヲ作り之レニ竹幹ヲ適宜ニ割キ肉部ヲ削リタル扁平條ノ緯條トナシ若クハ經緯條ヲ混合交互從横ニ組織シテナル綾地又ハ網代地ノ敷物ノ構造(圖面及説明略)

絨氈

昭和實用新案出願公告第七九七二號 第八十九類 一五、花莖

願書番號 大正十五年第一六九八四號
出願 同年八月九日
公告 昭和二年七月十六日

出願人 考案者 福井縣 堀田甚太郎

登録請求ノ範圍 圖面ニ示セル如ク經糸(2)及緯糸(1)ヲ以テ適宜ノ表地ヲ織成シ其裏面ニ緯糸(3)ヲ並列シタル上經糸(4)ヲ以テ綴着セル絨氈ニ於テ緯糸(1)ニ縮緬ノ緯糸トシテ使用シタル強撚糸ヨリナル層ヲ數條引揃ヘ撚リヲ掛ケテ成ル糸ヲ織込ミタル構造(圖面及説明略)

筵織機箠打裝置

昭和實用新案出願公告第八六一一號 第八十八類 三、斷片織機 箠打裝置

願書番號 大正十五年第二〇〇九號
出願 同年二月二日
公告 昭和二年八月一日

出願人 考案者 兵庫縣 西島啓藏

登録請求ノ範圍 圖面及説明ニ記セル如ク昇降杆ノ下部ヲ二本ニ分離セシメソノ先端ヲ屈曲セシメテ掛子トナシ箠ノ中央ニ穿チタル長方形穴ノ左右ヲ支持セシメ吊綱ヲ昇降桿下部ニ定着セシメ上部ノ滑者ヲ介シテ足踏杆ニ連結セシメテナル筵織機箠打裝置ノ構造(圖面及説明略)

敷物

昭和實用新案出願公告第八六七二號 第八十九類 一五、花莖

願書番號 大正十五年第五一二五號
出願 同年三月十一日
公告 昭和二年八月二日

出願人 考案者 大阪府 中辻常吉

登録請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク表裏ニ並列セル異色二種ノ緯條(2)(2')ヲ表裏ニ交代セシメ細キ經條(1)ニ依リ表裏相結合スル様又ハ袋狀ニ組織セシメ異色二種ノ模様(A)及(B)ヲ現出セシメテ成ル敷物ニ於テ該兩緯條(2)(2')ヲ表裏交互ニ並列シ表裏相結合スル様又ハ袋狀ニ組織シタル縞模様部(C)ハ兩緯條

(2)(2')ヲ一重ニ並列シ經條(1)ヲ表裏ニ浮出セシメテ綾組織トナシタル經條浮出模様部(D)トヲ上記異色二種ノ模様(A)及(B)間ニ介存セシメテ成ル敷物ノ構造(圖面及説明略)

筵織機綾取裝置

昭和實用新案出願公告第八六二二號 第八十八類 一、斷片織機 開口裝置

願書番號 大正十五年第二〇七一號
出願 同年二月四日
公告 昭和二年八月一日

出願人 考案者 兵庫縣 西島啓藏

登録請求ノ範圍 圖面及説明書ニ説示スル如ク昇降杆上端ノ右ニ掛子(A)ヲ左ニ衝上段(ヌ)ヲ有セシメ該昇降桿ノ中部ニハ弧狀屈折部ヲ設ケ機枠上ニ固定セラレタル支持金(C)ニヨリテ支持セシメ「クランク」軸(カ)端ノ圓板(F)ノ周圍ニハ二箇所ノ段及其表面ニ二個ノ「ピン」(ト)ヲ設ケ「クランク」軸(カ)ノ兩端近クニ各二個ノ「クランク」ヲ有シ連杆(タ)ノ根元ヲ遊着セシメ連杆(タ)ヲ介シテ綾取杆ヲ進退セシムヘク構成シタル綾取裝置ノ構造(圖面及説明略)

筵織機挿緯裝置

昭和實用新案出願公告第八八五五號 第八十八類 二、緯入裝置及緯條供給裝置

願書番號 昭和二年第一六〇五號
出願 同年一月二十七日
公告 同年八月六日

出願人 考案者 德島縣 矢部義一

登録請求範圍 圖面ニ示ス如ク筵織機ニ於テ斷面凹字形ヲ成セル誘導杆(1)ノ凹溝内兩側面ニ滑車(4)ヲ彈機(6)ハ螺釘(5)トニヨリテ押出シ自在ニ裝設シ且ツ誘導杆ノ一側ニハ先端ニ緩衝用彈機(9)ヲ裝置シタル連杆(7)ヲ定着シテ成ル筵織機挿緯裝置ノ構造(圖面及説明略)

圓鋸刃七島蘭分割器

昭和實用新案出願公告第九五五二號 第六十七類 二四、麥稈蘭草分割器

願書番號 大正十四年第一九四四九號
出願 同年九月九日
公告 昭和二年八月二十五日

登録請求ノ範圍 出願人 考案者 大分縣 佐藤 運平
 圖面ニ明示シ説明スル如ク畧V字狀ヲ爲ス數條ノ溝(4)及該溝底中心ニ及路ヲ切透シ肉持桁(3)ヲ設ケ特ニ(3)ノ内部ニ於テ窓渠ヲ開設シタル輪體(11)ト軸(7)ニ嵌挿サレ且間隔子ニヨリ溝軸(11)ノ溝ノ間隔ト等シキ間隔ニ置カレタル分割用刃物(1)ノ雄面「ロール」(5)トヲ前記圓刃ノ刃先ガ刃路中ニ入り輪内ニ露出スル如ク架設シ且送込「ロール」(12)ヲ設ケタル七島分割器ノ構造(圖面及説明畧)

捲 纏 機
 昭和 實用新案出願公告第九六二六號 第八十類 五、捲纏機
 願書番號 昭和二年第五〇五三號
 出願公告 同 年三月八日
 同 年八月二十五日

登録請求ノ範圍 出願人 考案者 福山市 鹽崎 鐵藏
 圖面ニ示ス如ク盤面ニ固定「ロール」(9)(10)移動「ロール」(11)(12)ヲ備ヘ且ツ(E)ヲ中心トシテ上下ニ弧動シ以テ緯條ノ進出角度ヲ變換スルニ備フル角度變更「ロール」(13)ヲ有スル緯條緊張裝置(4)ヲ機體適當ノ個所ヘ固定シ尙ホ繩通過口(C)ノ内面ニ尖狀ニ突起セル螺狀(D)ヲ形成セル綯口(5)ヲ喇叭口(15)ノ直前ニ固設シテナル捲纏機ノ構造(圖面及説明畧)

筵 織 機
 昭和 實用新案出願公告第九六五八號 第八十八類 八、斷片織機
 願書番號 昭和二年第七九八五號
 出願公告 同 年四月十七日
 同 年八月二十九日

登録請求ノ範圍 出願人 考案者 大分縣 丹生 荒喜
 圖面ニ示ス如ク支持桿(2)ト相俟ツテ經系(4)捲付シ得ヘクナシタル桿(3)機枠(1)上ニ軸(6)ヲ以テ軸着シテナル腕桿(7)ニ鍵條(8)ヲ介シテ軸着シテナル筵織機ノ構造(圖面及説明畧)
 斷片織機給緯裝置

昭和 實用新案出願公告第九八一四號 第八十八類 二、緯入裝置及
 願書番號 昭和二年第二一〇四號
 出願公告 同 年二月三日
 同 年九月五日

緯條供給裝置
 考案者 濱松市 永井 貞雄
 出願人 同 伊藤 孝三郎

登録請求ノ範圍 出願人 同
 圖面及説明ノ如ク一本宛ノ蘭條(5)ヲ並列載架スヘク設ケタル雁木狀承棒(3)ノ下部前側ニ該蘭條(5)ヲ承受スヘキ輸送用螺旋翼軸(9)ヲ廻轉自在ニ裝架シ此翼軸(9)ニ於ケル螺旋(10)ノ各齒條間ニ蘭條(5)ヲ一本宛挿入セシムヘクナシ更ニ此螺旋翼軸(9)ノ送端ニ於テ翼軸(9)上ヨリ送り出サレタル一本宛ノ蘭條(5)ヲ承受シテ之ヲ插緯裝置ノ上方部適當個所ニ導致シ得ヘキ昇降支持棒(12)(13)ヲ原動軸(26)上ノ「カム」(31)ト接觸シテ搖動スヘキ槓杆(33)ト吊持用彈機(32)トニ依リ螺施翼軸(9)ノ廻轉動作ト對應シテ昇降スヘク設ケテ成ル斷片織機給緯裝置ノ構造(圖面及説明畧)

蒲 萁 座
 昭和 實用新案出願公告第九九八二號 第八十九類 一五、花莖
 願書番號 昭和二年第六四〇號
 出願公告 同 年一月十五日
 同 年九月八日

登録請求ノ範圍 出願人 考案者 濱松市 田中 忠治
 圖面及説明ニ示ス如ク太キ藁繩(1)ヲ用ヒテ成ル蒲萁座ノ耳縱絲ニ細キ麻絲(2)ヲ用ヒ木綿又ハ麻布ヲ覆ヒ「ミシン」縫ヒシタル蒲萁座ノ構造(圖面及説明畧)

敷 物
 昭和 實用新案出願公告第九九八三號 第八十九類 一五、花莖
 願書番號 昭和二年第六六九號
 出願公告 同 年一月十七日
 同 年九月八日

登録請求ノ範圍 出願人 考案者 神戸市 苗村 徳次
 圖面ニ示ス如ク野草ヲ扁平ナル紐狀ニ組ミタル線條(1)ノ一縁ニ絲又ハ他ノ細線(2)ヲ

捲キ附ケタルモノヲ捲キ又ハ折疊ミテ板狀トナシタル敷物ノ構造(圖面及説明畧)
筵織機挿緯装置

昭和二年實用新案出願公告第一〇七〇四號 第八十八類 二、緯入装置及緯條供給装置
出願人 考察者 新潟縣 星野音治郎
願書番號 昭和二一年第一一三〇號
出願公告 同 年五月二十八日
同 年九月二十六日

登録請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク挿緯桿(4)ノ後端ニ車輪(5)ヲ附シテ溝形誘導材(2)ヲシテ該車輪ヲ支持誘導セシメ且該誘導材ノ前端部ニ於テ挿緯桿ヲ溝車輪(6)ヲシテ支持セシメタル筵織機挿緯装置ノ構造(圖面及説明畧)

筵織機挿緯桿

昭和二年實用新案出願公告第一〇七二三號 第八十八類 七、插竹及杆
願書番號 昭和二一年第一二〇四一號
出願公告 同 年六月二十七日
同 年九月二十七日

登録請求ノ範圍 圖面ニ示セル如ク軸(6)ニ遊嵌シタル緯掛轉子(7)ノ内部ニ一枚ノ帶狀撥條ヲ屈曲シテ大小二個ノ管カ一部ニ於テ接續スル如ク同心圓ニ形成シタル承金(8)ヲ置キ之ト軸(6)及該緯掛轉子(7)ノ内面トノ間隙ニ數多ノ減摩轉子(9)ヲ三重ニ挿入シタル筵織機挿緯桿ノ構造(圖面及説明畧)

絨氈

昭和二年實用新案出願公告第一〇八五九號 第八十九類 一五、花薙(簾敷物ヲ含ム)
願書番號 大正十五年第一六九五六號
出願公告 同 年八月八日
同 年九月二十九日

登録請求ノ範圍 圖面ニ示セル如ク經系(2)及緯系(1)ヲ以テ適宜ノ表地ヲ豫メ織成シ其裏面ニ緯系(3)ヲ並列シタル上經系(4)ヲ以テ綴着セル絨氈ニ於テ緯系(1)ニ二條ノ糸(イ)ヲ繩狀ニ燃リ之ニ別個ノ糸(ロ)ヲ屈曲シツ、繩狀ノ各撓目ニ通シテ撓ミ付ケ所々ニ大ナル屈曲環(ハ)ヲ形成セシメタル糸ヲ使用シテ成ル構造(圖面及説明畧)

筵織機開口装置

昭和二年實用新案出願公告第一一〇六號 第八十八類 一、斷片織機開口装置
願書番號 大正十五年第二六一七八號
出願公告 同 年十二月十九日
同 年十月四日

登録請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク綜統棒(8)(8)ヲ腕(9)(9)ニヨリテ固定シタル軸(10)ニ板(20)ヲ取付ケ板(20)ヨリ突出セル「ピン」(19)(19)ヲ軸(10)ニ緩架セル廻轉板(11)ノ長孔(21)(21)ニ嵌入セシメ廻轉板(11)ノ下端ニハ山形突起(12)ヲ形成セシメ其ノ前後傾斜面ノ端部ニ突起部(13)(13)ヲ設ケ軸(10)ト山形突起(12)ノ頂點トノ間ニハ孔(14)ヲ穿チ之レニ弧狀ノ外面ヲ有スル摺動子(15)(15)ヲ嵌挿シテ其ノ間ニ撥條(16)ヲ裝置シ軸(10)ニハ廻轉板(11)ヲ挟ミテU形杆(17)ノ上端兩端ヲ緩架シ該杆ニハ上記摺動子ト接觸スベキ位置ニ轉子(18)(18)ヲ緩架シU形杆(17)ノ下端ハ上端ヲ山形ニ形成セル連杆(23)ノ上部長孔(24)内ニ嵌入セシメ連杆(23)ノ下端ハ「クランク」杆(25)杆(26)及(27)ニヨリ足踏杆(28)及(29)ニ連結シテ懸ル筵織機開口装置(圖面及説明畧)

野草敷物

昭和二年實用新案出願公告第一一七三〇號 第八十九類 一五、花薙
願書番號 大正十五年第二五八六號
出願公告 同 年十二月十三日
同 年十月十四日

出願人 同 考察者 岡山縣 石田信一
同 同 博見哲太郎
同 同 船越銀之助

登録請求範圍 圖面ニ示ス如ク經條(b)(b')(b'')(b'')中ニ組織シタル毛虫狀ノ緯條(a)(a')(a'')(a'')ノ棒狀野草短片(1)(1')(1'')(1'')ヲ棒狀ノ儘ニテ相互ニ參差交錯セシメ且其表面部ノミヲ細分横臥セシメタル野草敷物ノ構造(圖面及說明畧)

筵織機篋打裝置

昭和實用新案出願公告第一一九九三號 第八十八類

三、斷片織機篋打裝置

願書番號 昭和二二年第六六一九號
出願公告 同年三月二十八日
同 年十月十九日

出願人 考案者 岐阜縣 各務與三治郎

登録請求範圍 圖面ニ示ス如ク踏挺(21)ト槓杆(13)ノ組合セニ可撓性紐繩(26)ヲ利用シ且鐵棒(23)ト篋(11)ノ取付ニ於テ篋(11)ニ圓弧型ニシテ内部ニ漸次擴大セル溝穴ヲ穿テ鐵棒(23)ヲ嵌入シ鼻栓ヲ以テ取付ケタル筵織機篋打裝置ノ構造(圖面及說明畧)

筵織機經糸掛板

昭和實用新案出願公告第一二二八四號 第八十八類

八、斷片織機雜部分裝置

願書番號 昭和二二年第一二一七〇號
出願公告 同年六月九日
同 年十月二十三日

出願人 考案者 岡山縣 吉田輝夫

登録請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク金屬細長薄板(1)ノ上邊ニ穿孔シ之レニ金屬線ヲ折曲ケ挿通シ裏面ニ於テ上方ニ上ケ其先端ヲ前面ニ屈曲シ鉤(2)トナシ薄板(1)ノ下邊ニ舌片狀薄板(3)ヲ釘着シ其三邊ヲ少シク前子ニ彎曲突起セシメテ成ル筵織機經糸掛板ノ構造(圖面及說明畧)

筵織機開口裝置

昭和實用新案出願公告第一二四三〇號 第八十八類

一、開口裝置

願書番號 昭和二二年第九五四三號
出願公告 同年五月四日
同 年十月二十五日

出願人 考案者 富山縣 林正之

登録請求ノ範圍 圖面ニ示セル如ク衝杆(8)ノ左右ニ相對シテ先端ニ割溝(14)ヲ形成シ滑車(15)ヲ施シタル三角形ノ突片(12)ヲ鋸着シタル筵織機開口裝置ノ構造(圖面及說明畧)

敷物

昭和實用新案出願公告第一二八一九號 第八十九類

願書番號 昭和二二年第九三八九號
出願公告 同年五月二日
同 年十月三十一日

出願人 考案者 金澤市 槻清七

登録請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク縮緬、「パレーヌ」、「ジョウウゼット」、壁織等製織ノ際生スル之等ノ經緯混合捻糸屑ヲ適當ノ太サニ引出シ之ニ別ノ如キ細キ糸(2)ヲ緩ク捲纏シタル原料糸(1)ヲ粗目臺布(3)ノ裏面ヨリ表面ニ環狀ニ引出シテ膨出セシメ此膨出部ヲ臺布ノ全面ニ涉リ密設シテ成ル敷物ノ構造(圖面及說明畧)

疊表織機經糸緊張裝置

昭和實用新案出願公告第一三三三八號 第八十八類

八、斷片織機雜部分裝置

願書番號 昭和二二年第一二四七三號
出願公告 同年六月十一日
同 年十一月五日

出願人 考案者 岡山縣 佐藤淺治郎

登録請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク導軸(d)ヲ軸架シ縱柱(c)ニ沿ヒ昇降シ得ル臺杆(a)ハ兩端下面ニ挺杆(e)ヲ軸結シ把杆(k)ヲ有スル廻杆(i)ノ突起(j)ト挺杆(e)端ヲ引條(h)ニヨリ連結シ杆(i)ノ逆廻轉ヲ制止スヘキ止爪(n)ヲ設ケテアル疊表織機經糸緊張裝置ノ構造(圖面及說明畧)

筵織用篋

昭和實用新案出願公告第一三一六九號 第八十八類

六、篋及小手

願書番號 大正十五年第二三九三號
出願公告 同年十月十七日
同 昭和二年十一月七日

出願人 考案者 熊本縣 高田水引

登錄請求ノ範圍 圖及説明ニ示ス如ク支齒飯(2)ハ連接セル一對宛ノ穴ヲ穿テ箠齒(3)ノ圓形鐵桿ヲ折曲ケ他端ヲ支齒飯(2)ノ穴ヲ通シ小釘(5)ニテ之レヲ相分離セシメ三ツ又釘(4)ヲ以テ固定シ而カモ箠齒ハ進退自由着脱容易ナラシメタル筵織機用箠ノ構造(圖面及説明畧)

製筵機插緯桿

昭和實用新案出願公告第一三二八八號 第八十八類 七、插竹及杆
願書番號 昭和二年第四九三四號
出願人 青森縣 藤田喜三郎
公告願同 年三月七日
同 年十一月八日

登錄請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク插圍桿頭部ノ兩側及先端ノ中央部ニ各一個ツ、ノ回轉自在ナル車ヲ取付タル製筵機用插緯桿ノ構造(圖面及説明畧)

筵織機綾取裝置

昭和實用新案出願公告第一三七一一號 第八十八類 一、斷片織機
願書番號 昭和二年第九六二二號
出願人 考案者 佐賀市 森永留三
公告願同 年五月六日
同 年十一月十九日

登錄請求ノ範圍 圖面及説明ニ示ス如ク突上杆(2)ノ前後左右ヲ板(7)(8)(9)ニテ圍ヒ突上杆(2)ニ圓ミヲ付シタル段階(3)ヲ設ケ突上杆(2)ニ軸着セル垂下片(1)ヲ卵形トシ垂下片(1)ノ滑リ面ヲ波狀トナシタル筵織機綾取裝置ノ構造(圖面及説明畧)

筵織機

昭和實用新案出願公告第一三九三八號 第八十八類 一〇、斷片織機雜
願書番號 昭和二年第二二一六號
出願人 考案者 兵庫縣 大塚友松
公告願同 年十一月二十四日

登錄請求ノ範圍 圖面ト説明トニ說示セル如ク箠框作用用足踏杆(a)ノ軸杆(1)ヲ任意斷面形ノ中空管ヲ以テ造リ其兩端部内側ニ金屬片(2)(2)ノ一端ヲ嵌外シ自在ニ嵌合定着セシメ其各嵌合部他端(2)(2)ヲ夫々細軸トシテ突出セシメ之等兩端部(2)(2)ヲ機枠側柱(4)(4)ノ下方部ニ於テ適宜軸承セシムヘクナシタル筵織機ノ構造(圖面及説明畧)

筵織機用箠

昭和實用新案出願公告第一四三八九號 第八十八類 六、箠及小手
願書番號 昭和二年第九八二七號
出願人 考案者 岡山縣 石原伊惣治
公告願同 年五月十日
同 年十二月三日

登錄請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク筵織機用箠ニ於テ箠框(1)ニ別ニ箠齒(3)ヲ形成シタル數個ノ箠棟(2)ヲ交換自在ニ螺着シテ成ル構造(圖面及説明畧)

敷物

昭和實用新案出願公告第一五一九七號 第八十九類 一五、花筵(簾敷物ヲ含ム)
願書番號 昭和二年第二〇〇七號
出願人 考案者 金澤市 槻清七
公告願同 年九月二十三日
同 年十二月十九日

登錄請求ノ範圍 圖面ニ示ス如ク伸止經糸(6)ヲ中心トシテ其上下ニ緯條(2)(4)ヲ配シ經糸(1)ヲ以テ組織セルモノニ於テ藁ヲ心トシ其周圍ニ襪樓切(3)ヲ捲纏包被シタル緯條(2)下ニ縮緬ノ「バレー」ス「ジヨウセツト」、壁織等製織ノ際生スル之等經緯糸混合ノ撚糸屑ヲ其儘適當ノ太サニ引出シ之ニ別個ノ細キ糸(5)ヲ粗ク螺旋狀ニ捲付シテ成ル緯條(4)ヲ上ニ重合セテ使用織製セル敷物ノ構造(圖面及説明畧)

第四章 蘭草ニ關スル調査

蘭草ハ花莖唯一ノ原料ニシテ其産額ノ増減及價格ノ高低ハ、直チニ花莖生産力ニ大ナル影響ヲ及ボスベキヲ以テ、本所ハ各地方廳及花莖、蘭草等ノ同業組合ニ就キ蘭草ニ關スル調査ヲ爲シ來レリ。今最近ノ蘭草及三角蘭ノ産額並本年中ノ商況、價格等ヲ總括記述スレバ左ノ如シ。

第一節 蘭草ノ産額

昭和二年夏季收穫ノ蘭草植付段別ハ三千九百五十七町二反、此ノ收穫高八百六十一萬八千六百八十三貫、價格七百萬九千三百七十一圓ナリ。

最近三箇年間蘭草産額調査表

府縣別	大正十四年		大正十五年、昭和元年		昭和二年	
	段別	收穫價額	段別	收穫價額	段別	收穫價額
北海道	調	四五〇	調	三三六	調	一、二〇〇
岩手	調	五五、六八二	調	三八七	調	三七二
宮城	調	一三三、二三八	調	九一〇	調	一三三、八六六
秋田	調	二〇、三三五	調	九・六	調	六九、五〇〇
山形	調	三三三、七二四	調	一、四	調	三、五八四
福島	調	四五、六一〇	調	一七、八六七	調	八、三五二
茨城	調	二五、四八二	調	一五・一	調	一〇、六三九
栃木	調	二四、二〇八	調	三三・五	調	一一、七五二

廣岡島鳥和奈兵京滋三愛靜岐長山福石富新千埼
 島山根取山良庫都賀重知岡阜野梨井川山潟葉玉

千埼	一〇・七	一六、九九八	一、三四九	四・四	三、一八一	四・四	七、五八六	四〇二二
新千	五・〇	八、七九二	六、六三六	?	七、五一二	六・八	一一、八三五	七、五一一
富山	七六・五	一六七、三八〇	八七、九二二	八五・二	一一、八三五	八五・二	一八六、二五八	一〇二、八七九
石川	二二・七	四六八、〇四七	四二七、一一四	二二・二	四六六、五一五	三九七、八四三	四〇〇、四二〇	二六五、〇九五
福山	二九・四	五〇、三七六	三三、三七四	三三・三	五七、三三〇	三七、五〇〇	五一、四〇〇	三五、二〇〇
山梨	二二・一	二九、六七八	二五、一三六	二〇・〇	二六、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二八、五〇五	二五、〇一一
長野	二・二	四七〇	四一〇	三	九〇〇	一〇〇	二、五〇〇	一、二五〇
岐阜	一三・六	一九、五六五	一八、七九二	二三・〇	三六、八〇〇	五〇、六〇〇	五六、五一二	五六、五一二
靜岡	四〇・九	一二三、八八〇	六一、九四四	四〇・一	八四、九九五	三九、九九二	七七、〇五〇	四一、六九七
愛知	一五・四	三五、〇四〇	一五、六三四	一五・八	五、八一六	三、五二五	二四、七〇〇	一七、七六五
滋賀	八・二	一六、一三〇	一〇、九五三	一一・七	二二、八七八	一一、七七二	二四、七〇〇	一七、七六五
京都	一三・〇	二七、三七三	一五、七三八	二四・九	五八、六二五	三三、〇九六	二四、七〇〇	一七、七六五
兵庫	二九・五	九一、九五九	六九、七四九	二八・八	四二、六五〇	一一、七六五	一一、七六五	一一、七六五
和歌山	二九・五	三六、六七〇	二六、七〇二	二八・八	四二、六五〇	一一、七六五	一一、七六五	一一、七六五
鳥取	一・二	三、〇〇〇	一、五〇〇	五・〇	六、三四八	六、二五五	七・〇	八、五五六
島根	一七六・九	三三三、〇九〇	二二四、三八八	一七六・九	三三三、〇九〇	二二四、三八八	一七六・九	二四九、〇〇〇
岡山	二二三・四・九	六、一三五、四一六	三、二三四、三八五	一、八三三・〇	四、九八七、〇四五	二、九〇〇、四二四	一、八〇六・三	三、四五六、〇六一
廣島	一一三三・六	二、九九三、八九七	一、六九九、六二〇	一〇、五四〇・〇	二、〇〇三、二一〇	二、八六一、七五一	六、七三五	一、六九七、二二九

昭和二年中藺草主產地ニ於ケル各月藺草商況ノ概略ヲ掲グレバ左ノ如シ。

第一節 主產地藺草商況及市價

秋山	茨城	栃木	埼玉	千葉	宮城	静岡	新潟	富山	石川	福井	長野	岐阜	愛知	奈良	滋賀
田形	茨城	栃木	埼玉	千葉	宮城	静岡	新潟	富山	石川	福井	長野	岐阜	愛知	奈良	滋賀
七〇	二六	一五	二二	四七	五	八五	七五	七五	八七	二二	三一	一五	三一	三二	不
△									△						
△	△	△	△						△						
二七	三	二	三	三	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八、八九〇	三、二八三	三、一七五〇	三、一四八〇	七、七四四	一、五〇〇	一、四三、八四七	一、七二、五〇〇	一、九〇、六三八	四、八六、九三三	五、七〇〇〇	一、八〇〇〇	三、二五〇	七、七〇〇	二、一八〇〇	二、一八〇〇
兵庫	岡山	廣島	山形	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	合計
二、三〇〇	二、一五〇九	七、四〇八	六、三	一、一	一、二	六、六	六、八	六、八	二、九四七	五、二	一〇〇	二〇	七	四	四、一五七二
△															△
△															△
一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
五、七、七四七	五、八七、九五七	二、〇七、四二四	一、一、六〇〇	二、五、六三三	一、九、七〇	九、九、一七	一、八〇、三六〇	九、七、五一〇	一、一、七六〇	五、五、〇〇	二、二、二六	七、〇〇	三、五〇	一、九、六三四	九、〇、六〇、一三三

山形	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	合計
山口	川島	媛川	知媛	岡知	賀賀	崎賀	本崎	分崎	島崎	鹿島	繩島	沖繩	計
八、一	五	三、三	五、九	八七、一	二、八四〇	五、九	六、一七	五、七八	二、五	二、五	五、七九	七〇	五、三九五
△													△
△													△
一八、五三〇	六、四〇〇	九、五〇〇	一、六、八七〇	二、二八、一二〇	九、三、七、二〇〇	二、〇、七、一八	五、〇、五、三	一、一、五、八、六、二、四	八、〇、三	三、八、九、五	二、一、二、七、五	一、五、六、七、九	七、二、四、五、二、九二
一、二、九七一	五、四、四	五、五、三、一	一〇、八、二、五	八、二、五、三〇	五、四、三、五、七、六	一〇、五、一、六	四、一、三〇	三、五、一、四、九、三	七、七、五	一、六、四、八	一、六、五、七、三	一、一〇、九二	四、六、二、八、五、一〇
八、四	一、二	二、九	七、三	七、六、三	二、六、八、〇	五、八	四、四	四、五〇、〇	二、二	二、〇	七、七	一、九、七	四、六、二、八、五、一〇
一、五、八、一〇	二、八、八、二	六、五、二、六	一、六、九、〇〇	一、九、六、八、五	八、五、七、六〇〇	一、七、〇、一〇	三、八、二、五	九、〇〇、〇〇〇	二、七、三〇	五、六、八〇	五、一〇〇	四、二、六、八、七	七、八、一、一、五、九、八
八、一、六、八	二、五、四、八	五、〇、二〇	一、二、一〇〇	九〇、九、八、一	四、六、三、一〇、四	一、五、三、一	一、六、五、八	三、一、五〇〇〇	一〇、六、五	二、三、九〇	五、一、二〇	三、五、八、三、四	七、八、一、一、五、九、八
△													△
△													△
五、九	一、一	二、三	七、八	六、三、五	二、四、五、六	五、二	八、一	三、〇、二、一	一、九	二、四	一、四	一〇、六	三、九、五、七、二
一、一、三、八、二	二、五、六、三	二、四、七、五	一、九、八、九、七	一、六、七、〇、九〇	八、一〇、四、八〇	一、八、一〇〇	四、〇、六、五	七〇九、二七〇	一、八、八、九	二、八、六〇	一、一、二、五	一、九、六、三、四	八、六、一、八、六、八、三
六、七、六、三	一、一、五、七	三、二、六、六	一、一、三、二、八	六、七、五、三五	四〇五、二、四〇	五、九、七、六	二、四、一、四	二、七、五、五、五、三	八、八、三	二、二、一、九	五、三、九、九	一、三、九〇二	七、〇〇九、三七一

昭和二年藺草作付並收穫豫想(昭和三年夏季收穫)

一月

岡山縣 前月來極度ノ不況ニ陥リ上旬ニ於テハ市價ノ大暴落ヲ來セシガ、製造業者ノ原料需要ノ多キ時季ニ入りタルト、舊年末切迫ノ際農家ノ嫌氣投ダト相俟テ商談續出近來珍ラシキ頻繁ナル取引ヲ見タリ。中旬以後ハ縣外移出向ノ買付アリ投物ノ一段落ト共ニ在品激減ヲ傳フルニ至リ相場モ、貫七八錢方値戻リノ商狀ヲ示シ、下旬ハ底意強含ナガラ一般財界ノ不況ニ壓セラレ伸悩ミ模様ニテ保合ノ状態ニアリ。而シテ生産者側ノ手持數量ハ、約二分五厘方ナルベシ。

二月

岡山縣 先月中嫌氣投ダノ一段落ト同時ニ植付ノ減少ヲ豫想シ、買付ヲ試ミルモノ多ク、而モ此品薄見越シノ人氣ハ手持農家ヲシテ一層賣惜ミヲ助長セシメシ觀アリ。製品界ニ於テモ原料高ニ追從ノ止ムナキ商狀ヲ示セリ。何分不況ノ主因タル財界ノ好轉セザル限り、突飛的市價ノ出現ハ期待シ得ラザルモ、上旬以來徐々昂進ノ步調ヲ辿リ、尙底意強含ミ状態ヲ以テ可ナリノ荷動ヲ見タリ。而シテ生産者側ノ手持數量ハ、約二分方ナルベシ。

三月

岡山縣 引續キ底意小堅キ強持合ノ商狀ヲ以テ上旬ヨリ中旬ニ入ルニ隨ヒ製品市況モ原料高ノ刺戟ヲ受ケ幾分高氣配ト共ニ農閑製織旺盛季ノコト、テ需用益々増加ノ折柄生産者側ノ手持品薄人氣ニ自然高豫想ノ思惑氣分モ加リ、大ニ買氣ヲ喚起セシ模様ニテ一齊昂進ノ步調トナリ相當ノ荷動ヲ見タリ。下旬ノ頃ハ製品ノ一部不味ノ爲メ多少氣勢ヲ殺ガレタルモ何等其反響ヲ感ゼザルモノ、如ク又短物ハ一層逼迫ノ爲メ需用ノ主タル疊表ノ市價ニ對シ格外ノ値開ヲ示セリ。而シテ生産者側ノ手持數量ハ、約二分方ナルベシ。

四月

岡山縣 前月來ヨリ持合状態ヲ持續セシガ、手持農家ハ一般的ニ品薄先高見越ニテ賣腰強硬ナル爲メ必需常用口ノ買方ハ依然トシテ製品ノ採算不引合ニ拘ラズ前途ノ沸底ヲ氣遣ヒシモノカ買手多ク、從テ價格モ

五月

徐々昂進ノ趨勢ニアリシガ、下旬ニ至リ俄然金融界動搖ノタメ著シク不安人氣ニ滿タサレ各方面共殆ンド取引杜絶ノ姿トナリ、商勢忽チ一頓挫ヲ來セリ。尙目先商狀ハ渾沌タルノ觀アルモ、何分品薄ノ折柄相場ハ存外下ダ濫リテ保合商況ヲ示セリ。而シテ生産者側ノ手持數量ハ、約八厘方ナルベシ。

六月

岡山縣 本月上旬ハ金融界混亂ノ影響ヲ受ケ何トナク下押人氣ニテ幾分下落セシガ、中旬ニ入り一般ニ氣遣ハレシモラトリアム期間明後ノ財界モ稍安定ノ見込立チタル爲メカ、何レモ賣買取引ノ開始ヲ見ルニ至リ引續下旬ニ入り漸次農繁季切迫ト共ニ製品界ハ品薄見込ノ見解ヨリ一齊ニ市價引締リヲ告グシト、製造家ノ手持原料薄ノ際トテ買手多ク、從テ相場モ漸騰歩調ニ連レ手持農家ノ賣惜ミニ依リ大部分ハ倉物取引ノ荷動ヲ見タリ。而シテ生産者側ノ手持數量ハ、約五厘方見當ナルベシ。

七月

岡山縣 端境季ニ於ケル生産者ノ手持ハ近年稀ニ見ル品薄ナルト、新草ノ作柄不良見越ニ依リ先月來ヨリ一般的ニ高値豫想ノ氣配濃厚ナル爲メ需用家側ハ縣ノ内外ヲ問ハズ當用必要ノ原料蘭ハ相當ニ買入貯藏シ居レルニ際シ豫期ニ反シ悲觀セル新草ハ適當ノ降雨アリシ爲メカ案外伸長良好ニシテ、而カモ快晴裡ニ刈入ヲ了ヘ收量ノ如キモ平年作ヲ下ラザルトノ人氣ニシテ尙且ツ財界不況製品安金融硬塞等ニ起因シ漸落傾向ヲ帶ビ來リ下旬ノ頃ハ新蘭ノ多少出廻リヲ見タルモ商勢益々不振ノ爲メ買手氣乘薄ト、農家ノ賣惜ニヨ

リ荷動少ク市況閑散ヲ極ム、而シテ生産者側ノ手持數量ハ、前年産ニテ約二厘見當ナルベシ。

八月 岡山縣 新草走り値ノ豫想ヲ裏切り商勢頓ニ活氣ナク、殊ニ製品市況ノ不味ナル爲メ縣外輸出ノ如キモ亦抄々シカラズ、上旬ハ舊盆節季前ニテ支拂資金ノ必要上價格ニ拘ラズ投ゲ賣ヲナスモノアリ爲メニ益々市價崩落ヲ誘致セシ觀アリ。中旬ハ製品界更ニ不況ヲ告ゲ一層續落シ、下旬ニ入りテハ需用家側ノ原料漸次手許薄ヲ來スニ連レ買手筋現ハル、ト同時ニ多少引縮氣味ニテ可ナリ荷動多ク、漸ク下グ足ヲ喰止メシ商狀ニアリ。又短蘭ハ地方ニ依リ多少ノ思惑買ヲナス向モアリ需用多ク相場モ前月ニ比シ大差ナキ保合狀態ヲ示セリ。而シテ生産者ノ手持數量ハ、約八分三厘方ナルベシ。

九月 岡山縣 前月末ヨリ本月上旬ニ亘リテハ商勢餘リ活潑ナラザリシモ製造業者側ノ手持原料薄ノ爲メ買付ヲナスモノ漸ク多ク、殊ニ本年ハ山土染ノ蘭草ニ限リ備後方面ヘノ新移出モアリ其他ノ縣外輸出ト共ニ取引多ク、中旬ヨリ下旬ニ入りテハ製品界ハ安値ナガラ需用季ノコト、テ可ナリノ賣行ヲ見セタルト生産者側ニ於テモ最早投ゲ賣ノ舉ニ出ルモノ少ク一般ニ賣惜ミ狀態ナルニ依リ相場モ徐々昂進ノ歩調ヲ辿リ各種ヲ通ジ商勢復活商談熾ニ行ハレ荷動頻繁ナリ。而シテ生産者ノ手持數量ハ、約六分五厘方ナルベシ。

十月 先月末來ノ活況ヲ持續シ、取引最モ頻繁ニ行ハレシ結果俄然生産者側ノ手持案外殘リ少キヲ傳フルニ至リ、強氣筋ハ益々買付ヲ急ギシモノ一般ニ農家ノ強腰ニテ商談纏ラザルモノ多ク一服商狀ノ觀アリシガ、一方製品界ノ氣直リ模様ヲ見シ爲メ買手ハ又々活躍ヲ開始スルト共ニ從テ相場モ各種ヲ通ジ漸騰ノ外ナク、市況硬化ノ商狀ヲ呈セリ。而シテ生産者ノ手持數量ハ、約四分五厘方ナルベシ。

十一月 岡山縣 本月上旬モ引續キ底意小堅キ強持合ノ商狀ニアリ。專業製造家ニ於テモ自家製側農繁休機ノ機ヲ利用スベク強氣筋ノ買込ト相俟テ買手多ク、中旬ノ頃ハ製品界モ品薄ト原料高ノ刺戟ヲ受ケ市價昂進ニ連

レ從テ蘭草モ勢ヒ漸騰歩調ニテ可ナリノ荷動アリシガ、生産者モ肥料購入資金ノ必要上又ハ米價安ノタメ前途ヲ氣遣ヒ見切賣ヲナス向モアリ加フルニ製品市況モ多少軟調ノ氣配アリ。タメニ長蘭ハ中旬ニ比シ下旬ハ買方ノ手控トナリ幾分相場モ下押氣味ナルモ差シタル變動ヲ見ズ強持合ノ狀態ニアリ、又短物ハ一層品薄唱ヘニテ依然人氣高ク商狀ヲ呈セリ。而シテ生産者側ノ手持數量ハ、約三分三厘方ナルベシ。

十二月 岡山縣 製品市況ノ引續キ軟調ヲ呈セルニ拘ラズ原料蘭草ハ品薄人氣ノ爲メ依然氣重キ保合ノ商狀ニアリシガ、中旬ニ至リ一般ニ手持農家ノ賣腰愈強硬ナルト製品ノ下グ止リトニ依リ當用口ノ買氣ヲ煽リ市價漸騰可ナリノ荷動ヲ見タリ。下旬ニ入りテハ至ル處豫想外ノ品薄人氣ト共ニ手持筋ハ益々賣惜ミ自然ト賣手ノ呼ビ値ニ接近シツ、アルノ商勢ヲ示シ、殊ニ短物ハ最在品拂底ヲ告グ近時稀有ノ好勢トナリ各種ヲ通ジ人氣ハ孰レモ先高豫想ノ好況ヲ以テ越年シタリ。而シテ生産者側ノ手持數量ハ、約二分二厘方ナルベシ。

一月 岡山縣 舊師走ニテ製造ノ最盛期トテ小口需要多ク相當ノ取引ヲ見タルモ、製品ノ商勢振ハザル爲メ保合ノ姿ニテ越月セリ。

二月 福岡縣 月末ニ至リ舊正月ノ休業氣分ノ域ヲ脱シタル爲メ製産恢復製品價格ニ何等好材料ナキモ、品薄ヲ見越シ強氣配ヲ呈スルニ至レリ。

三月 福岡縣 品薄ノ花菓産需要期接迫ノ爲メ長蘭ノ需要増加シ前月ニ比シ一二錢方高騰セリ。

四月 福岡縣 引續キ強氣配ヲ呈シ、動力機並ニ糸經中次表機等ノ増加ニ伴ヒ短蘭ノ不足ヲ告グ特長蘭ハ花菓産

用トシテ、最短蘭ハ改良織機用トシテ、何レモ二三錢方騰貴ス。

五月 福岡縣 農繁期ニ入り需要尠ク保合ノ儘越月シタリ。

六月 福岡縣 前月同様變動ナシ。

七月 福岡縣 品薄ノ爲メ一層強氣ヲ呈シ、前月ニ比シ二三錢方昂騰ス。

八月 福岡縣 新蘭收納ニモ不拘改良織機ノ増加ニヨリ品薄ヲ見込ミ容易ニ手放サズ。新蘭出廻ノ期待ヲ裏切り商勢手堅ク特ニ下蘭ハ一二錢ノ高値ヲ以テ取引セラル、ニ至レリ。

九月 福岡縣 製造業者ガ自ラ品薄ヲ見越シ買焦リシ結果、尙一層ノ強氣ヲ呈スルニ至ル。

十月 福岡縣 前月同様ノ理由ニテ下蘭ハ昂騰ノ一路ヲ辿ルノミニテ約二三錢方騰貴セリ。

十一月 福岡縣 下蘭愈々不足ヲ告ゲ動力花苧業者ノ如キ容易ニ原料ノ手ニ入ラザル爲メ自然高値ヲ喚起シ、前月ニ比シ尙三四錢方騰貴ス。

十二月 福岡縣 下蘭不足ノ爲メ高價ニシテ不引合トナリシ結果、漸次中蘭ニ及ビ何レモ騰貴一方ニテ越年ヲナシタリ。

昭和二年主産地蘭草相場月別對照表(各一貫)

産地	種類	昭和二年主産地蘭草相場月別對照表(各一貫)												平均	前年均相場
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月		
岡山	長尺蘭	六一七	六六〇	七四三	七七一	八一七	七六〇	六七七	六八七	七三七	七八〇	八〇〇	七三五	六六六	
	六尺蘭	三一〇	三三五	三八〇	四〇〇	三九八	四〇七	三九〇	四〇〇	四二〇	四五〇	四七〇	三九五	三九八	
	ボ尺蘭	一七八	二〇五	二四五	二六三	二六〇	二六八	二二五	二五三	二六八	二八八	三一一	二四九	一九一	
福岡	長尺蘭	二〇〇	二〇〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇	
	六尺蘭	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	
	ボ尺蘭	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	

備考 岡山ノ長蘭及福岡ノ一等蘭ハ三尺三寸以上、岡山ノ六尺蘭ハ二尺五寸以上、同トボ蘭ハ二尺以上、福岡ノ二等蘭ハ三尺以上、同三等蘭ハ二尺五寸以上ノモノヲ謂フ。

又最近五箇年間ニ於ケル主産地蘭草平均相場ヲ對照スレバ左表ノ如シ。

最近五箇年間主産地蘭草平均相場對照表

産地	種類	最近五箇年間主産地蘭草平均相場對照表				
		大正十二年	大正十三年	大正十四年	大正十五年	昭和二年
岡山	長尺蘭	一一三三	八七一	五八一	六六六	七三五
	六尺蘭	八〇九	五二一	二九三	三四八	三九五
	ボ尺蘭	五五四	三四六	一六三	一九〇	二四九
福岡	長尺蘭	一一三三	八七一	五八一	六六六	七三五
	六尺蘭	八〇九	五二一	二九三	三四八	三九五
	ボ尺蘭	五五四	三四六	一六三	一九〇	二四九

更ニ最近五箇年間ニ於ケル產地蘭草平均相場ヲ對照スレバ左ノ如シ。

最近五箇年間蘭草一貫匁價格調査表

府	縣	大正十二年	大正十三年	大正十四年	大正十五年	昭和二年	平均
北海	道	四一〇	二九八	六九〇	五〇〇	不詳	四七四
青森	森	九一〇	九一〇	七四五	九四〇	七一八	八三八
岩手	手	七六〇	七二七	八〇〇	四二〇	四三〇	六二七
宮城	田	八五八	九〇〇	六五〇	九〇〇	八四〇	八七四
山形	形	五七〇	六五〇	六四〇	七〇〇	八〇〇	六七四
福島	島	五一七	八八〇	六四〇	六二〇	不詳	六六四
茨城	城	六七二	八三九	三三〇	三三〇	不詳	五〇一
栃木	木	八二四	九六〇	九五〇	四〇〇	三三三	六九八
千叶	葉	六〇〇	六五〇	七〇〇	八一七	五八〇	六六九
新加	玉	八〇〇	七〇〇	七五五	六三〇	八〇〇	七三七
富山	山	一、三四〇	八五八	八六〇	五五〇	五五〇	九四一
石川	川	九七〇	七六〇	六七〇	五一七	五八〇	六九九
福井	井	七二〇	六九〇	六四六	六一〇	六一〇	六一九

長岐靜愛三滋京兵奈和島鳥岡廣山德香愛高福佐

歌

野阜岡知重都庫良山取根山島口島川媛知岡賀

九七六	二一〇	九七四	六五五	六八〇	一〇八〇	不詳	八八〇	八八〇	九七六
七六〇	一四六	一、三二〇	八〇〇	九〇〇	七五三	九〇〇	八〇〇	八六〇	七六〇
八六〇	八〇〇	一、二〇〇	七五三	九〇〇	七五三	九〇〇	八〇〇	八六〇	八六〇
五〇〇	一、二五〇	一、二五〇	四七一	五〇〇	五五八	不詳	五〇〇	八五〇	五〇〇
八五〇	五〇〇	一、〇〇〇	五〇〇	八〇〇	八〇〇	不詳	五〇〇	八五〇	八五〇
八一三	一、一四六	一、三二〇	八〇〇	九〇〇	七五三	九〇〇	八〇〇	八六〇	八一三

茨城 秋崎 新千 神富 山長 静愛 三京 兵鳥 島岡 廣山 徳香 愛高 福佐

奈

城田玉葉瀉山川梨山野岡重都庫取根島山口島媛川知岡賀

Table of agricultural statistics for various prefectures and cities, listing values for different categories and years.

一六九

第三節 三角蘭ノ産額

三角蘭(七島蘭)製花蕙ハ、支那産花蕙ノ競争ニ壓セラレ僅ニ餘喘ヲ保ツニ止マリ、殆ンド貿易界ヨリ驅逐セラレタルノ現況ナリ。故ニ三角蘭生産ノ消長ハ直接花蕙業ニ關係ナキガ如クナレドモ、其ノ蠟表即チ内地用青蕙ハ地質ノ強硬ナルヲ長所トシテ國內ニ賞用セラレ、普通蘭製蠟表ノ競争品ニシテ最有力ノ地位ヲ占メアレバ、該品製蠟狀況ノ如何ハ花蕙ノ製産力ニ多大ノ影響ヲ與フルモノナリ。参考ノ爲メ左ニ最近三箇年間ノ三角蘭産額調査表及昭和二年夏季收穫豫想高ヲ掲グベシ。

最近三箇年間三角蘭産額調査表

Table showing the production and price of orchids for different prefectures (山宮岩, 形城手) across various years (大正十四, 大正十五, 昭和元年, 昭和二年).

Table showing the production and price of orchids for various locations (平, 沖鹿宮大熊長, 均, 繩島崎分本崎).

一六八

計	昭和二年三角關作付反別並收穫豫想		(昭和三年夏季收穫)	
	作付反別	收穫豫想	作付反別	收穫豫想
沖鹿宮大熊長	二九二・四・九	四五八二・三一	二六四〇・二	七・九二一・三九五
兒	四一三・五	一四九・四八五	二四四・五	一・三三一・五三〇
繩島崎分本崎	二二〇	三三・一〇・五三四	一〇・六六三	三・六五〇・三四一
	一一一・七	二六五・一八六	三三六・〇〇〇	二・四三・七
	一・六三五・〇	三・一〇・五三四	二・四〇〇・二二九	二・七八一・四三六
	四四〇	七二・五九〇	三一〇・九〇	四・一六三五
	五五一・〇	二三八・二七八	六四・三三三	四七・三六五
	一一三・五	一四九・四八五	一三六・五六九	三〇〇・一三三
計				
	三・五〇〇・四	二二・一七・三三三	一〇・〇六三	五〇・七七〇
	二一四・一一四	二六・一八三九	三三六・〇〇〇	三三・一〇・二二
	二二・一七・三三三	一・五八四・三	一・六六一・九	二・七八一・四三六
	三三・六九〇	三九・七	三一〇・九〇	四・一六三五
	一五二・六三五	七七・六	六四・三三三	四七・三六五
	五七・六三四	二四四・五	一三六・五六九	三〇〇・一三三
府	二二〇〇	二・五八四	一〇・六六三	五〇・七七〇
縣	七〇	一・六	三三六・〇〇〇	三三・一〇・二二
作付反別	不詳	一・八	一五・六一〇	二・七八一・四三六
收穫豫想	一・〇	一〇・一〇〇	一〇・六六三	一・七五一・二四〇
府	二二〇〇	二・五八四	一〇・六六三	五〇・七七〇
縣	七〇	一・六	三三六・〇〇〇	三三・一〇・二二
作付反別	不詳	一・八	一五・六一〇	二・七八一・四三六
收穫豫想	一・〇	一〇・一〇〇	一〇・六六三	一・七五一・二四〇
府	二二〇〇	二・五八四	一〇・六六三	五〇・七七〇
縣	七〇	一・六	三三六・〇〇〇	三三・一〇・二二
作付反別	不詳	一・八	一五・六一〇	二・七八一・四三六
收穫豫想	一・〇	一〇・一〇〇	一〇・六六三	一・七五一・二四〇

附

錄

輸出花蒔苳野草蒔運賃、關稅及保險率調查表

國名	地名	關稅	運賃	保險率
北米合衆國	アトランダ ○バルチモア ○バハロー ○ベーシチー ○ボストン ○市俄古 ○クリブランド ○コロムバス ○カタイガ ○シンシナチ ○デイドン ○ダラス ○デンバー ○ルイスビル ○カンサスシチー ○メンフイシユ ○紐育 ○ニューオルレア ○ニス ○ニューオーク ○費府 ○リッチモンド ○セントルイス ○エバンズビル ○ピツツビル ○スプリングフィールド ○セントジョセフ ○テキサス ○ウイリントン ○ワコー ○プルツクリン ○パミングハム ○ピーモンド ○デトロイト ○ファイトウ ○ス ○フォートスミス ○インヂアナポリス ○ロンネスタト ○ボーツマウス ○セントポール ○シラキュース ○サンアントニオ ○華盛頓 ○アレクシー ○オースチン ○プロキーン	花蒔 一平方碼ニ付 三仙 野草 從價四割	神戶ヨリ北米西海岸 運賃ハ百封度ニ付 米價五〇仙	北米太平洋沿岸諸港 價格百圓ニ付 全損拾錢乃至四拾五錢
		大陸鐵道運賃ハ地點ニ 大萬四千封度以上百封度ニ 付壹萬八千封度以上百封度ニ 仙二萬四千封度以下百封度 二付貳萬四千封度以下百封度 仙ニ付貳萬四千封度以下百封度 平洋岸百封度ニ付四拾仙	北米内地 價格百圓ニ付 全損拾錢乃至四拾五錢	
			北米内地 價格百圓ニ付 全損拾錢乃至四拾五錢	
			北米内地(パナマ)經由 價格百圓ニ付 全損七拾五錢乃至九拾錢 全損四拾五錢乃至六拾錢	

布哇	英國	和蘭	丁抹	伊太利	佛蘭西	西班牙	埃及	亞弗利加	亞刺比亞
ホノルル	倫敦	アムステルダム ○ロツテルダム	コッペンハーゲン	ゼノア	馬耳塞	ジブラルター	ボートサイド ○スエズ	デラゴアベ ケープタウン ○ダーバン	亞丁
無稅	無稅	從價五分	○二五オア	一クインタルニ付 粗ナルモノ八リラ 精ナルモノ三リラ	百キログラムニ付 一般六フラン 最低五フラン	從價八分	從價八分	同	同
四十才一噸十弗	同 六十一志六片(ペール入) 七十六志六片(箱入)	同 六十志(ペール入) 七十五志(箱入)	同 六十志(ペール入) 七十五志(箱入)	同 六十四志(ペール入) 七十九志(箱入)	同 六十志(ペール入) 七十五志(箱入)	同 六十志(ペール入) 七十五志(箱入)	同 六十四志(ペール入) 六十八志(箱入)	同 參拾圓	同 參拾圓
價格百圓ニ付 全損貳拾五錢乃至五拾五錢	同	歐羅巴諸港 價格百圓ニ付 分損六拾七錢乃至九拾五錢 全損四拾錢乃至六拾銀	同	同	同	同	價格百圓ニ付 分損四拾錢乃至五拾五錢 全損貳拾五錢乃至五拾五錢	同	同

英領印度	海峽殖民地	豪洲	彼南	孟買	馬ドラス	古倫母	カルカッタ ○ラングーン
アデレート	新嘉坡	オークランド ○リットルトン	ウエリントン	ヂユネヂン	プリズベン	メルボルン ○シドニー	フレマントル
從價七分五厘	無稅	從價三分	同	同	同	同	同
四十才一噸拾八圓	同 拾圓	同 八十志	同 九十七志六片	同 九十八志六片	同 九十七志六片	同 九十七志六片	同 九十七志六片
價格百圓ニ付 分損參拾五錢乃至五拾五錢 全損貳拾五錢乃至參拾五錢	同	價格百圓ニ付 分損六拾錢乃至七拾錢 全損參拾錢乃至四拾錢	同	同	同	同	同

比律賓 馬尼刺	暹羅 盤谷	佛領印度 西貢	英領 香港	支那 上海	天津	青島	牛莊	厦門	廣東	芝罘	北京
一キログラム 七仙半	價從三分以下	同	無稅	四十碼モノ、 二五〇、 三六〇、 兩以下百枚ニ付 〇、 兩二二五	同	同	同	同	同	同	同
四十才一噸八圓	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
價格百圓ニ付 分損貳拾八錢乃至六拾錢 全損貳拾錢乃至四拾錢	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

蘭領印度 マカサー	スーラバヤ	スマラン	〇	バタビヤ	メナド	ドーボ	タウスビール	ロックハンブトン	ポートダヴイン	パース	カイアンス	ネーピア	マツケー	ギスボルン	ブラソフ
同	同	同	同	同	同	同	從價三分	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	四十才一噸五十五志	同	同	同	同	同	同	同	同
價格百圓ニ付 分損四拾錢乃至六拾錢 全損貳拾錢乃至參拾錢	價格百圓ニ付 分損六拾錢乃至七拾錢 全損參拾錢乃至四拾錢	價格百圓ニ付 分損六拾錢乃至七拾錢 全損參拾錢乃至四拾錢	價格百圓ニ付 分損六拾錢乃至九拾錢 全損四拾錢乃至六拾錢	價格百圓ニ付 分損六拾錢乃至八拾錢 全損參拾錢乃至五拾錢	價格百圓ニ付 分損六拾錢乃至八拾錢 全損參拾錢乃至五拾錢	價格百圓ニ付 分損六拾錢乃至八拾錢 全損參拾錢乃至五拾錢	價格百圓ニ付 分損六拾錢乃至七拾錢 全損參拾錢乃至四拾錢	價格百圓ニ付 分損六拾錢乃至七拾錢 全損參拾錢乃至四拾錢	價格百圓ニ付 分損六拾錢乃至七拾錢 全損參拾錢乃至四拾錢	價格百圓ニ付 分損六拾錢乃至七拾錢 全損參拾錢乃至四拾錢	價格百圓ニ付 分損六拾錢乃至七拾錢 全損參拾錢乃至四拾錢	價格百圓ニ付 分損六拾錢乃至七拾錢 全損參拾錢乃至四拾錢	價格百圓ニ付 分損六拾錢乃至七拾錢 全損參拾錢乃至四拾錢	價格百圓ニ付 分損六拾錢乃至七拾錢 全損參拾錢乃至四拾錢	價格百圓ニ付 分損六拾錢乃至七拾錢 全損參拾錢乃至四拾錢

關東洲	朝鮮	露領
蕪湖 遼陽○鐵嶺○奉天	大連 元山	京城 釜山 仁川 群山
四十碼モノ〇、兩 三五〇以下百枚ニ付 〇、六、兩二二五 無稅	同	同
不詳	神戶大連間六圓 其先百斤ニ付外ニ接續費四錢	神戶仁川間六圓六拾錢 神戶京城間百斤ニ付拾七錢
價格百圓ニ付 分損參拾錢乃至四拾錢 全損貳拾五錢乃至參拾五錢	價格百圓ニ付 分損貳拾錢乃至參拾錢 全損拾五錢乃至貳拾五錢	價格百圓ニ付 分損拾七錢乃至貳拾五錢 全損拾五錢乃至貳拾五錢

內外貨幣比較表

英吉利	北米	佛蘭西	佛蘭西	獨逸	伊太利	瑞典	荷蘭	西班牙	葡萄牙	土耳其	奧地利	匈牙利	露西亞	比津賓	暹羅	英領	印度
磅 (二十志) 志 (十二片) 片 (フアンシング)	弗 (百仙)	法郎 (百參)	法郎 (百參)	麻克 (百布)	リラ (百參)	クローナ	ギルドル又はフロリン	ベセタ	ミルレイ	ピアストル	クローネ	留 (百哥)	弗 (百仙)	チカル	留比 (十六安)	安	安
九・七六・三三二 四八・八二 四・〇七 一・〇二	二・〇〇・六二 二・〇一	三・八・七一 三・九	三・八・七一 三・九	四・七・七九 四・八	三・八・七一 三・九	五・三・七六	八〇・六四 三八・七一	二・一六・七六 八・八二	二・一六・七六 八・八二	四〇・六五	一〇三・二二 一・〇三	一・〇〇・三一 一・〇〇	八・一一・二〇	九・七・六〇 六・一〇 ・五一	九・七・六〇 六・一〇 ・五一	六・一〇 ・五一	九・七・六〇 六・一〇 ・五一
純分比價ノ部																	

14.2
68

昭和三年十月二十七日印刷
昭和三年十月三十日發行

花 菴 檢 査 所

(在神戸市外西灘村)

印刷人 笹岡林平
神戸市加納町四丁目三

印刷所 神戸開國堂
神戸市加納町四丁目三

秘 露 リバラ(十ソル)
ソル 九・七六・三二
九七・六三

然亞 丁爾 ベツ
仙 セシキボ (百仙)
一・九三・五五
一・九四

智 利 ベツ
弗 コンドル(二十弗)
センタボ (百センタボス)
一四・六四・四八
七三・二二
七三

西伯 爾刺 ミル
金貨 レイム(千レイス)
レ イ 一・〇九・五七
一・一一
六五・一一
〇七

支 那 リヤン
兩 (テール)
錢 (メース) (兩の十分の一)
分 (カンタリン) (錢の十分の一)
厘 (カワシユ) (分の十分の一)
又—海關兩は一・一一・四上海兩に當る

終

